

関市

子ども・子育てに関するアンケート調査
結果報告書

平成 31 年 3 月

関市

目 次

I	調査の概要	1
II	本調査報告書の基本的な事項	1
III	就学前児童の調査結果	2
	1. 居住地域について	2
	2. 家族の状況について	3
	3. 子どもの育ちをめぐる環境について	4
	4. 保護者の就労状況について	8
	5. 平日の定期的な幼稚園・保育所等の利用状況について	15
	6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	24
	7. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望について	33
	8. 病気の際の対応について	37
	9. 不定期的な利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	41
	10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	45
	11. 職場の両立支援制度について	52
	12. 子育て全般について	57
IV	小学生の調査結果	66
	1. 居住地域について	66
	2. 家族の状況について	67
	3. 子どもの育ちをめぐる環境について	68
	4. 就労状況について	71
	5. 放課後の過ごし方について	75
	6. 病気の際の対応・不定期的な一時預かり等について	83
	7. 子育て全般について	88
	参考資料：調査票	97
	1. 未就学児	97
	2. 小学生	108

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「関市子ども・子育て支援事業計画」(2020～2024 年度)策定のための基礎資料として、対象となるお子さんの保護者の就労状況、サービス利用の実態、子育てに関する意識・意見を把握することを目的に実施したものである。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	未就学児童	小学生
調査対象	未就学児を持つ保護者	小学生を持つ保護者
配布数	2,000	2,000
抽出法	下記の調整を行った上、無作為抽出 (1) 地域として人数が少ない富野・洞戸・板取・武儀・上之保は対象者すべてに発送する。 (2) 同じアンケートが同一世帯に届かないように、兄弟姉妹の調整を行う。 (3) 未就学児用アンケートと小学生用アンケートの両方が届く世帯に対しての調整は行わない。	
調査方法	郵送法	郵送法
調査時期	平成 30 年 11 月下旬	平成 30 年 11 月下旬
調査地域	関市全域	関市全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000	2,000
有効回収数	1,117	1,086
有効回収率	55.9%	54.3%

II 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③ 質問の終わりに「(〇はいくつでも)」とある間は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い間であり、従って各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- ④ 【前回調査との比較】は、本市において平成25年に実施した「関市子ども・子育てに関するアンケート調査」との比較を行ったものである。

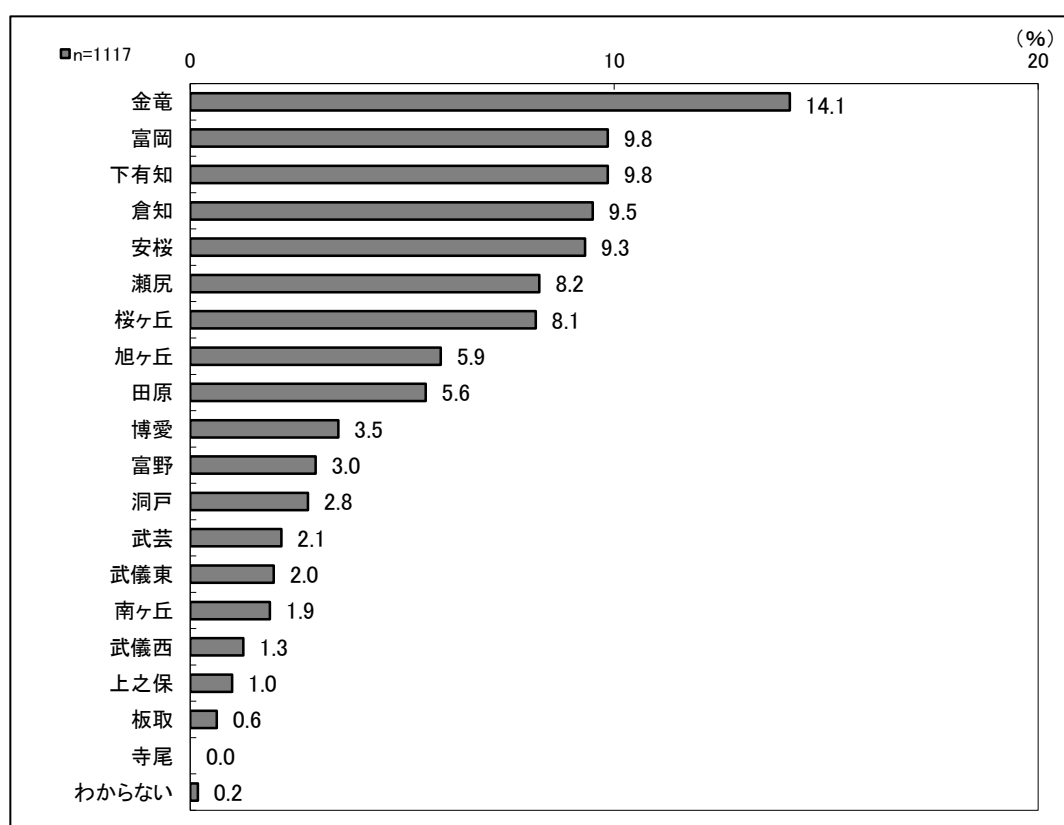
Ⅲ 就学前児童の調査結果

1. 居住地域について

問1 現在、どちらの小学校区にお住まいですか。(○は1つ)

「金竜」(14.1%)、「富岡」(9.8%)、「下有知」(9.8%)、「倉知」(9.5%)、「安桜」(9.3%)、「瀬尻」(8.2%)、「桜ヶ丘」(8.1%)、「旭ヶ丘」(5.9%)、「田原」(5.6%)、「博愛」(3.5%)、「富野」(3.0%)、「洞戸」(2.8%)、「武芸」(2.1%)、「武儀東」(2.0%)、「南ヶ丘」(1.9%)、「武儀西」(1.3%)、「上之保」(1.0%)、「板取」(0.6%)、「わからない」(0.2%) となっている。

※「寺尾」(0.0%)



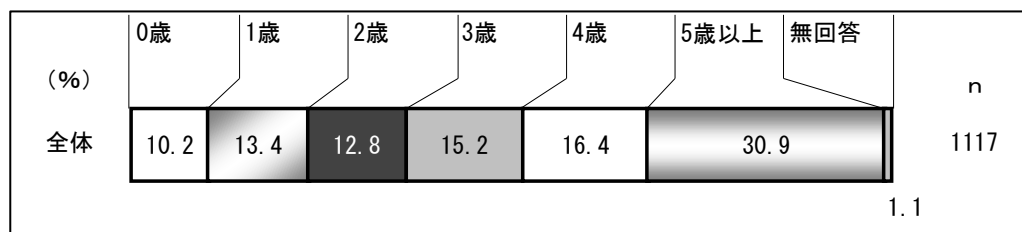
以下におけるグラフの「居住地区」について、上記の分類を一部統合している。

- 倉知地区（倉知、南ヶ丘）
- 東地区（富野、武儀西、武儀東、上之保）
- 西地区（洞戸、板取、武芸、寺尾、博愛）

2. 家族の状況について

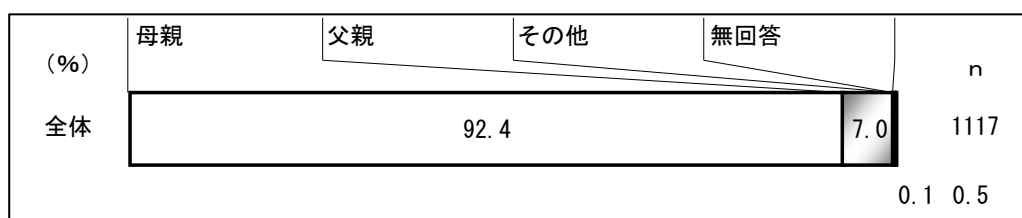
問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字で記入)

子どもの年齢については、「5歳以上」(30.9%)、「4歳」(16.4%)、「3歳」(15.2%)、「1歳」(13.4%)、「2歳」(12.8%)、「0歳」(10.2%)となっている。(平成30年12月現在)



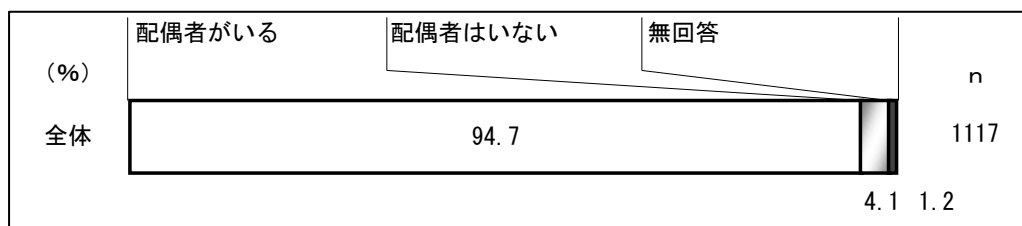
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

「母親」(92.4%)、「父親」(7.0%)、「その他」(0.1%)となっている。



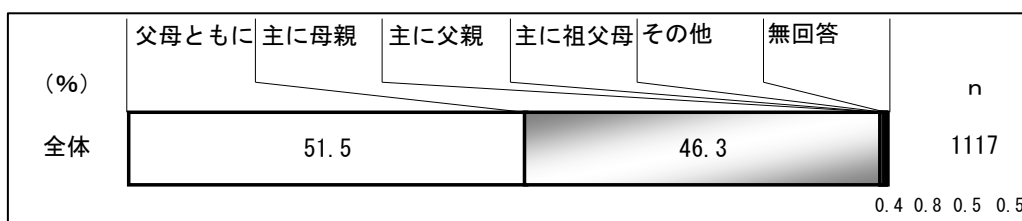
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

「配偶者がいる」(94.7%)、「配偶者がいない」(4.1%)となっている。



問5 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

「父母ともに」(51.5%)、「主に母親」(46.3%)、「主に祖父母」(0.8%)、「主に父親」(0.4%)、「その他」(0.5%)となっている。



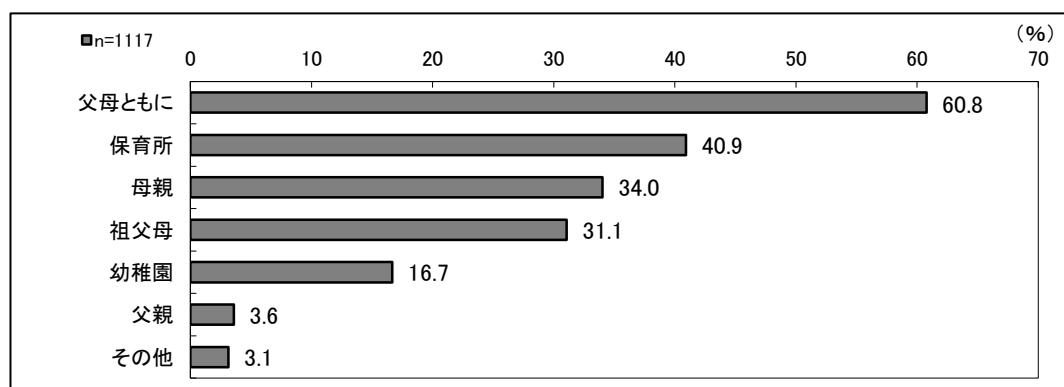
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（〇はいくつでも）



- 「父母ともに」が他を引き離して第1位。

「父母ともに」（60.8%）、「保育所」（40.9%）、「母親」（34.0%）、「祖父母」（31.1%）、「幼稚園」（16.7%）、「父親」（3.6%）となっている。

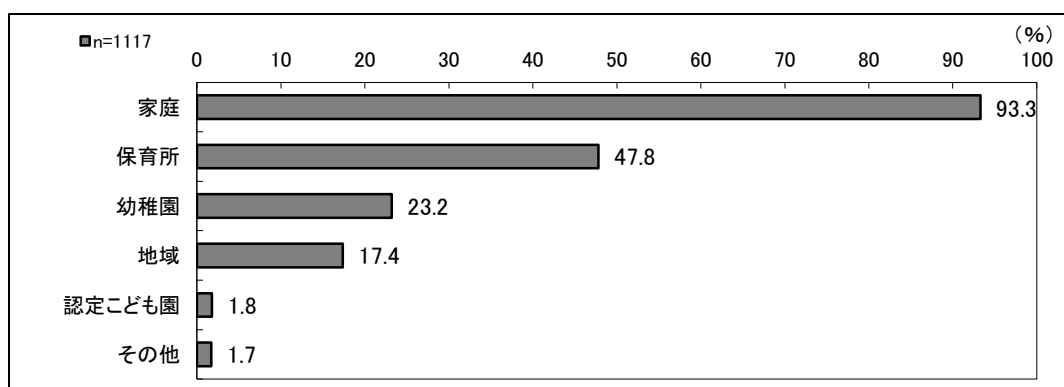


問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は何だと思えますか。（〇はいくつでも）



- 「家庭」が他を引き離して第1位。

「家庭」（93.3%）、「保育所」（47.8%）、「幼稚園」（23.2%）、「地域」（17.4%）、「認定こども園」（1.8%）となっている。

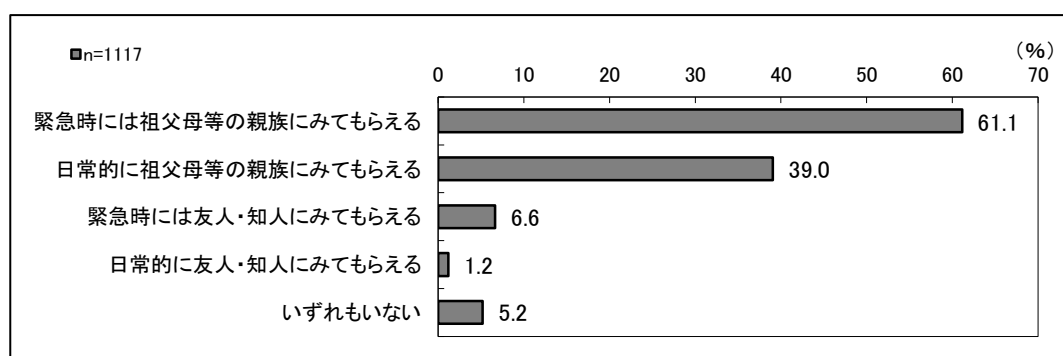


問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)



- 「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」が他を引き離して第1位。

「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」(61.1%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(39.0%)、「緊急時には友人・知人にみてもらえる」(6.6%)、「日常的に友人・知人にみてもらえる」(1.2%)となっている。なお、「いずれもない」は5.2%であった。

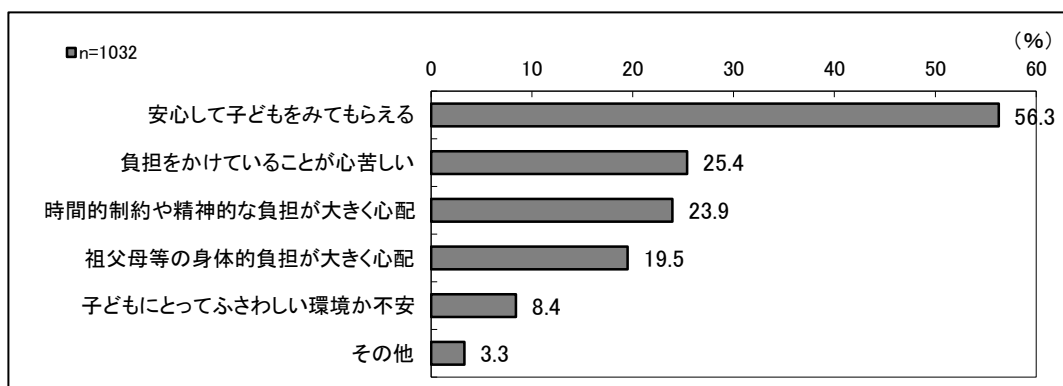


問8-1 問8で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



- 「安心して子どもをみてもらえる」が他を引き離して第1位。

「安心して子どもをみてもらえる」(56.3%)、「負担をかけていることが心苦しい」(25.4%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」(23.9%)、「祖父母等の身体的負担が大きく心配」(19.5%)、「子どもにとってふさわしい環境か不安」(8.4%)となっている。

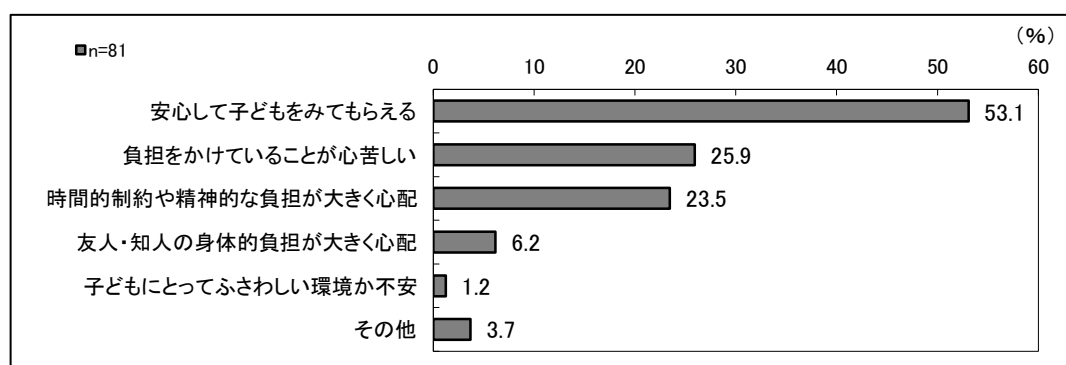


問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)



- 「安心して子どもをみてもらえる」が他を引き離して第1位。

「安心して子どもをみてもらえる」(53.1%)、「負担をかけていることが心苦しい」(25.9%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」(23.5%)、「友人・知人の身体的負担が大きく心配」(6.2%)、「子どもにとってふさわしい環境か不安」(1.2%)となっている。

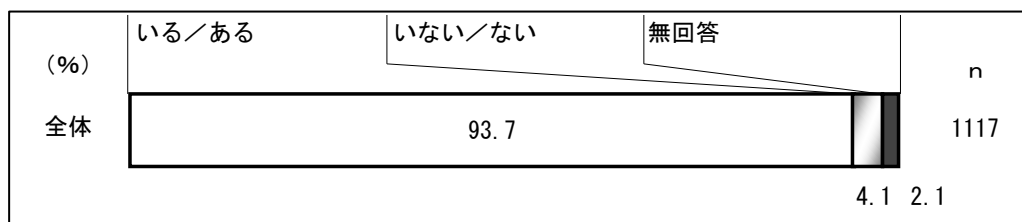


問9 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)



- 「いる／ある」が9割強を占める。

「いる／ある」(93.7%)、「いない／ない」(4.1%)となっている。

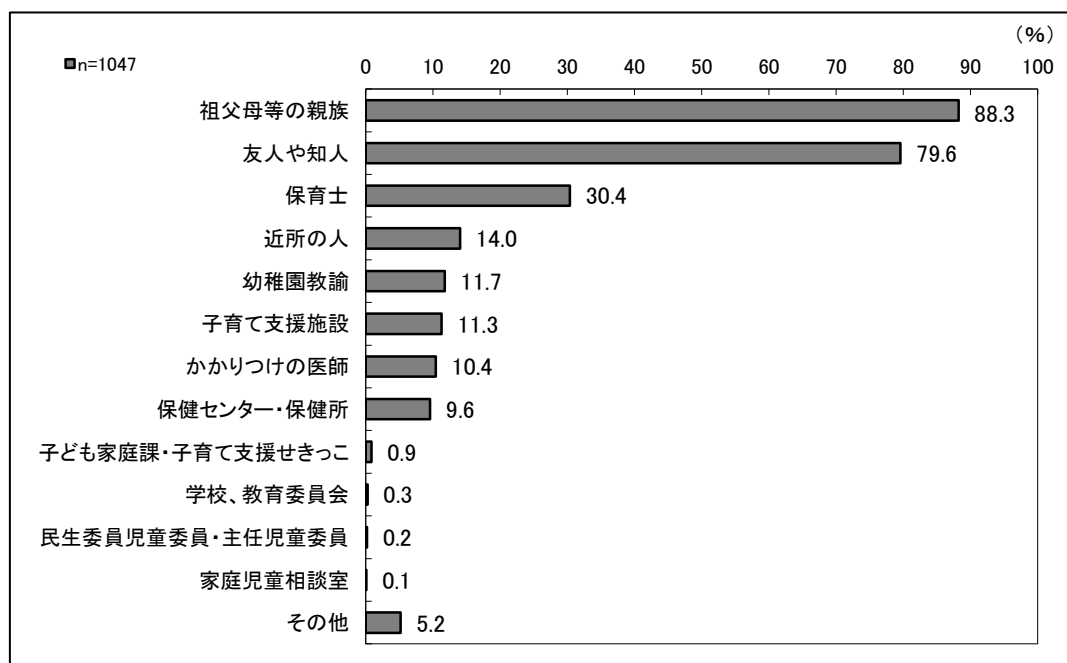


問9－1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）



- 「祖父母等の親族」が第1位、「友人や知人」が続く。

「祖父母等の親族」(88.3%)、「友人や知人」(79.6%)、「保育士」(30.4%)、「近所の人」(14.0%)、「幼稚園教諭」(11.7%)、「子育て支援施設」(11.3%)、「かかりつけの医師」(10.4%)、「保健センター・保健所」(9.6%)、「子ども家庭課・子育て支援せきっこ」(0.9%)、「学校、教育委員会」(0.3%)、「民生委員児童委員・主任児童委員」(0.2%)、「家庭児童相談室」(0.1%)となっている。



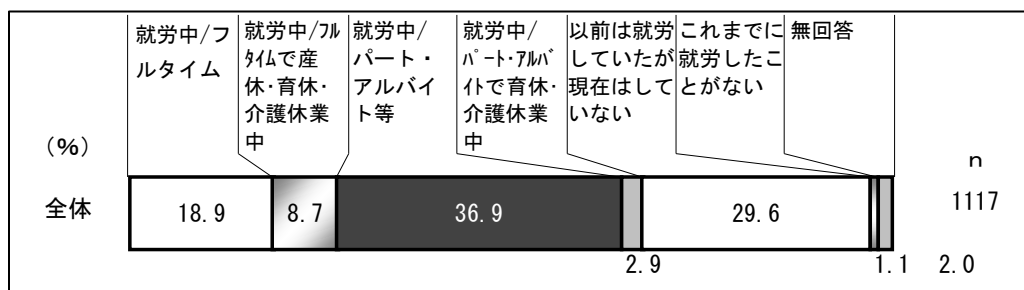
4. 保護者の就労状況について

問 10 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（１）母親、（２）父親それぞれについてお答えください。

（１）母親の就労状況

- 「就労中/パート・アルバイト等」が４割弱を占める。

「就労中/パート・アルバイト等」(36.9%)、「以前は就労していたが現在はしていない」(29.6%)、「就労中/フルタイム」(18.9%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(8.7%)、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(2.9%)、「これまでに就労したことがない」(1.1%)となっている。

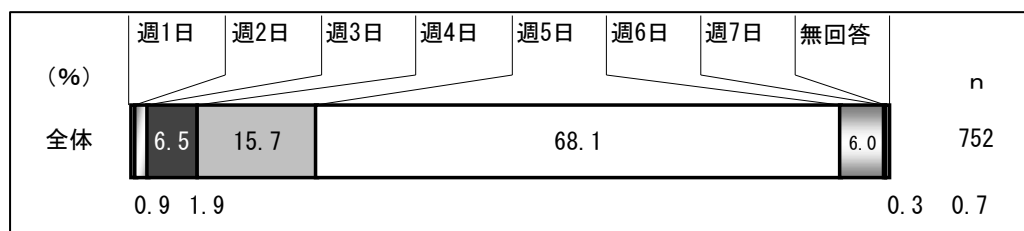


（１）－１ （１）で「１．～４．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。

・ 週当たり就労日数

- 「週５日」が７割弱を占める。

「週５日」(68.1%)、「週４日」(15.7%)、「週３日」(6.5%)、「週６日」(6.0%)、「週２日」(1.9%)、「週１日」(0.9%)、「週７日」(0.3%) となっている。

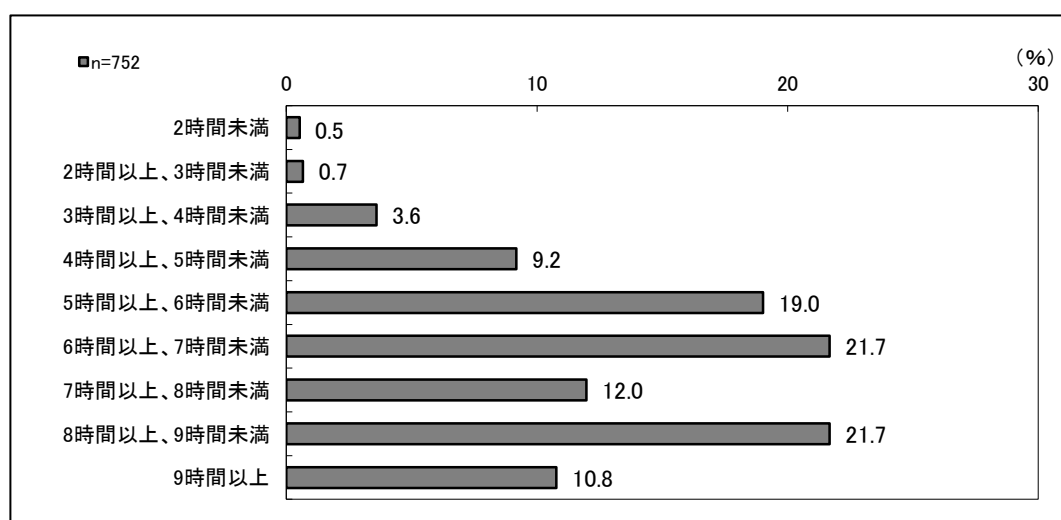


・ 1 日当たり就労時間



- 「6 時間以上、7 時間未満」・「8 時間以上、9 時間未満」が2 割強を占める。

「6 時間以上、7 時間未満」・「8 時間以上、9 時間未満」（同率 21.7%）、「5 時間以上、6 時間未満」（19.0%）、「7 時間以上、8 時間未満」（12.0%）、「9 時間以上」（10.8%）、「4 時間以上、5 時間未満」（9.2%）、「3 時間以上、4 時間未満」（3.6%）、「2 時間以上、3 時間未満」（0.7%）、「2 時間未満」（0.5%）となっている。



(2) 父親の就労状況



- 「就労中/フルタイム」が9 割強を占める。

「就労中/フルタイム」（92.7%）、「就労中/パート・アルバイト等」（0.3%）、「就労中/フルタイムで育休・介護休業中」（0.2%）、「以前は就労していたが現在はしていない」（0.2%）、「これまでに就労したことがない」（0.3%）、「無回答」（0.0%）となっている。

(%)	就労中/フルタイム	就労中/フルタイムで育休・介護休業中	就労中/パート・アルバイト等	就労中/パート・アルバイトで育休・介護休業中	以前は就労していたが現在はしていない	これまでに就労したことがない	無回答	n
全体	92.7	0.2	0.3	0.0	0.2	0.3	0.0	1117

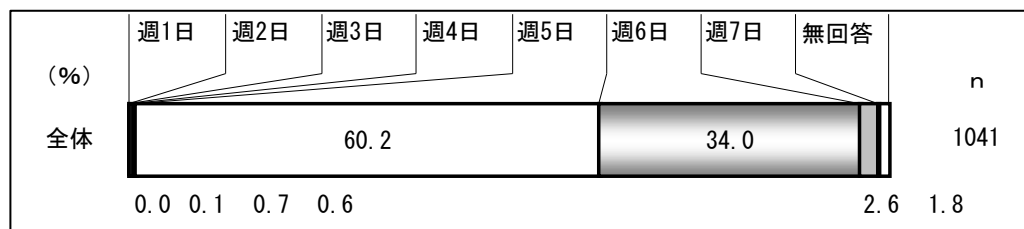
- (2) - 1 (2)で「1. ～ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

・ 週当たり就労日数



- 「週5日」が約6割を占める。

「週5日」(60.2%)、「週6日」(34.0%)、「週7日」(2.6%)、「週3日」(0.7%)、「週4日」(0.6%)、「週2日」(0.1%)となっている。

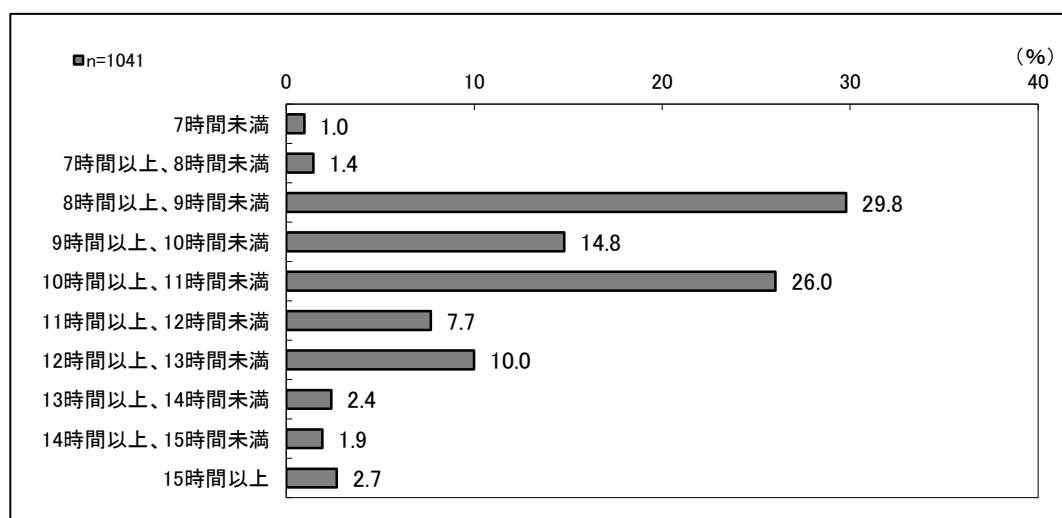


・ 1日当たり就労時間



- 「8時間以上、9時間未満」が約3割を占める。

「8時間以上、9時間未満」(29.8%)、「10時間以上、11時間未満」(26.0%)、「9時間以上、10時間未満」(14.8%)、「12時間以上、13時間未満」(10.0%)、「11時間以上、12時間未満」(7.7%)、「15時間以上」(2.7%)、「13時間以上、14時間未満」(2.4%)、「14時間以上、15時間未満」(1.9%)、「7時間以上、8時間未満」(1.4%)、「7時間未満」(1.0%)となっている。



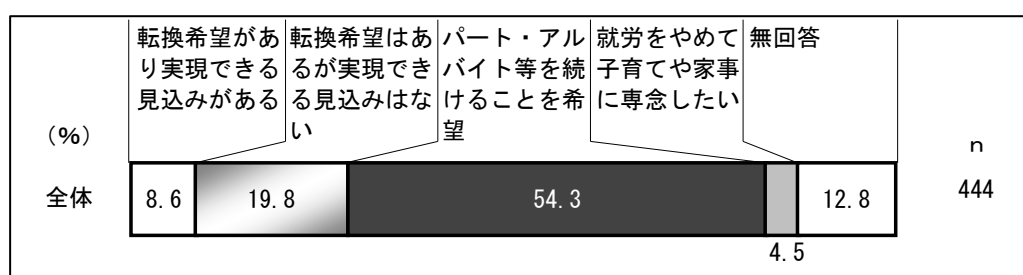
問 10-1 問 10 の（１）または（２）で「３．４．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はありますか。（１）母親、（２）父親それぞれについてお答えください。

（１）母親



- 「パート・アルバイト等を続けることを希望」が５割台半ばを占める。

「パート・アルバイト等を続けることを希望」（54.3%）、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」（19.8%）、「転換希望があり実現できる見込みがある」（8.6%）、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」（4.5%）となっている。

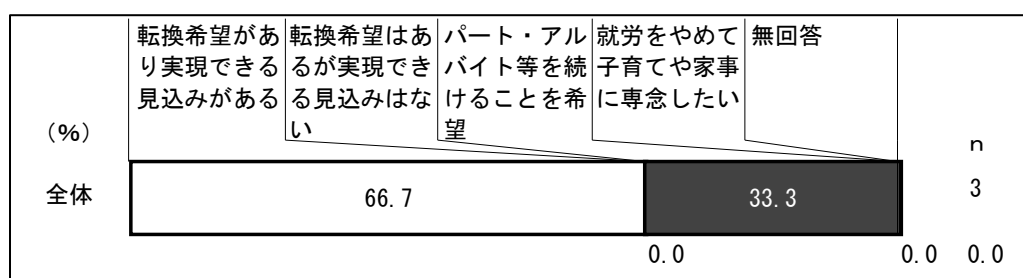


（２）父親



- 「転換希望があり実現できる見込みがある」が２人。

「転換希望があり実現できる見込みがある」（66.7%）、「パート・アルバイト等を続けることを希望」（33.3%）となっている。



問 10-2 問 10 の（１）または（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。（１）母親、（２）父親それぞれについてお答えください。（○は１つずつ 該当する口内に数字で記入）

（１）母親

・就労希望

- 「１年より先で子どもの成長後に就労したい」が５割弱を占める。

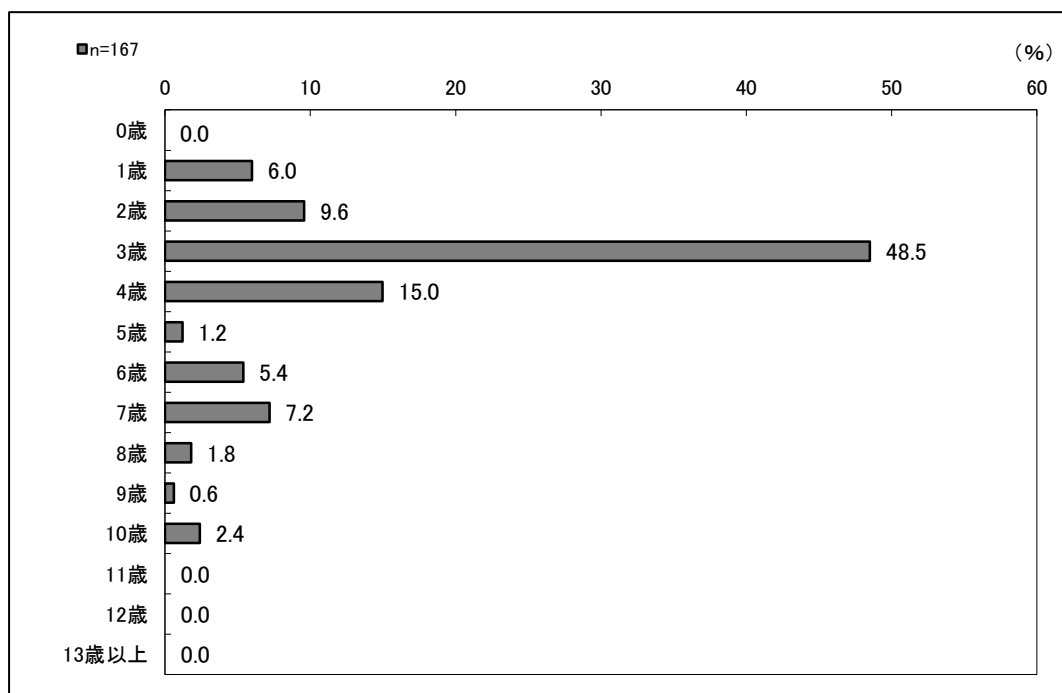
「１年より先で子どもの成長後に就労したい」（48.7%）、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」（26.5%）、「子育てや家事などに専念したい」（16.6%）となっている。

(%)	子育てや家事などに専念したい	1年より先で子どもの成長後に就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答	n
全体	16.6	48.7	26.5	8.2	343

・就労希望時期：末子の年齢

- 「３歳」が５割弱を占める。

「３歳」（48.5%）、「４歳」（15.0%）、「２歳」（9.6%）、「７歳」（7.2%）、「１歳」（6.0%）、「６歳」（5.4%）、「10歳」（2.4%）、「８歳」（1.8%）、「５歳」（1.2%）、「９歳」（0.6%）となっている。

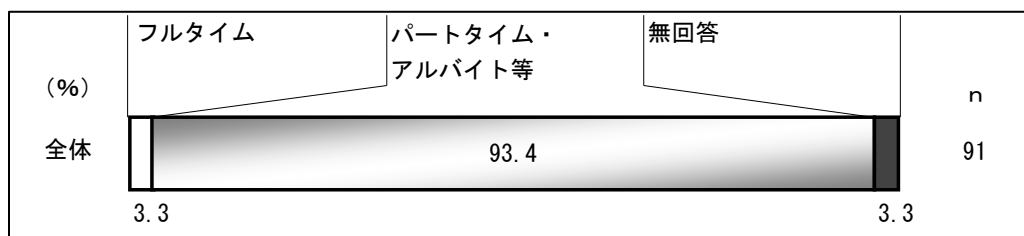


・ 就労希望の形態



- 「パートタイム・アルバイト等」が9割強を占める。

「パートタイム・アルバイト等」(93.4%)、「フルタイム」(3.3%) となっている。

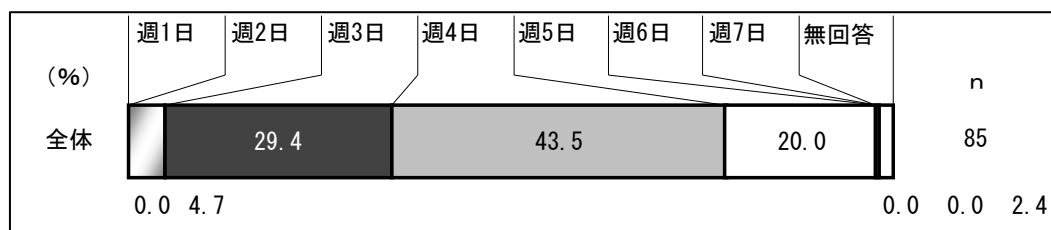


・ アルバイト等: 希望就労日数/週



- 「週4日」が4割強を占める。

「週4日」(43.5%)、「週3日」(29.4%)、「週5日」(20.0%)、「週2日」(4.7%) となっている。

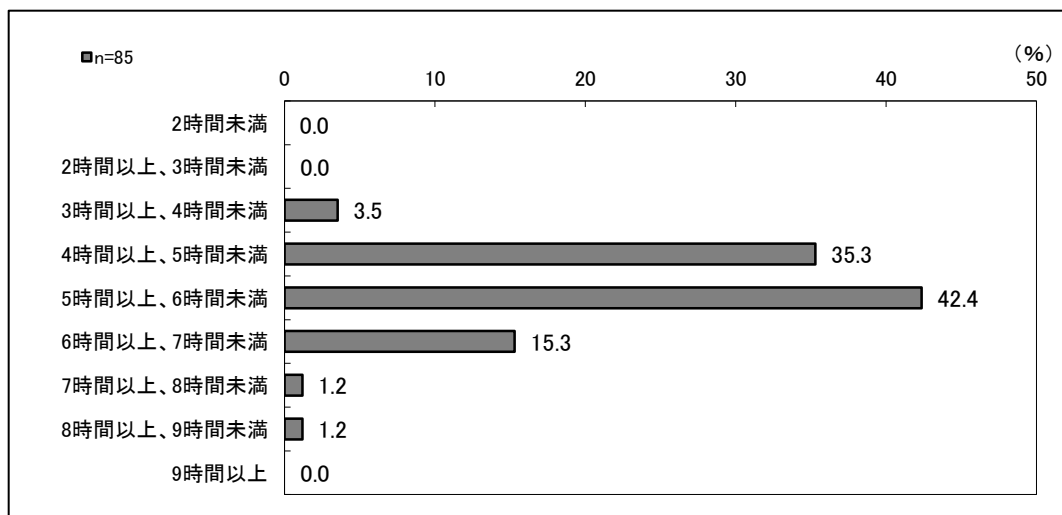


・アルバイト等:希望就労時間/日



- 「5 時間以上、6 時間未満」が4 割強を占める。

「5 時間以上、6 時間未満」(42.4%)、「4 時間以上、5 時間未満」(35.3%)、「6 時間以上、7 時間未満」(15.3%)、「3 時間以上、4 時間未満」(3.5%)、「7 時間以上、8 時間未満」(1.2%)、「8 時間以上、9 時間未満」(1.2%)となっている。



(2) 父親

・就労希望

※「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(50.0%) (回答者1名)

・就労希望時期:末子の年齢

※回答者なし

・就労希望の形態

※回答者なし

・アルバイト等:希望就労日数/週

※回答者なし

・アルバイト等:希望就労時間

※回答者なし

5. 平日の定期的な幼稚園・保育所等の利用状況について

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問 11-1 に示した事業が含まれます。

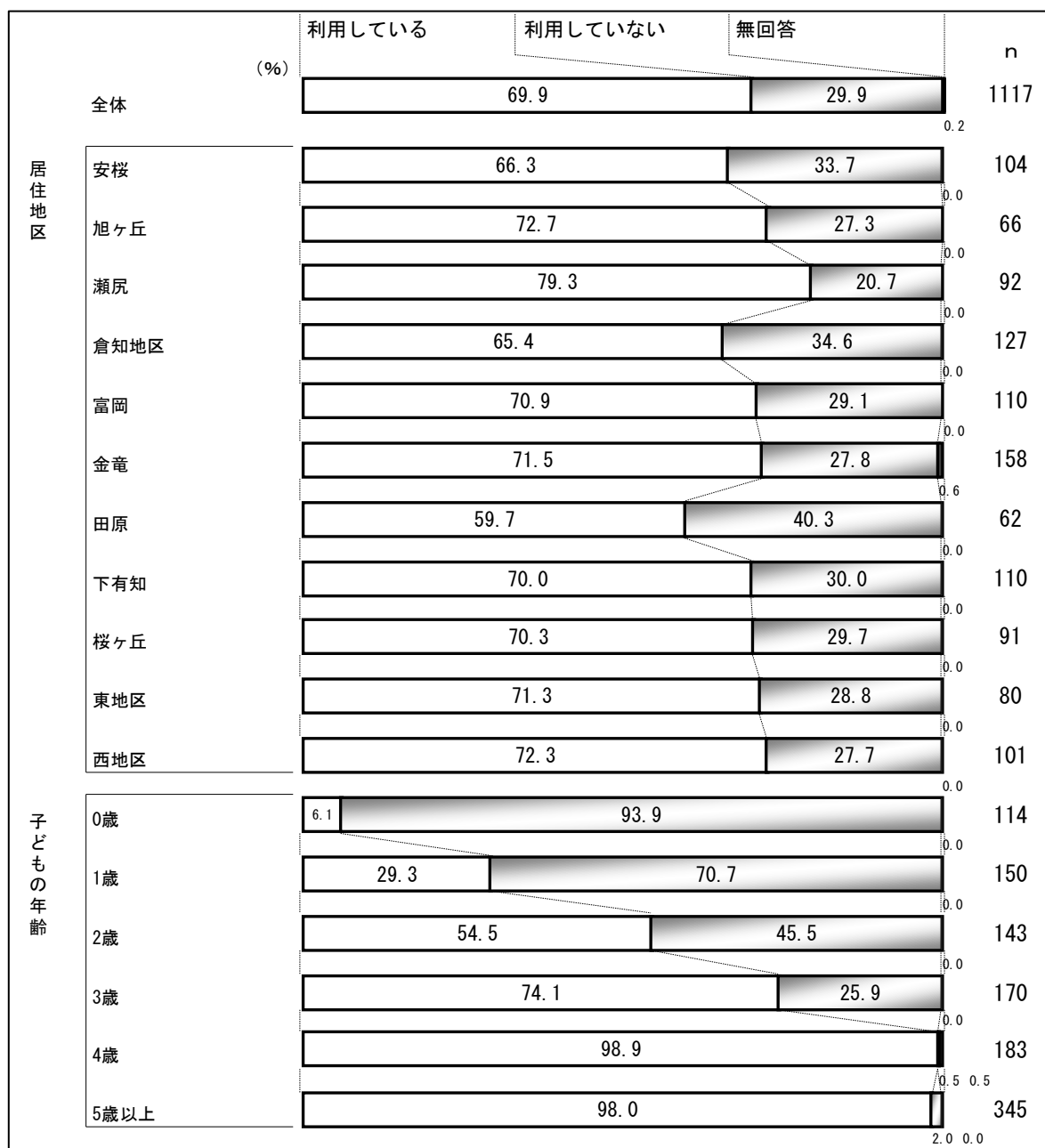
問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○は1つ)

● 「利用している」が約7割を占める。

「利用している」(69.9%)、「利用していない」(29.9%)となっている。

属性別で「利用している」率をみると、居住地区別では瀬尻で約8割にのぼり、他の地区より高くなっている。

子どもの年齢別では、年齢の高さに比例して高くなる傾向がみられる。



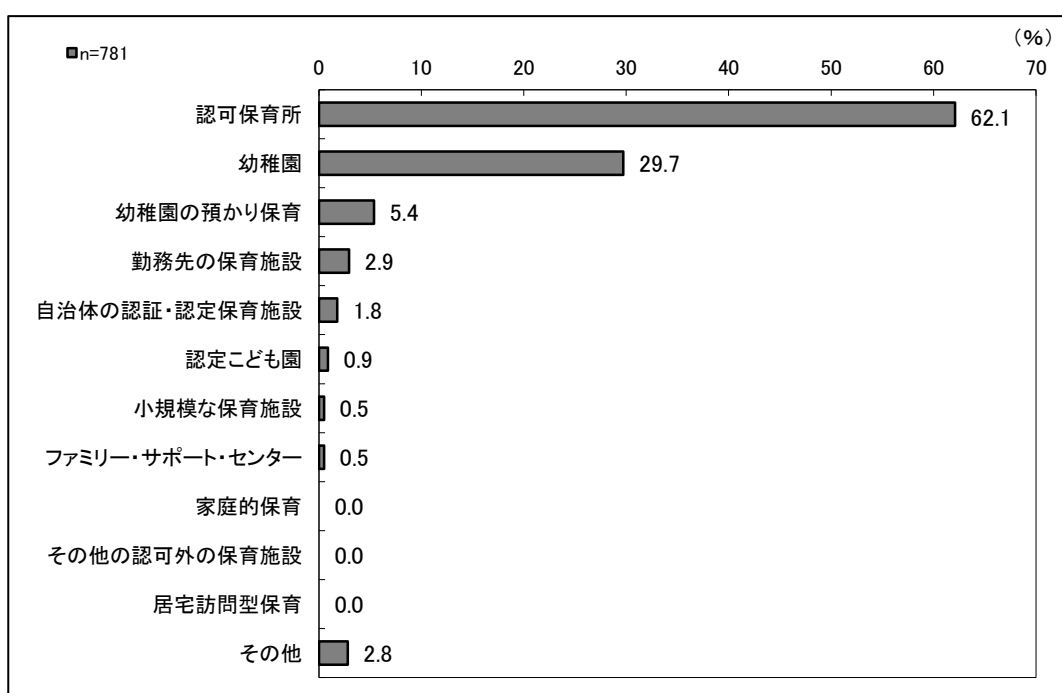
問 11－1～問 11－3 は、問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 11－1 あて名のお子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設やサービスをお答えください。（○はいくつでも）



- 「認可保育所」が他を引き離して第1位、「幼稚園」が続く。

「認可保育所」(62.1%)、「幼稚園」(29.7%)、「幼稚園の預かり保育」(5.4%)、「勤務先の保育施設」(2.9%)、「自治体の認証・認定保育施設」(1.8%)、「認定こども園」(0.9%)、「小規模な保育施設」・「ファミリー・サポート・センター」(同率 0.5%) となっている。



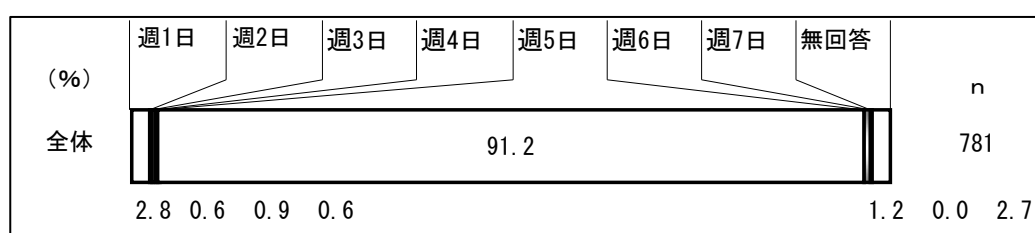
問 11-2 平日に定期的に利用している施設やサービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを口内に数字で記入「(例)08時～18時」）

（1）現在

・利用日数/週

● 「5日」が9割強を占める。

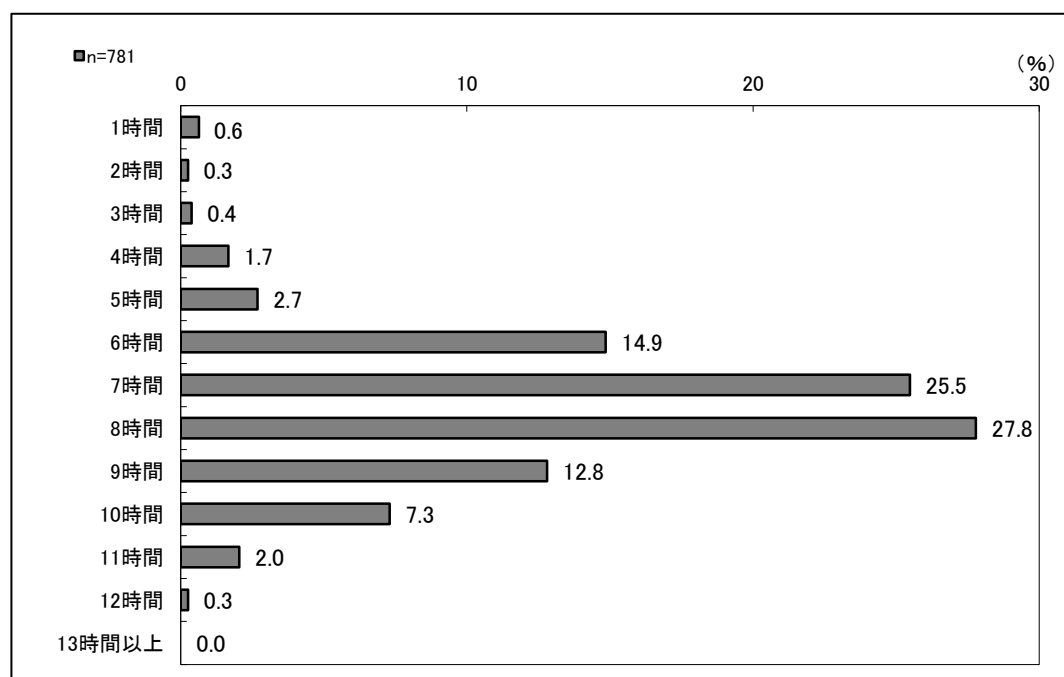
「5日」(91.2%)、「1日」(2.8%)、「6日」(1.2%)、「3日」(0.9%)、「2日」・「4日」(同率0.6%)となっている。



・利用時間/日

● 「8時間」が3割弱を占める。

「8時間」(27.8%)、「7時間」(25.5%)、「6時間」(14.9%)、「9時間」(12.8%)、「10時間」(7.3%)、「5時間」(2.7%)、「11時間」(2.0%)、「4時間」(1.7%)、「1時間」(0.6%)、「3時間」(0.4%)、「2時間」・「12時間」(同率0.3%)となっている。

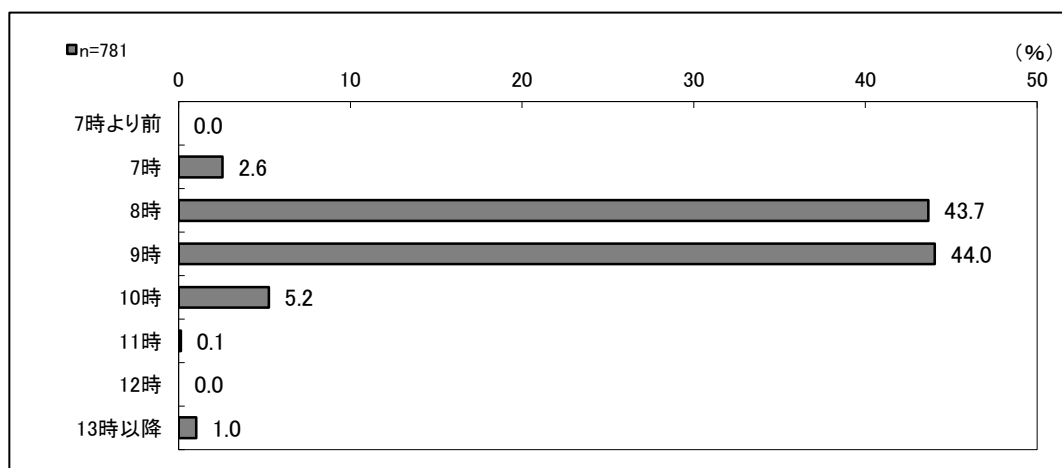


・ 開始時刻



- 「9 時」が4 割台半ばを占める。

「9 時」(44.0%)、「8 時」(43.7%)、「10 時」(5.2%)、「7 時」(2.6%)、「13 時以降」(1.0%)、「11 時」(0.1%) となっている。

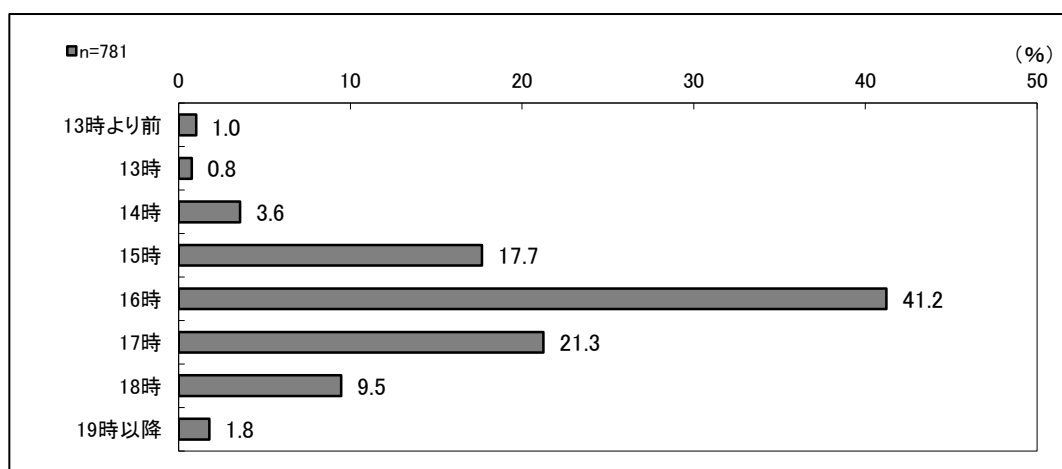


・ 終了時刻



- 「16 時」が4 割強を占める。

「16 時」(41.2%)、「17 時」(21.3%)、「15 時」(17.7%)、「18 時」(9.5%)、「14 時」(3.6%)、「19 時以降」(1.8%)、「13 時より前」(1.0%)、「13 時」(0.8%) となっている。



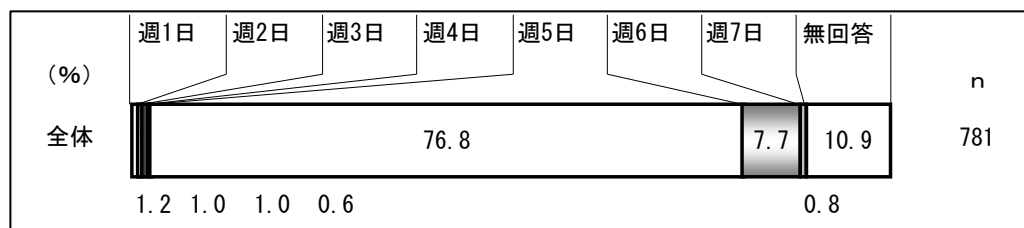
(2) 希望

・ 利用日数/週



- 「週 5 日」が8割弱を占める。

「週 5 日」(76.8%)、「週 6 日」(7.7%)、「週 1 日」(1.2%)、「週 2 日」・「週 3 日」(同率 1.0%)、「週 7 日」(0.8%)、「週 4 日」(0.6%) となっている。

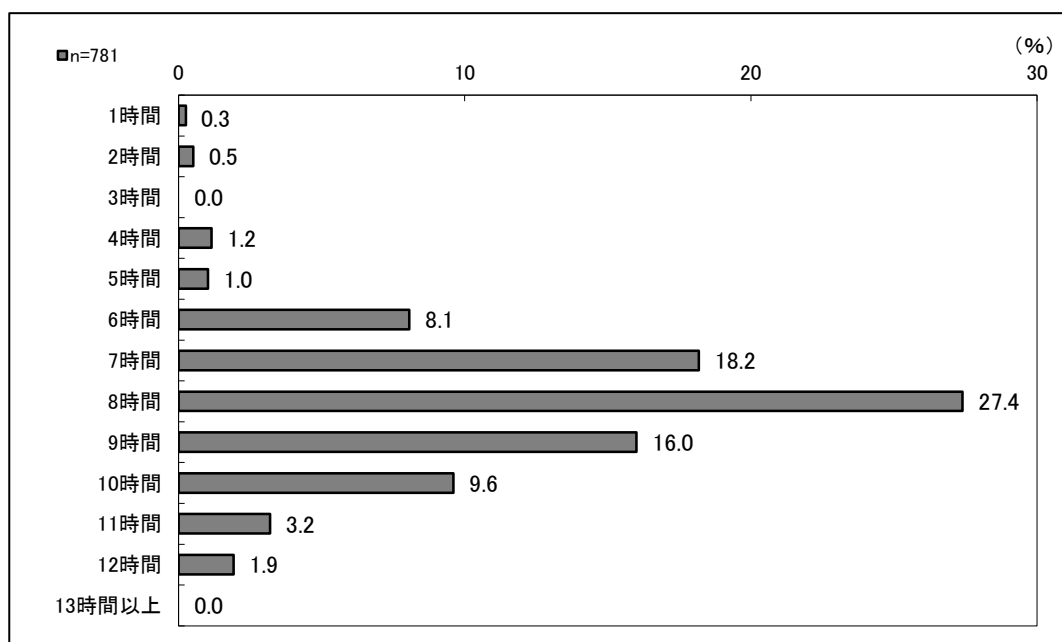


・ 利用時間/日



- 「8 時間」が3割弱を占める。

「8 時間」(27.4%)、「7 時間」(18.2%)、「9 時間」(16.0%)、「10 時間」(9.6%)、「6 時間」(8.1%)、「11 時間」(3.2%)、「12 時間」(1.9%)、「4 時間」(1.2%)、「5 時間」(1.0%)、「2 時間」(0.5%)、「1 時間」(0.3%) となっている。

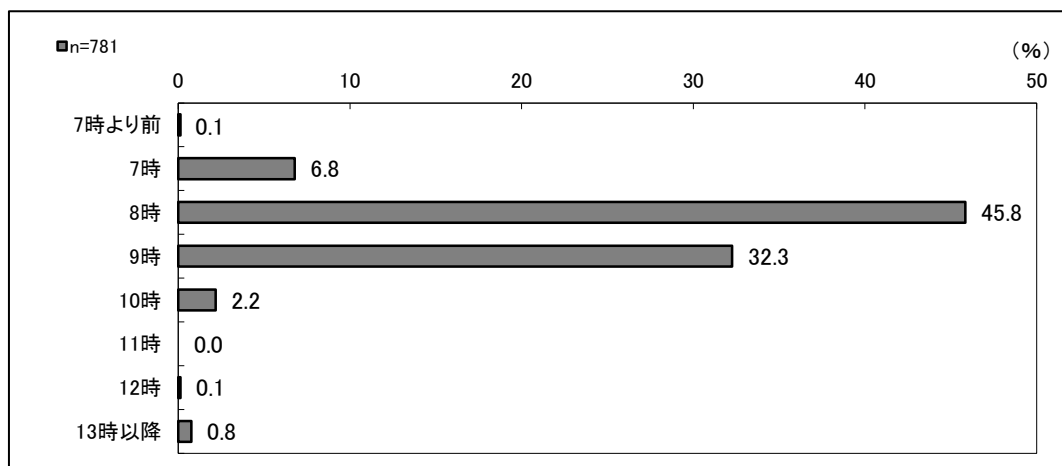


・ 開始時刻



- 「8 時」が4 割台半ばを占める。

「8 時」(45.8%)、「9 時」(32.3%)、「7 時」(6.8%)、「10 時」(2.2%)、「13 時以降」(0.8%)、「7 時より前」・「12 時」(同率 0.1%) となっている。

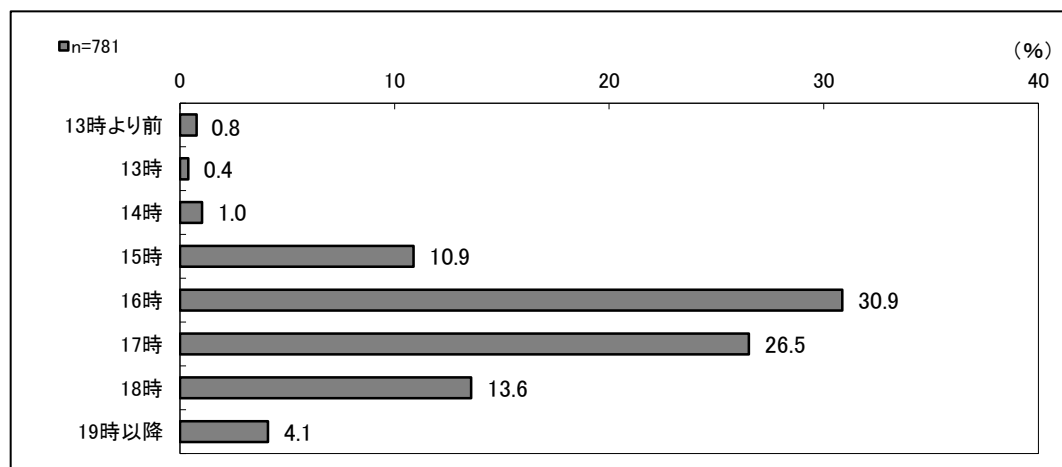


・ 終了時刻



- 「16 時」が約3 割を占める。

「16 時」(30.9%)、「17 時」(26.5%)、「18 時」(13.6%)、「15 時」(10.9%)、「19 時以降」(4.1%)、「14 時」(1.0%)、「13 時より前」(0.8%)、「13 時」(0.4%) となっている。

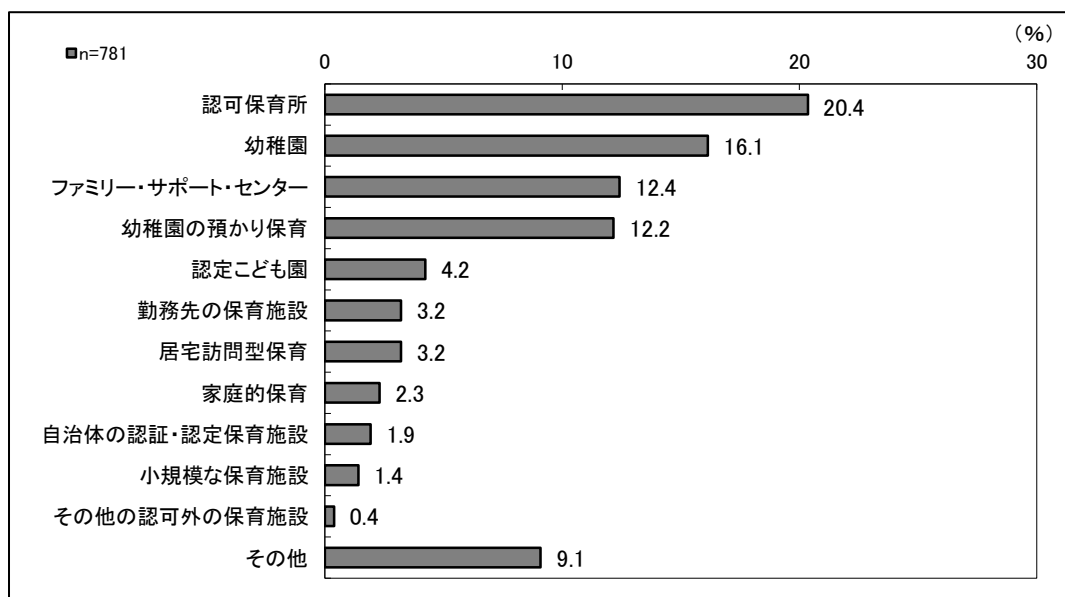


問 11－3 教育・保育にかかる負担が無償（または上限ありの補助）となった場合、現在利用しているものから利用変更したいと思うものはありますか。変更したい、新たに利用したい施設やサービスをお答えください。（〇はいくつでも）



- 「認可保育所」が第1位、「幼稚園」が続く。

「認可保育所」（20.4%）、「幼稚園」（16.1%）、「ファミリー・サポート・センター」（12.4%）、「幼稚園の預かり保育」（12.2%）、「認定こども園」（4.2%）、「勤務先の保育施設」・「居宅訪問型保育」（同率 3.2%）、「家庭的保育」（2.3%）、「自治体の認証・認定保育施設」（1.9%）、「小規模な保育施設」（1.4%）、「その他の認可外の保育施設」（0.4%）となっている。



問 12 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に、「定期的に」利用したいと考える幼稚園・保育所等の施設やサービスをお答えください。（〇はいくつでも）

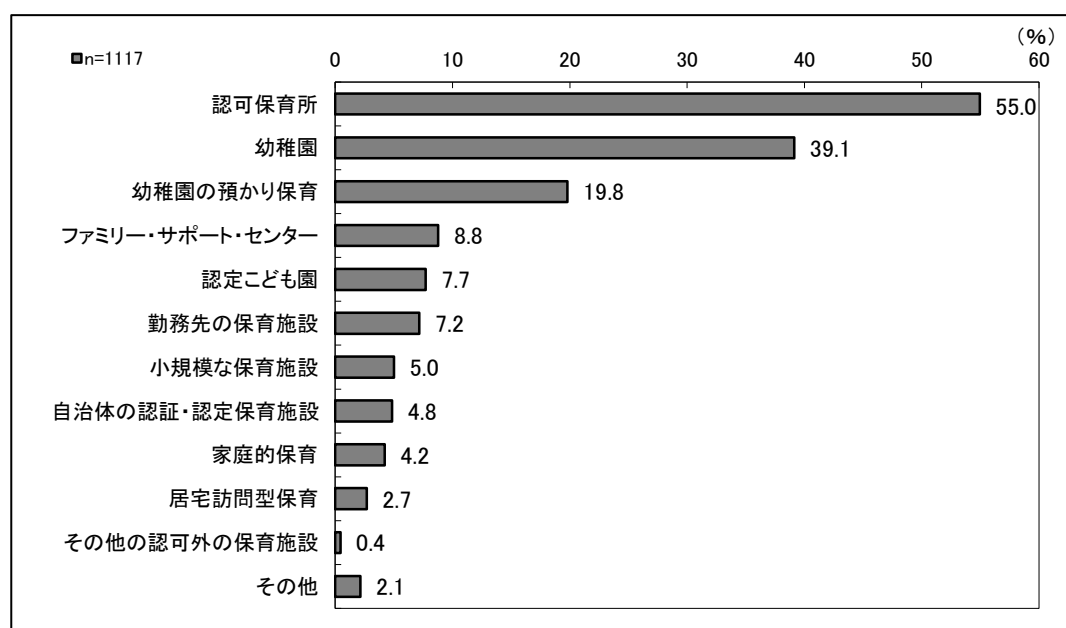


- 「認可保育所」が他を引き離して第1位、「幼稚園」が続く。

「認可保育所」(55.0%)、「幼稚園」(39.1%)、「幼稚園の預かり保育」(19.8%)、「ファミリー・サポート・センター」(8.8%)、「認定こども園」(7.7%)、「勤務先の保育施設」(7.2%)、「小規模な保育施設」(5.0%)、「自治体の認証・認定保育施設」(4.8%)、「家庭的保育」(4.2%)、「居宅訪問型保育」(2.7%)、「その他の認可外の保育施設」(0.4%)となっている。

属性別でみると、居住地区別では、安桜、金竜で「幼稚園」、それ以外の地区で「認可保育所」が第1位となっている。

子どもの年齢別では、すべての年齢で、「認可保育所」が第1位、「幼稚園」が第2位、「幼稚園の預かり保育」が第3位となっている。



(上位3位／％)

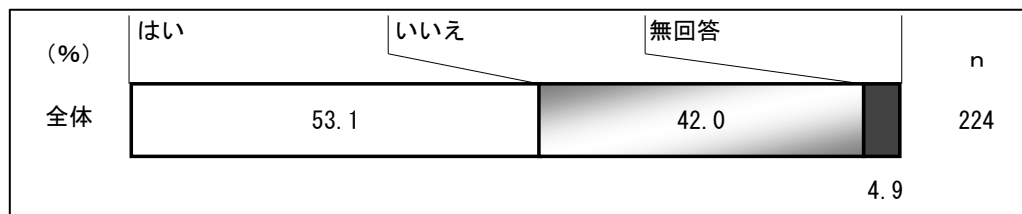
		第1位	第2位	第3位
全体		認可保育所 55.0	幼稚園 39.1	幼稚園の預かり保育 19.8
居住地区	安桜	幼稚園 48.1	認可保育所 47.1	幼稚園の預かり保育 18.3
	旭ヶ丘	認可保育所 48.5	幼稚園 42.4	幼稚園の預かり保育 24.2
	瀬尻	認可保育所 60.9	幼稚園 28.3	幼稚園の預かり保育 16.3
	倉知地区	認可保育所 57.5	幼稚園 44.1	幼稚園の預かり保育 25.2
	富岡	認可保育所 51.8	幼稚園 40.9	幼稚園の預かり保育 23.6
	金竜	幼稚園 47.5	認可保育所 46.2	幼稚園の預かり保育 27.8
	田原	認可保育所 58.1	幼稚園 29.0	幼稚園の預かり保育 19.4
	下有知	認可保育所 48.2	幼稚園 45.5	幼稚園の預かり保育 14.5
	桜ヶ丘	認可保育所 53.8	幼稚園 38.5	幼稚園の預かり保育 17.6
	東地区	認可保育所 71.3	幼稚園／自治体の認証・認定保育施設 10.0	
	西地区	認可保育所 65.3	幼稚園 36.6	幼稚園の預かり保育 14.9
子どもの年齢	0歳	認可保育所 64.9	幼稚園 40.4	幼稚園の預かり保育 19.3
	1歳	認可保育所 54.0	幼稚園 38.0	幼稚園の預かり保育 26.7
	2歳	認可保育所 62.9	幼稚園 36.4	幼稚園の預かり保育 18.9
	3歳	認可保育所 52.9	幼稚園 42.9	幼稚園の預かり保育 14.7
	4歳	認可保育所 54.6	幼稚園 42.1	幼稚園の預かり保育 25.7
	5歳以上	認可保育所 49.6	幼稚園 36.5	幼稚園の預かり保育 16.2

問 12-1 問 12 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）



- 「はい」が5割強を占める。

「はい」(53.1%)、「いいえ」(42.0%)となっている。



6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

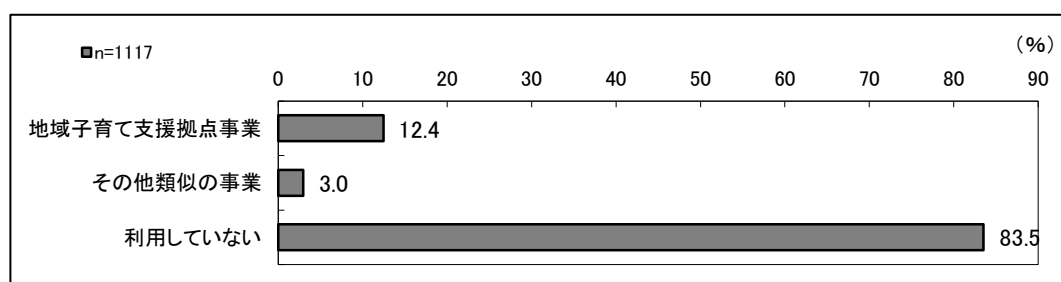
問 13 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援センター事業を利用していますか。（○はいくつでも また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字で記入）

- ・ 現在利用している地域子育て支援拠点事業



- 「利用していない」が8割強を占める。

「地域子育て支援拠点事業」(12.4%)、「その他類似の事業」(3.0%)、「利用していない」(83.5%)となっている。



【前回調査との比較】

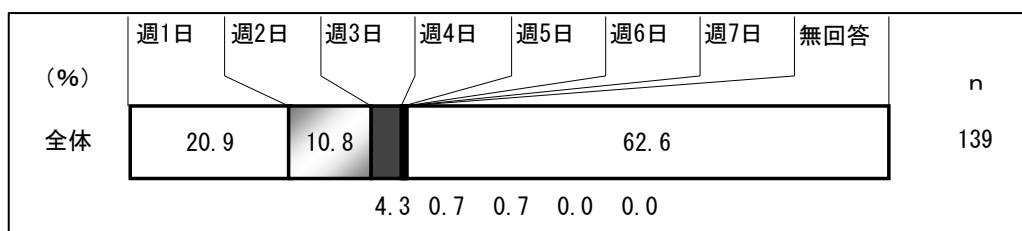
「地域子育て支援センター事業」が 9.8%、「利用していない」が 84.7%で、今回と同様であった。

・ 地域子育て支援事業の利用頻度：回/週



- 「週1日」が約2割を占める。

「週1日」(20.9%)、「週2日」(10.8%)、「週3日」(4.3%)、「週4日」・「週5日」(同率0.7%)、となっている。

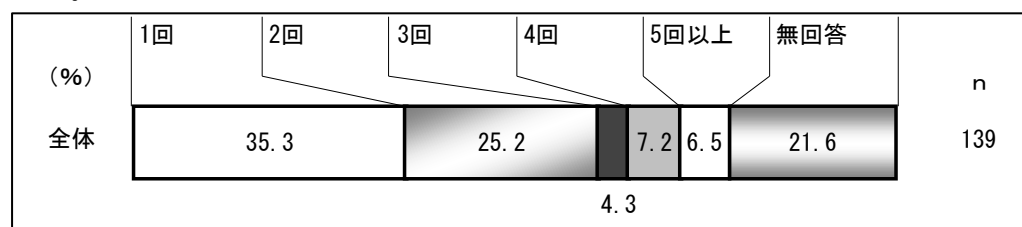


・ 地域子育て支援事業の利用頻度：回/月



- 「1回」が3割台半ばを占める。

「1回」(35.3%)、「2回」(25.2%)、「4回」(7.2%)、「5回以上」(6.5%)、「3回」(4.3%) となっている。

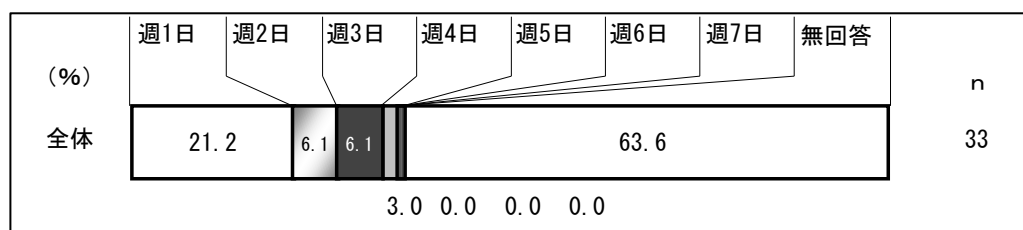


・ その他類似事業の利用頻度：回/週



- 「週1日」が2割強を占める。

「週1日」(21.2%)、「週2日」・「週3日」(同率6.1%)、「週4日」(3.0%) となっている。



・その他類似事業の利用頻度：回/月



- 「1回」が4割弱を占める。

「1回」(36.4%)、「2回」(21.2%)、「4回」・「5回以上」(同率9.1%)となっている。

(%)	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	n
全体	36.4	21.2	9.1	9.1	24.2	0.0	33

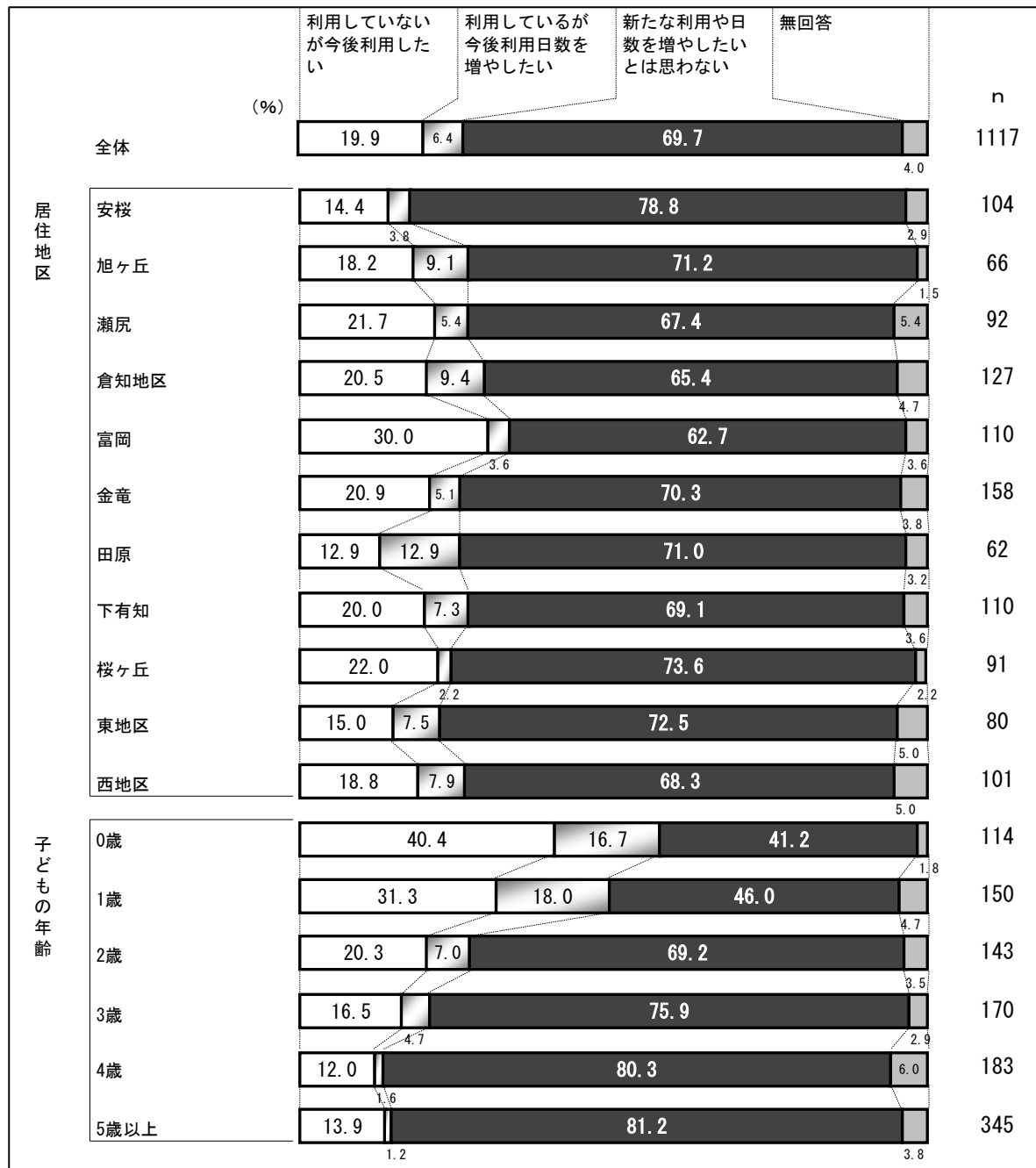
問 14 問 13 のような地域子育て支援センター事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○は1つ また、おおよその利用回数(頻度)を口内に数字で記入)



- 「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」が約7割を占める。

「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」(69.7%)、「利用していないが今後利用したい」(19.9%)、「利用しているが今後利用日数を増やしたい」(6.4%)となっている。

属性別でみると、居住地区別では富岡の利用意向は3割にのぼり、他の地区より高くなっている。子どもの年齢別では、概ね年齢が低いほど利用意向が高くなる傾向がみられる。



【前回調査との比較】

「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」が 63.4%、「利用していないが今後利用したい」が 25.3%となっており、利用意向はわずかながら低下している。

・新たに利用したい希望利用頻度：回/週



- 「週 1 日」が3割台半ばを占める。

「週 1 日」(34.7%)、「週 2 日」(6.8%)、「週 3 日」(1.8%)、「週 5 日」(0.9%) となっている。

	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	n
(%)									
全体	34.7	6.8	1.8	0.0	0.9	0.0	0.0	55.9	222

・新たに利用したい希望利用頻度：回/月



- 「1 回」が約3割を占める。

「1 回」(29.3%)、「2 回」(26.1%)、「4 回」(9.9%)、「3 回」・「5 回以上」(同率 8.6%) となっている。

	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	n
(%)							
全体	29.3	26.1	8.6	9.9	8.6	17.6	222

・今後増やしたい希望利用頻度：回/週



- 「週 1 日」が4割弱を占める。

「週 1 日」(36.1%)、「週 3 日」(11.1%)、「週 2 日」(9.7%)、「週 4 日」(1.4%) となっている。

	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	n
(%)									
全体	36.1	9.7	11.1	1.4	0.0	0.0	0.0	41.7	72

・ 今後増やしたい希望利用頻度：回/月



- 「2 回」・「3 回」が2 割弱を占める。

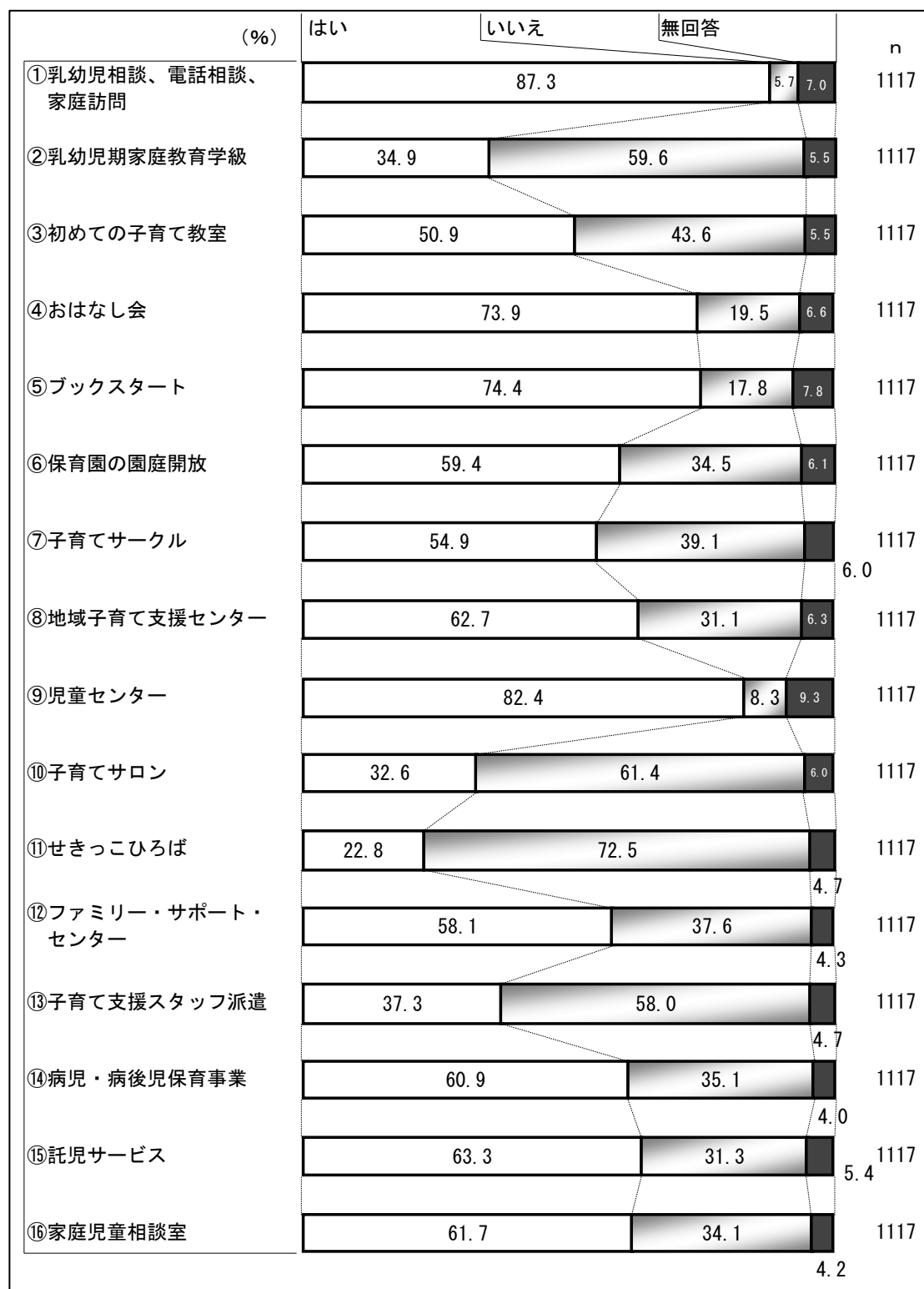
「2 回」・「3 回」（同率 16.7%）、「5 回以上」（15.3%）、「4 回」（12.5%）、「1 回」（1.4%）となっている。

	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	n
(%)							
全体	1.4	16.7	16.7	12.5	15.3	37.5	72

問 15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑯の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて○は1つ)

・ A 知っている事業

①乳幼児相談、電話相談、家庭訪問、⑨児童センターが高率となっている。



【前回調査との比較】

「託児サービス」(40.9%)と「家庭児童相談室」(32.8%)の認知度がそれぞれ20ポイント以上高くなっている。

・ B これまで利用したことがある事業

⑨児童センター、⑤ブックスタートが高率となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
①乳幼児相談、電話相談、 家庭訪問	54.5	36.3	9.1	1117
②乳幼児期家庭教育学級	15.0	71.6	13.4	1117
③初めての子育て教室	27.8	59.0	13.2	1117
④おはなし会	34.8	54.9	10.3	1117
⑤ブックスタート	62.7	28.2	9.1	1117
⑥保育園の園庭開放	26.0	62.2	11.8	1117
⑦子育てサークル	22.6	65.6	11.7	1117
⑧地域子育て支援センター	30.7	57.9	11.4	1117
⑨児童センター	73.7	19.7	6.6	1117
⑩子育てサロン	10.5	76.2	13.3	1117
⑪せきっこひろば	6.1	79.7	14.2	1117
⑫ファミリー・サポート・ センター	6.5	79.9	13.5	1117
⑬子育て支援スタッフ派遣 事業	2.6	83.1	14.3	1117
⑭病児・病後児保育事業	4.2	82.6	13.2	1117
⑮託児サービス	10.5	77.4	12.2	1117
⑯家庭児童相談室	8.4	78.2	13.3	1117

【前回調査との比較】

「おはなし会」(24.7%)の利用が10ポイント程度高くなっている。

・C 今後利用したい事業

⑨児童センター、⑤ブックスタート、④おはなし会、⑥保育園の園庭開放等が高率となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
①乳幼児相談、電話相談、 家庭訪問	43.2	40.8	15.9	1117
②乳幼児期家庭教育学級	18.3	65.3	16.5	1117
③初めての子育て教室	20.4	62.5	17.1	1117
④おはなし会	55.8	29.6	14.6	1117
⑤ブックスタート	55.9	28.3	15.8	1117
⑥保育園の園庭開放	54.3	32.1	13.6	1117
⑦子育てサークル	29.8	55.5	14.7	1117
⑧地域子育て支援センター	30.6	54.8	14.6	1117
⑨児童センター	66.9	18.8	14.3	1117
⑩子育てサロン	19.6	65.5	14.9	1117
⑪せきっこひろば	19.2	65.3	15.6	1117
⑫ファミリー・サポート・ センター	33.4	52.6	14.1	1117
⑬子育て支援スタッフ派遣 事業	22.5	63.0	14.5	1117
⑭病児・病後児保育事業	48.8	37.5	13.7	1117
⑮託児サービス	46.0	40.2	13.8	1117
⑯家庭児童相談室	41.1	44.3	14.6	1117

【前回調査との比較】

「家庭児童相談室」(31.9%)の利用意向が10ポイント程度高くなっている。

7. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な利用希望について

問 16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の利用を希望しますか。

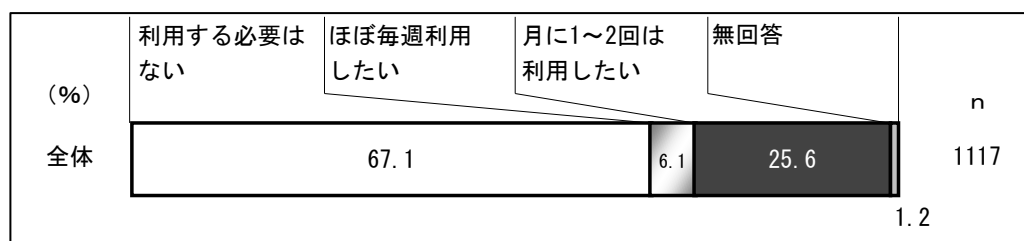
(1)、(2) それぞれについてお答えください。(○は1つずつ 希望がある場合は、利用したい時間帯について□内に数字で記入

(1) 利用希望:土曜日



● 「利用する必要はない」が7割弱を占める。

「利用する必要はない」(67.1%)、「ほぼ毎週利用したい」(6.1%)、「月に1～2回は利用したい」(25.6%) となっている。

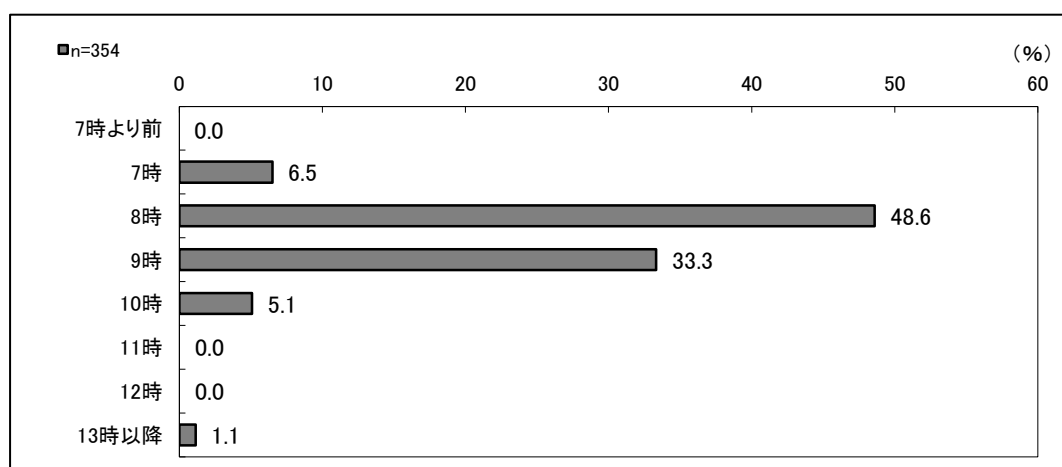


・ 利用したい時間帯（開始時刻）



● 「8時」が5割弱を占める。

「8時」(48.6%)、「9時」(33.3%)、「7時」(6.5%)、「10時」(5.1%)、「13時以降」(1.1%) となっている。

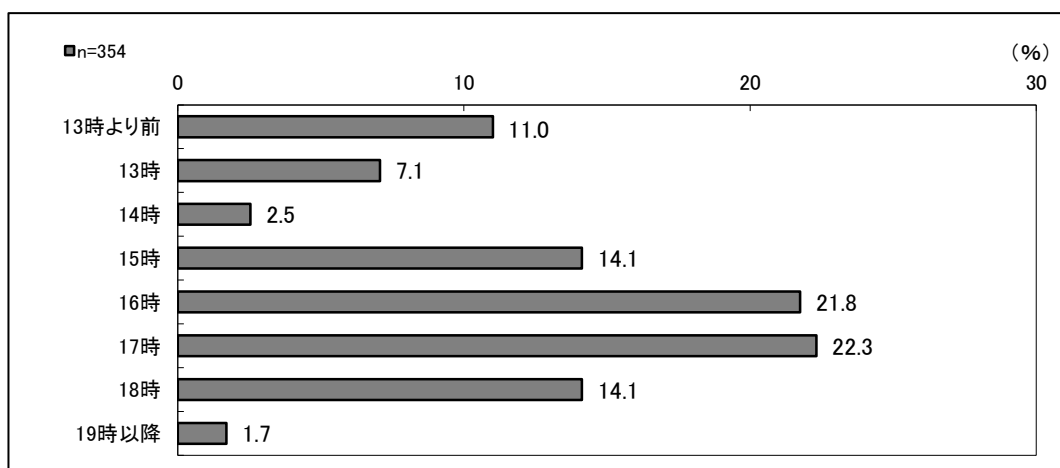


・利用したい時間帯（終了時刻）



- 「17時」が2割強を占める。

「17時」(22.3%)、「16時」(21.8%)、「15時」・「18時」(同率14.1%)、「13時より前」(11.0%)、「13時」(7.1%)、「14時」(2.5%)、「19時以降」(1.7%)となっている。

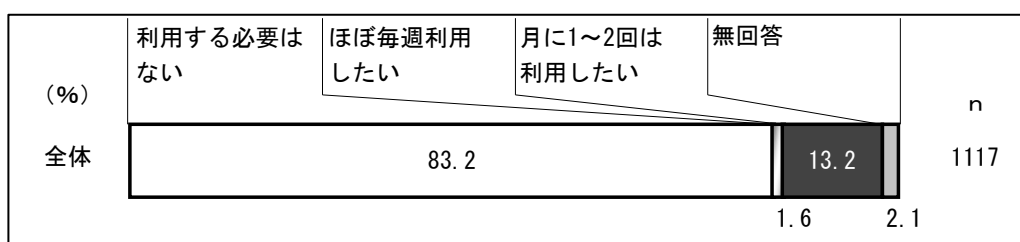


(2) 利用希望：日曜日・祝日



- 「利用する必要はない」が8割強を占める。

「利用する必要はない」(83.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.6%)、「月に1～2回は利用したい」(13.2%)となっている。

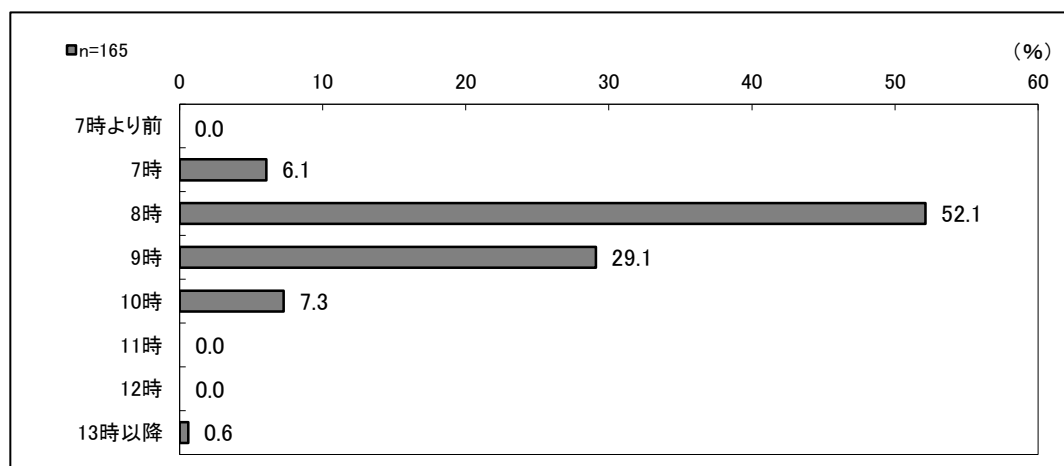


・ 利用したい時間帯（開始時刻）



- 「8 時」が5 割強を占める。

「8 時」(52.1%)、「9 時」(29.1%)、「10 時」(7.3%)、「7 時」(6.1%)、「13 時以降」(0.6%)となっている。

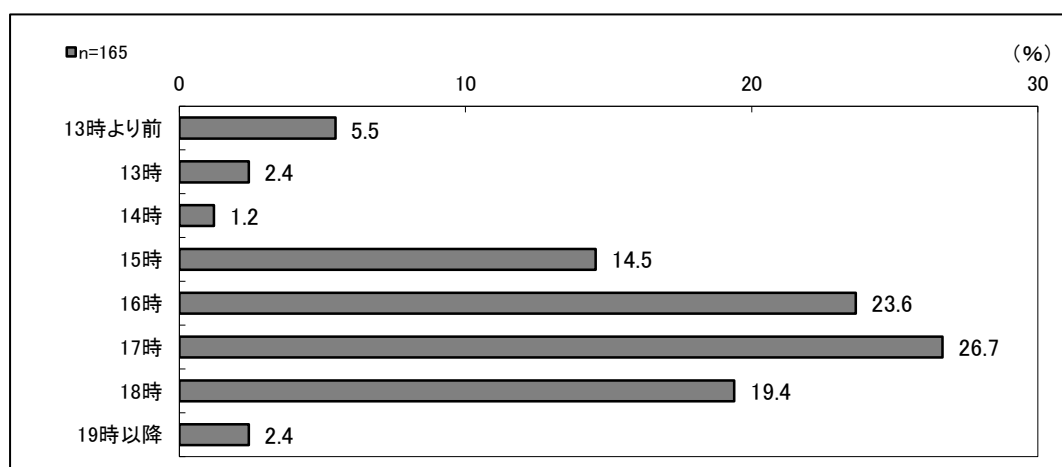


・ 利用したい時間帯（終了時刻）



- 「17 時」が3 割弱を占める。

「17 時」(26.7%)、「16 時」(23.6%)、「18 時」(19.4%)、「15 時」(14.5%)、「13 時より前」(5.5%)、「13 時」・「19 時以降」(同率 2.4%)、「14 時」(1.2%) となっている。



問 17 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇 期間中の幼稚園・保育所等の利用を希望しますか。(○は1つ 希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入 「(例)08 時～18 時」)



- 「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が4割弱を占める。

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(38.8%)、「休みの期間中、週に2、3日利用したい」(32.6%)、「利用する必要はない」(21.5%)となっている。

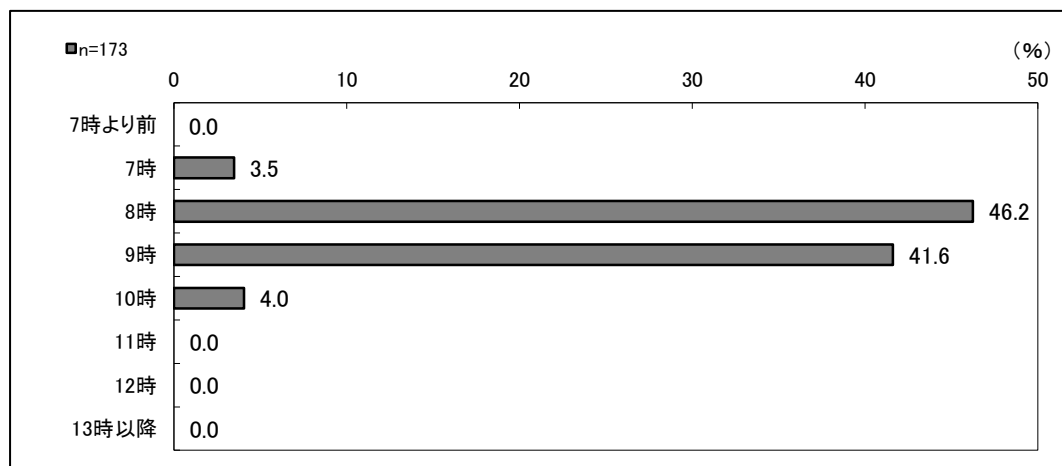
(%)	利用する必要はない	休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	休みの期間中、週に2、3日利用したい	無回答	n
全体	21.5	38.8	32.6	7.0	242

・ 利用したい時間帯（開始時刻）



- 「8 時」が5割弱を占める。

「8 時」(46.2%)、「9 時」(41.6%)、「10 時」(4.0%)、「7 時」(3.5%)となっている。

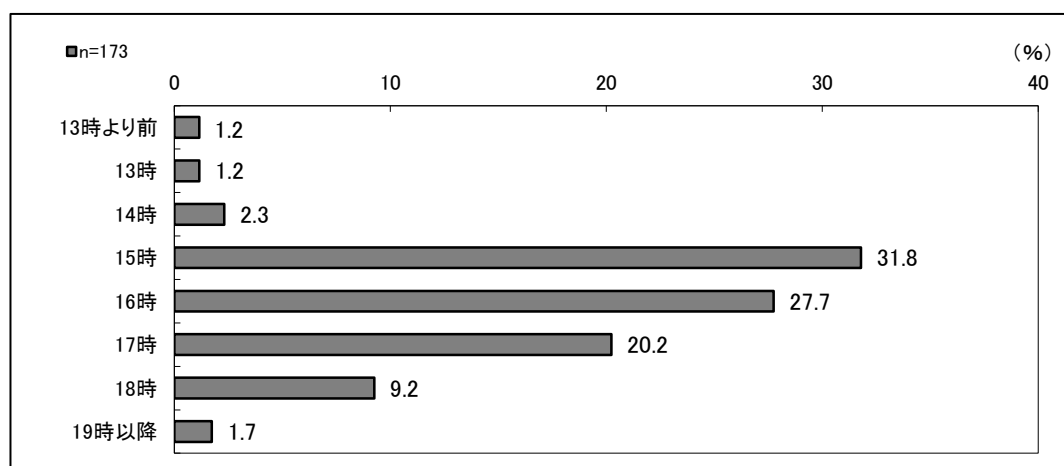


・利用したい時間帯（終了時刻）



- 「15 時」が3割強を占める。

「15 時」(31.8%)、「16 時」(27.7%)、「17 時」(20.2%)、「18 時」(9.2%)、「14 時」(2.3%)、「19 時以降」(1.7%)、「13 時より前」・「13 時」(同率 1.2%) となっている。



8. 病気の際の対応について

問 18 平日、定期的に幼稚園・保育所等を利用していると答えた保護者の方（問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。該当しない方は、問 19 にお進みください。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

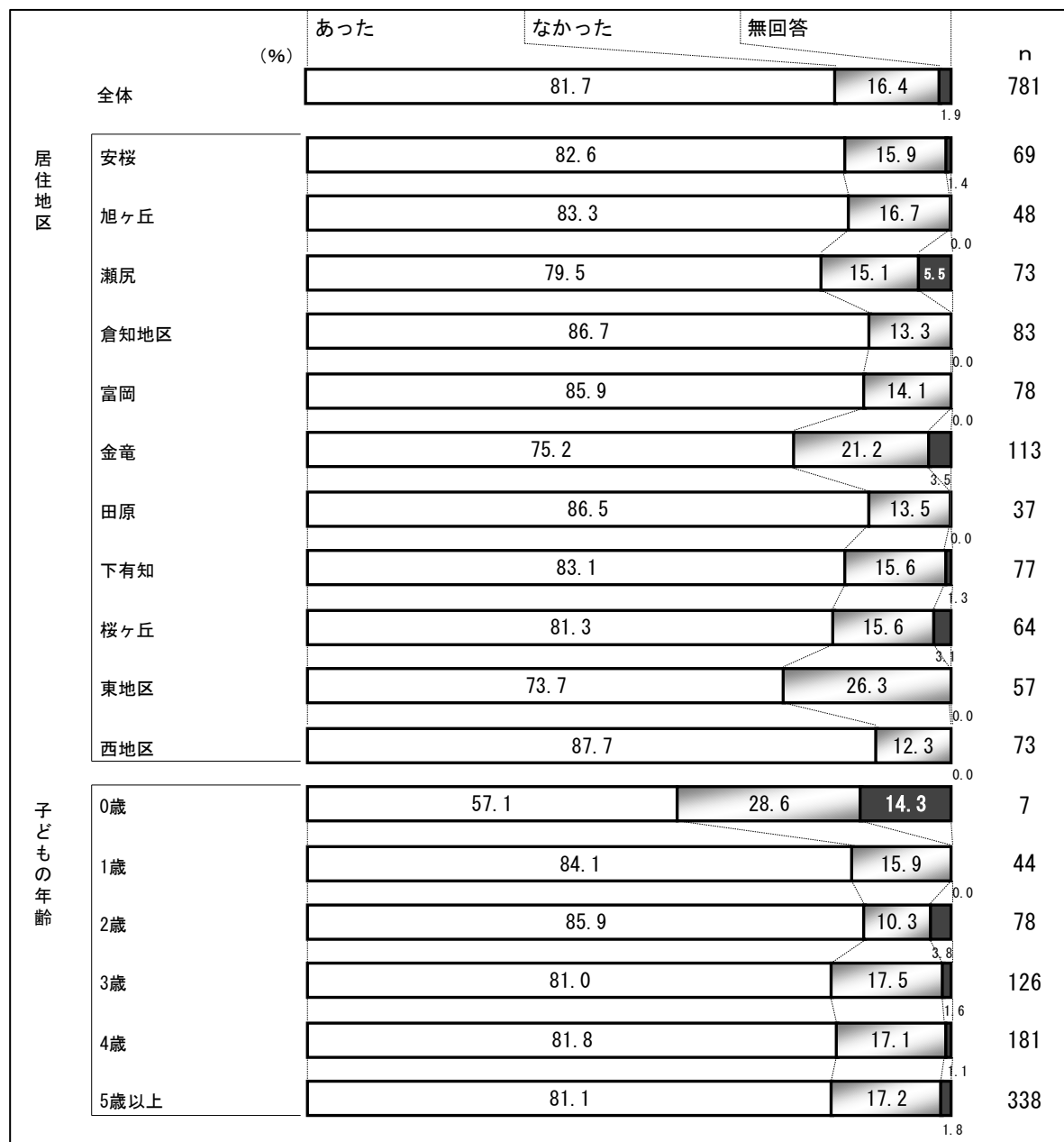


- 「あった」が8割強を占める。

「あった」(81.7%)、「なかった」(16.4%) となっている。

属性別で「あった」率をみると、居住地区別の安桜、旭ヶ丘、倉知地区、富岡、田原、下有知、桜ヶ丘、西地区では8割を超える。

子どもの年齢別では、0歳で6割弱にとどまるものの、1歳以上は8割を超える。



【前回調査との比較】

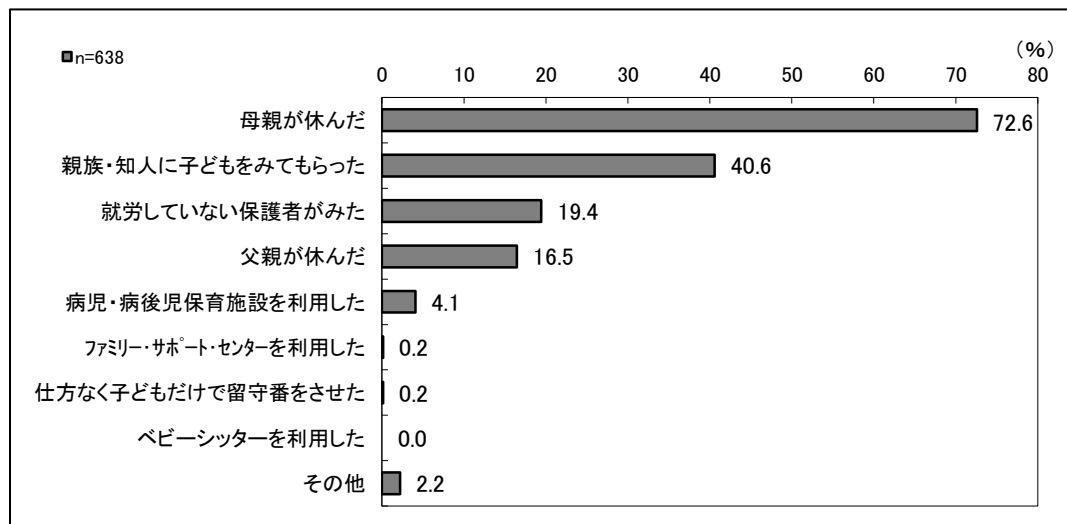
「あった」が78.6%、「なかった」が16.0%で、今回と同様である。

問 18－1 問 18 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどうのことですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。（○はいくつでも 日数を□内に数字で記入）



- 「母親が休んだ」が7割強を占める。

「母親が休んだ」(72.6%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(40.6%)、「就労していない保護者がみた」(19.4%)、「父親が休んだ」(16.5%)、「病児・病後児保育施設を利用した」(4.1%)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」・「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(同率0.2%)となっている。



【前回調査との比較】

「母親が休んだ」が 65.8%となっており、7ポイント程度高くなっている一方、「就労していない保護者がみた」は 28.1%から 9ポイント程度低くなっている。

日数については以下の割合となっている。

(%)

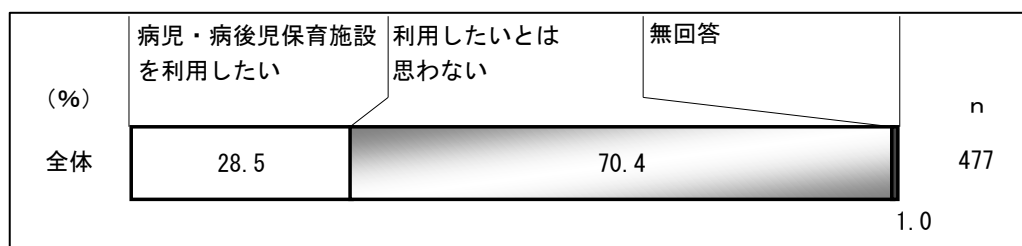
	全体 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無回答
父親が休んだ	105	32.4	21.9	18.1	6.7	10.5	1.9	0.0	1.0	0.0	3.8	3.8
母親が休んだ	463	11.7	10.4	15.3	3.9	17.9	2.2	5.8	2.8	0.0	24.8	5.2
親族・知人に子どもをみてもらった	259	17.8	17.8	13.9	3.9	16.2	1.2	3.1	1.5	0.0	18.5	6.2
就労していない保護者がみた	124	11.3	12.9	12.1	2.4	11.3	3.2	3.2	4.0	1.6	32.3	5.6
病児・病後児保育施設を利用した	26	26.9	34.6	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14	21.4	7.1	42.9	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思われましたか。(○は1 日数についても口内に数字で記入)



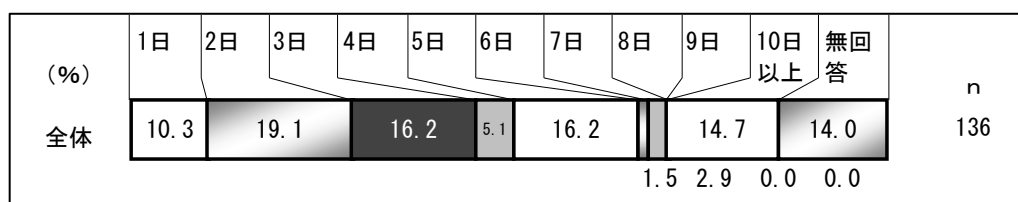
- 「利用したいとは思わない」が約7割を占める。

「利用したいとは思わない」(70.4%)、「病児・病後児保育施設を利用したい」(28.5%)となっている。



・利用したかった日数

利用したかった日数については下記の割合となっている。

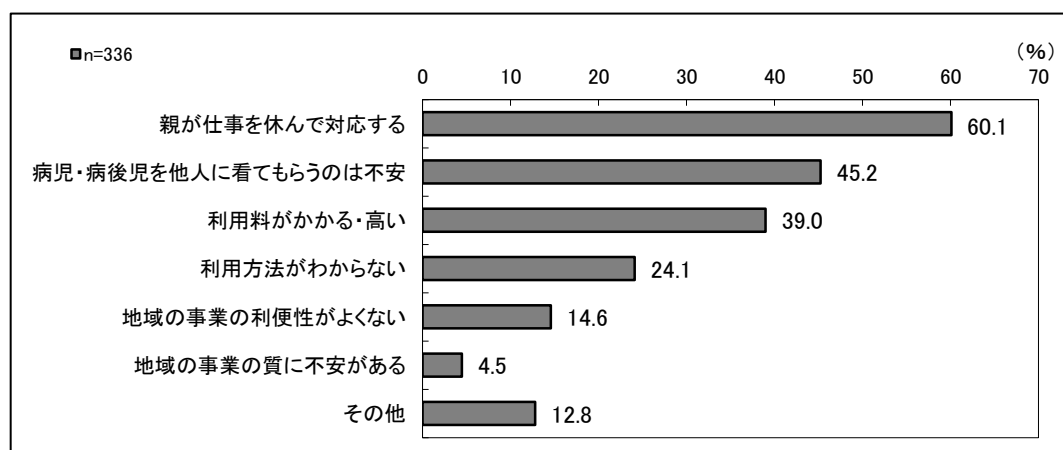


問 18－3 問 18－2で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)



- 「親が仕事を休んで対応する」が約6割を占める。

「親が仕事を休んで対応する」(60.1%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(45.2%)、「利用料がかかる・高い」(39.0%)、「利用方法がわからない」(24.1%)、「地域の事業の利便性がよくない」(14.6%)、「地域の事業の質に不安がある」(4.5%)となっている。



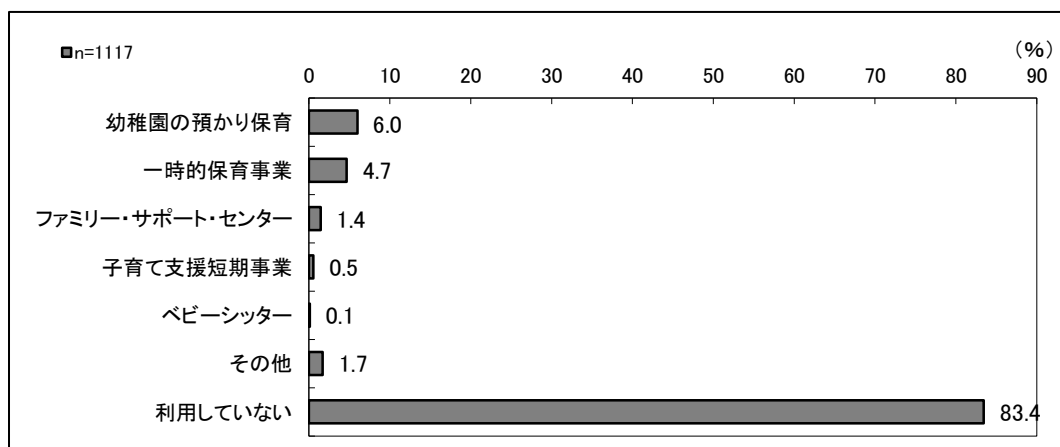
9. 不定期的な利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期的な就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。(○はいくつでも 1年間の利用日数についても□内に数字で記入)



- 「利用していない」が8割強を占める。

「幼稚園の預かり保育」(6.0%)、「一時的保育事業」(4.7%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.4%)、「子育て支援短期事業」(0.5%)、「ベビーシッター」(0.1%)となっている。なお、「利用していない」は83.4%であった。



【前回調査との比較】

「利用していない」が85.7%となっているなど、今回と同様である。

日数については以下のとおりとなっている。

(%)

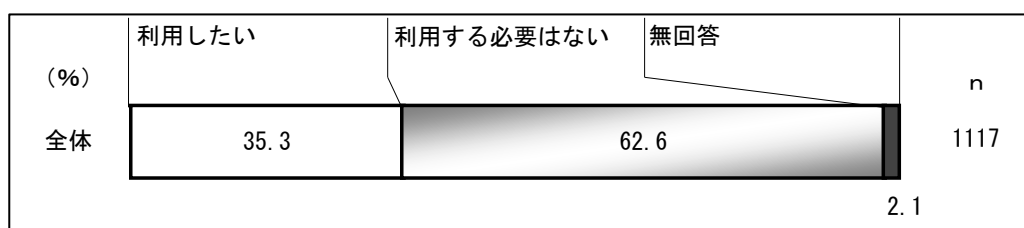
	全体 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日 以上	無回答
一時的保育事業	52	17.3	7.7	0.0	0.0	11.5	3.8	0.0	1.9	0.0	57.7	0.0
幼稚園の預かり 保育	67	10.4	4.5	7.5	4.5	7.5	1.5	3.0	0.0	0.0	55.2	6.0
ファミリー・サポ ート・センター	16	12.5	12.5	12.5	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	31.3	12.5
子育て支援短期 事業	6	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
ベビーシッター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	19	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	36.8	5.3

問 20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(○はいくつでも 日数についても□内に数字で記入)



- 「利用する必要はない」が6割強を占める。不定期の事業を利用したい理由については、「私用、リフレッシュ目的」が7割弱を占める。

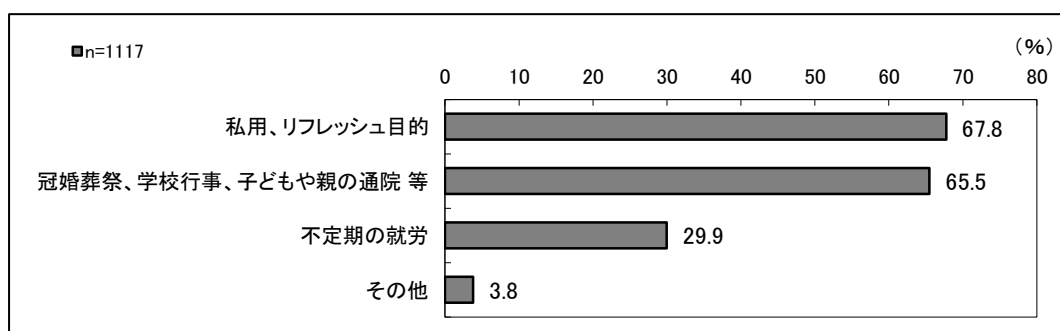
「利用する必要はない」(62.6%)、「利用したい」(35.3%)となっている。



【前回調査との比較】

「利用したい」が26.7%となっており、9ポイント程度高くなっている。なお、「利用する必要はない」は61.3%で、今回と同様である。

不定期の事業を利用したい理由については、「私用、リフレッシュ目的」(67.8%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等」(65.5%)、「不定期の就労」(29.9%)となっている。



利用したい日数の割合については以下のとおりとなっている。

(%)

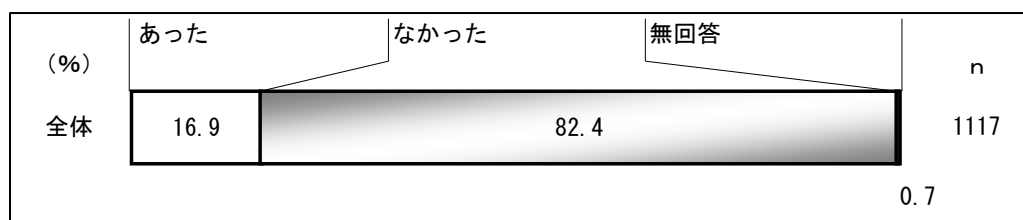
	全体 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無回答
合計	394	1.5	3.0	5.3	2.3	7.9	2.3	2.5	1.8	1.3	64.2	7.9
私用、リフレッシュ目的	267	4.1	4.1	6.7	1.1	13.5	5.6	1.9	0.0	0.0	60.3	2.6
冠婚葬祭、学校行事、通院 等	258	7.4	7.4	13.2	1.9	23.3	2.7	1.6	1.6	0.0	37.6	3.5
不定期の就労	118	3.4	4.2	9.3	4.2	14.4	1.7	2.5	2.5	0.0	52.5	5.1
その他	15	0.0	0.0	20.0	0.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	40.0	20.0

問 21 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（○は 1 つ 日数についても□内に数字で記入）



- 「なかった」が 8 割強を占める。1 年間の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」が 9 割弱を占める。

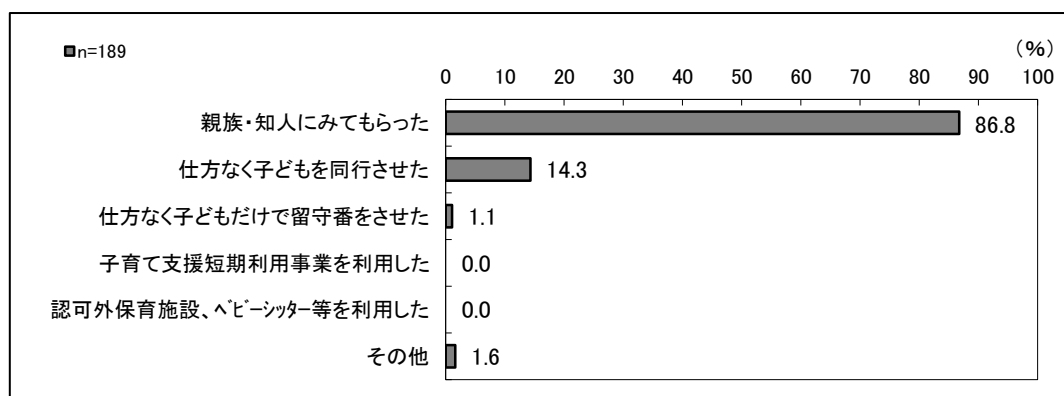
「なかった」(82.4%)、「あった」(16.9%)となっている。



【前回調査との比較】

「あった」が 13.2%となっているなど、今回と同様である。

1 年間の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」(86.8%)、「仕方なく子どもを同行させた」(14.3%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(1.1%)となっている。



泊数については以下のとおりとなっている。

(%)

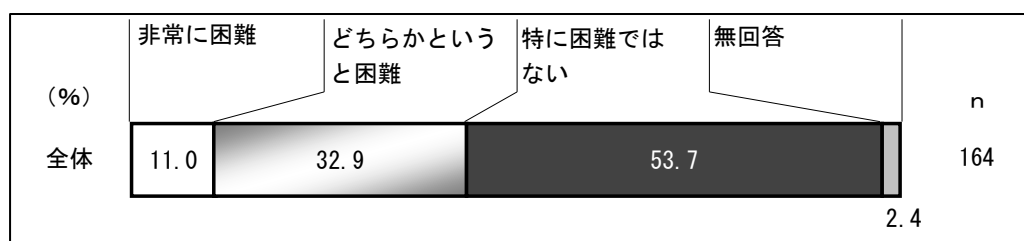
	全体 (人)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10日以上	無回答
親族・知人にみてもらった	164	27.4	22.0	11.0	4.9	8.5	3.0	5.5	0.0	0.0	12.2	5.5
子育て支援短期利用事業を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認可外保育施設、 ベビーシッター等	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子ども を同行させた	27	51.9	18.5	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	3.7	11.1
仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 21-1 問 21 で「1. あった(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)



● 「特に困難ではない」が5割強を占める。

「特に困難ではない」(53.7%)、「どちらかという困難」(32.9%)、「非常に困難」(11.0%)となっている。



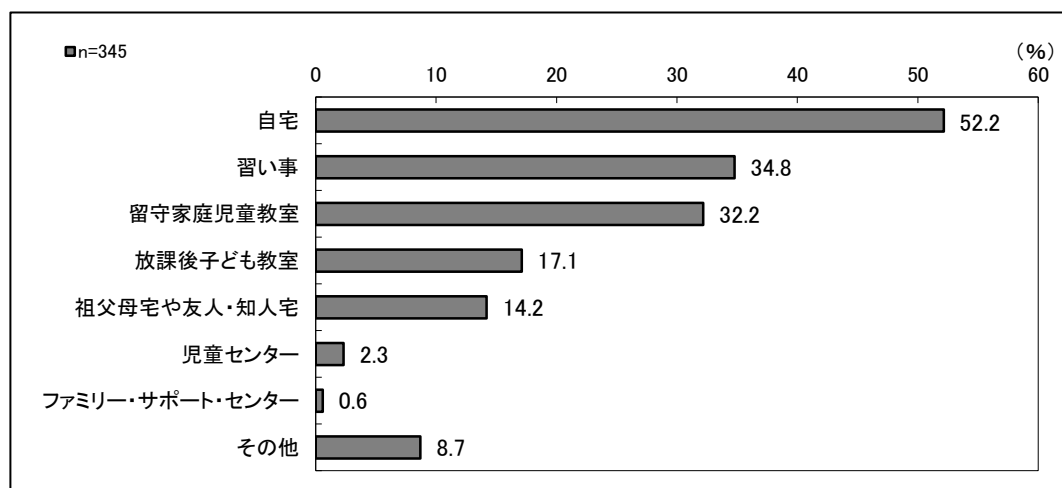
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 22 お子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の過ごし方についてうかがいます。あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも 週の利用日数及び「留守家庭児童教室」の場合には利用希望時間を口内に数字で記入「(例) 18 時」）



- 「自宅」が5割強を占める。

「自宅」（52.2%）、「習い事」（34.8%）、「留守家庭児童教室」（32.2%）、「放課後子ども教室」（17.1%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（14.2%）、「児童センター」（2.3%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.6%）となっている。



【前回調査との比較】

「自宅」が 65.3% で最も多かったが、10 ポイント以上低くなっている。

日数については以下のとおりとなっている。

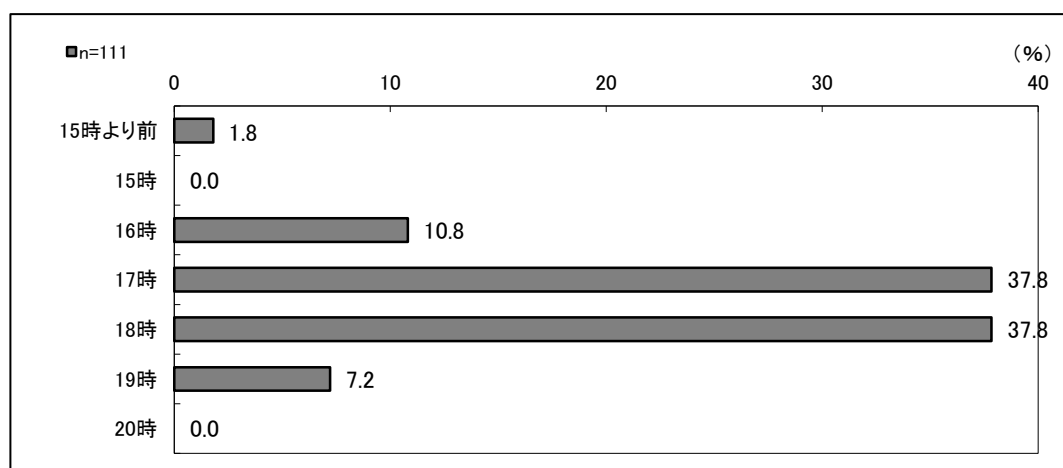
	全体 (人)	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無回答
自宅	180	6.7	16.1	17.8	11.7	40.6	0.6	1.7	5.0
祖父母宅や友人・知人宅	49	32.7	28.6	12.2	0.0	18.4	0.0	0.0	8.2
習い事	120	47.5	34.2	13.3	1.7	0.8	0.0	0.0	2.5
児童センター	8	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0
放課後子ども教室	59	62.7	22.0	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	5.1
留守家庭児童教室	111	0.9	4.5	12.6	10.8	67.6	0.0	0.0	3.6
ファミリー・サポート・センター	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	30	36.7	26.7	13.3	3.3	6.7	0.0	0.0	13.3

・希望終了時刻:6. 留守家庭児童教室



- 「17時」・「18時」が4割強を占める。

「17時」・「18時」(同率 37.8%)、「16時」(10.8%)、「19時」(7.2%)、「15時より前」(1.8%)となっている。

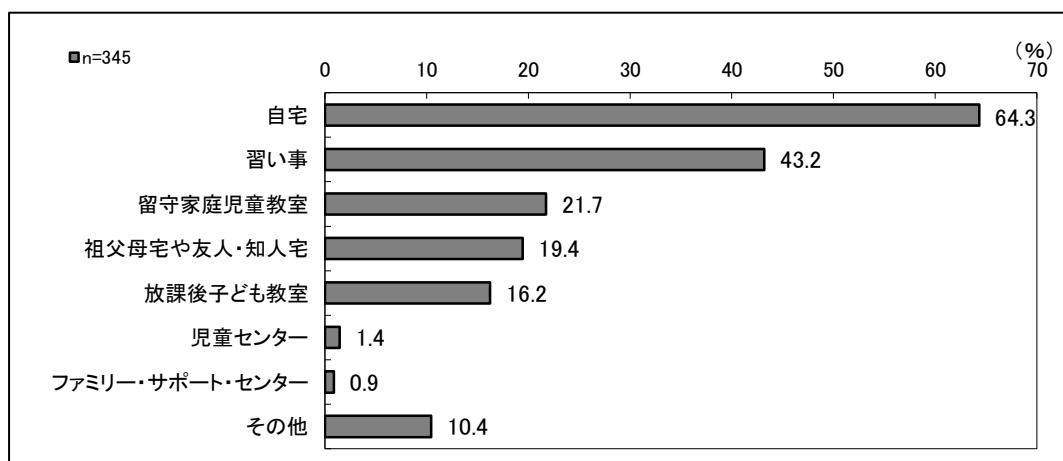


問 23 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも 週の利用日数及び「留守家庭児童教室」の場合には利用希望時間を口内に数字で記入「(例)18時」)



- 「自宅」が6割台半ばを占める。

「自宅」(64.3%)、「習い事」(43.2%)、「留守家庭児童教室」(21.7%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(19.4%)、「放課後子ども教室」(16.2%)、「児童センター」(1.4%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.9%)となっている。



【前回調査との比較】

「自宅」が74.5%で最も多かったが、10ポイント程度低くなっている。

日数については以下のとおりとなっている。

(%)

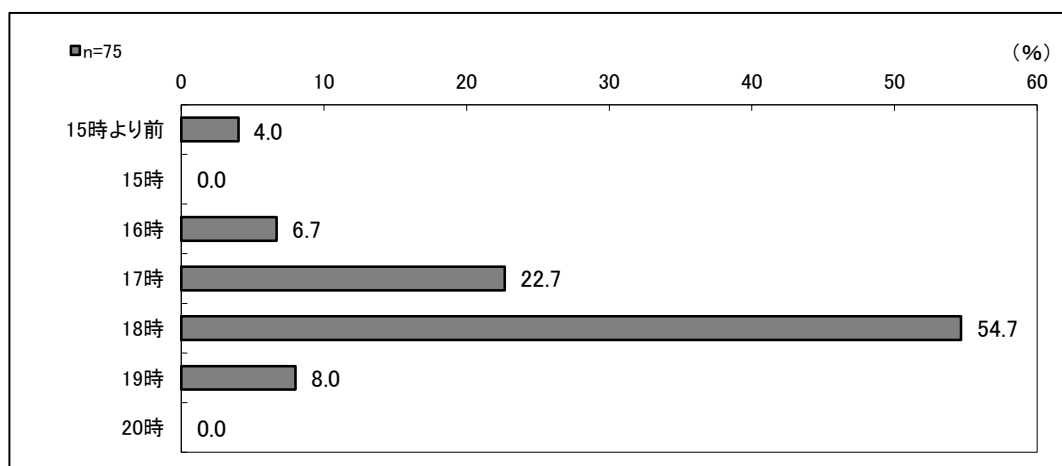
	全体 (人)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答
自宅	222	8.6	18.9	19.4	8.1	37.4	0.0	1.4	6.3
祖父母宅や友人・知人宅	67	38.8	23.9	17.9	1.5	7.5	0.0	0.0	10.4
習い事	149	33.6	40.3	16.8	2.7	2.7	0.0	0.0	4.0
児童センター	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
放課後子ども教室	56	66.1	21.4	0.0	0.0	8.9	0.0	0.0	3.6
留守家庭児童教室	75	6.7	13.3	9.3	16.0	52.0	0.0	0.0	2.7
ファミリー・サポート・センター	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	36	38.9	25.0	13.9	5.6	8.3	0.0	0.0	8.3

・希望終了時刻:6. 留守家庭児童教室



- 「18時」が5割台半ばを占める。

「18時」(54.7%)、「17時」(22.7%)、「19時」(8.0%)、「16時」(6.7%)、「15時より前」(4.0%)となっている。



問 24 問 22 または問 23 で「6. 留守家庭児童教室」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童教室の利用希望はありますか。(○は1つずつ 希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字で記入「(例)08 時～18 時」)

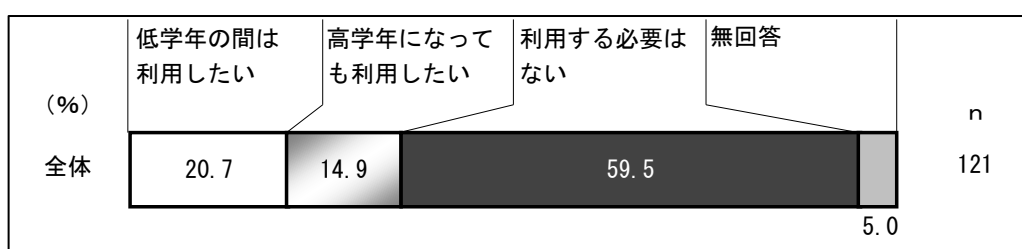
(1) 土曜日

・利用希望:土曜日



- 「利用する必要はない」が約6割を占める。

「利用する必要はない」(59.5%)、「低学年の間は利用したい」(20.7%)、「高学年になっても利用したい」(14.9%) となっている。

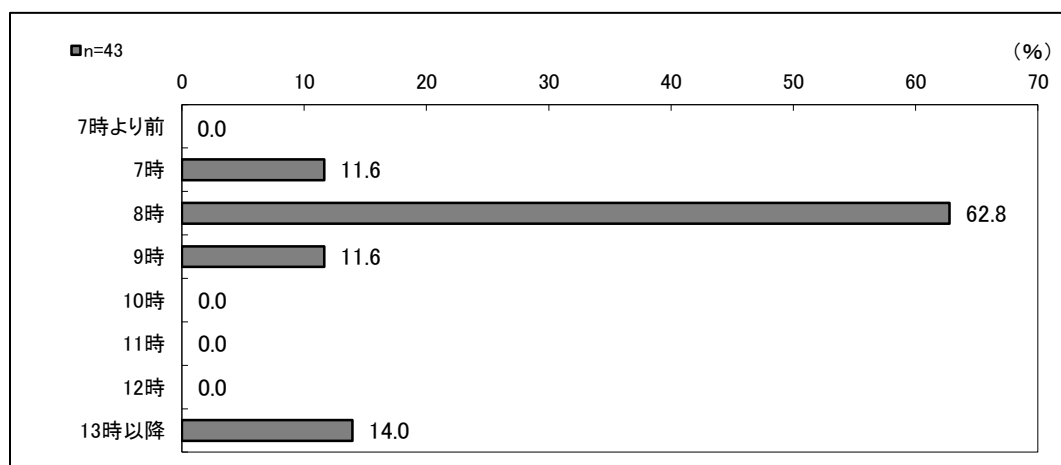


・利用したい時間帯（開始時刻）



- 「8 時」が6割強を占める。

「8 時」(62.8%)、「13 時以降」(14.0%)、「7 時」・「9 時」(同率 11.6%) となっている。

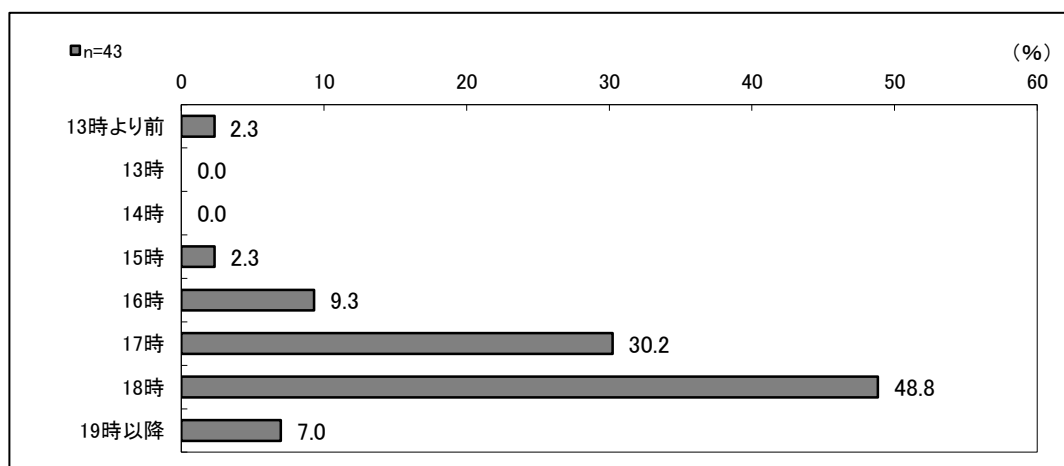


・利用したい時間帯（終了時刻）



- 「18 時」が5割弱を占める。

「18 時」(48.8%)、「17 時」(30.2%)、「16 時」(9.3%)、「19 時以降」(7.0%)、「13 時より前」・「15 時」(同率 2.3%) となっている。



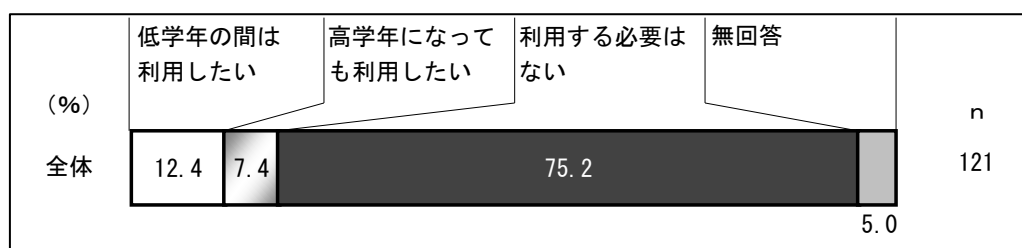
(2) 日曜・祝日

・利用希望：日曜日・祝日



- 「利用する必要はない」が7割台半ばを占める。

「利用する必要はない」(75.2%)、「低学年の間は利用したい」(12.4%)、「高学年になっても利用したい」(7.4%) となっている。

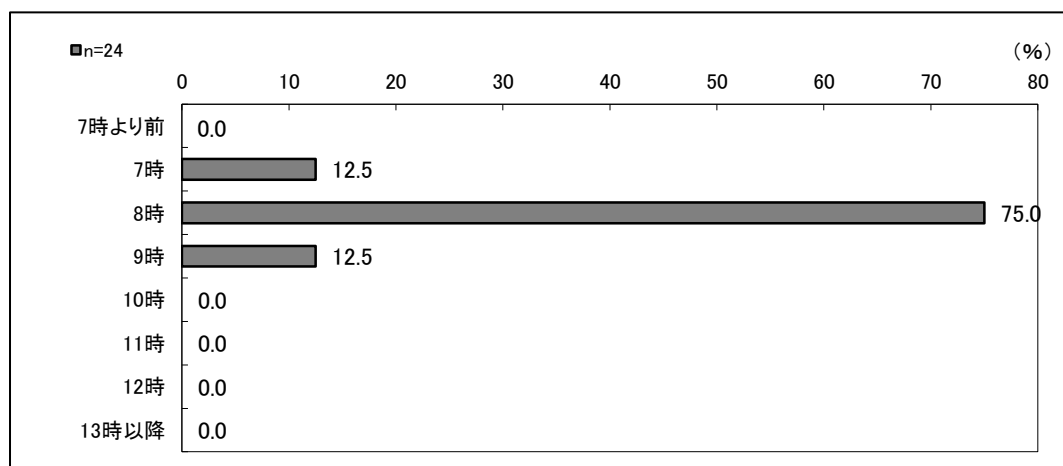


・利用したい時間帯（開始時刻）



- 「8 時」が7 割台半ばを占める。

「8 時」（75.0%）、「7 時」・「9 時」（同率 12.5%）となっている。

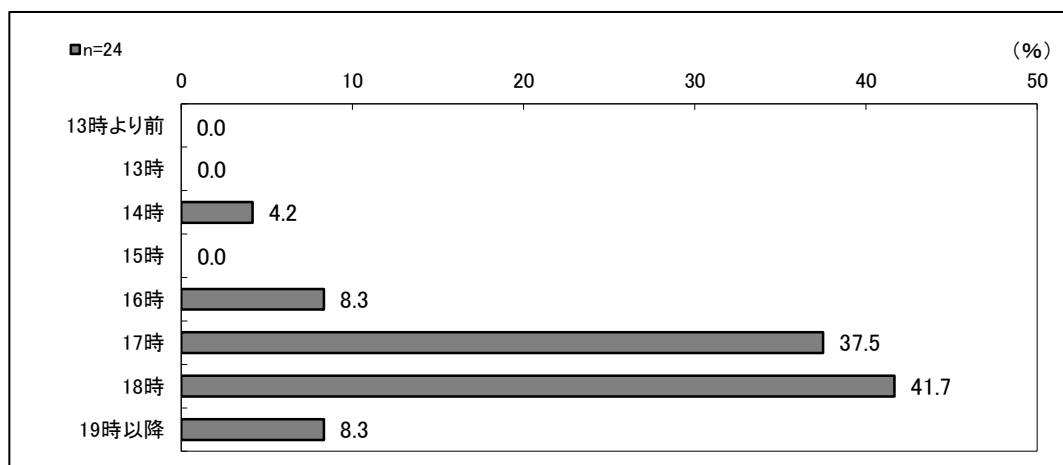


・利用したい時間帯（終了時刻）



- 「18 時」が4 割強を占める。

「18 時」（41.7%）、「17 時」（37.5%）、「16 時」・「19 時以降」（同率 8.3%）、「14 時」（4.2%）となっている。



問 25 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童教室の利用希望はありますか。(○は1つずつ 希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字で記入「(例)08時～18時」)

・利用希望



- 「低学年の間は利用したい」、「利用する必要はない」がそれぞれ約3割を占める。

「低学年の間は利用したい」(29.6%)、「利用する必要はない」(29.3%)、「高学年になっても利用したい」(22.6%)となっている。

(%)	低学年の間は 利用したい	高学年になっ ても利用したい	利用する必要は ない	無回答	n
全体	29.6	22.6	29.3	18.6	345

【前回調査との比較】

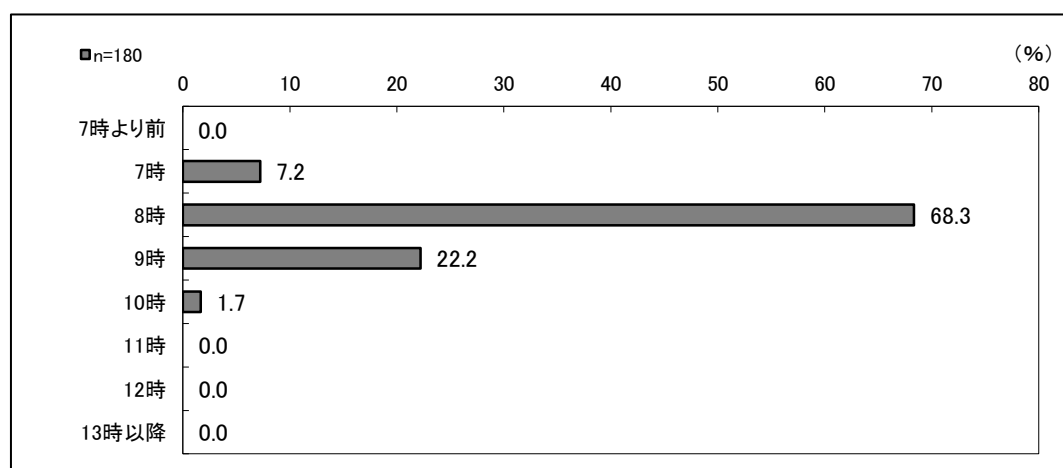
「低学年の間は利用したい」は31.0%、「高学年になっても利用したい」は20.4%となっており、利用意向は今回と同様である。

・利用したい時間帯（開始時刻）



- 「8時」が7割弱を占める。

「8時」(68.3%)、「9時」(22.2%)、「7時」(7.2%)、「10時」(1.7%)となっている。

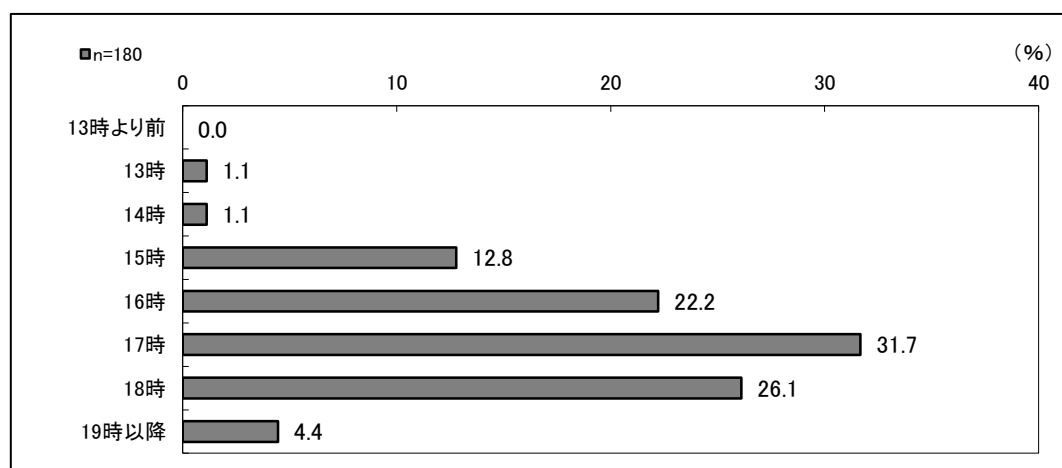


・利用したい時間帯（終了時刻）



- 「17時」が3割強を占める。

「17時」(31.7%)、「18時」(26.1%)、「16時」(22.2%)、「15時」(12.8%)、「19時以降」(4.4%)、「13時」(1.1%)、「14時」(1.1%) となっている。



11. 職場の両立支援制度について

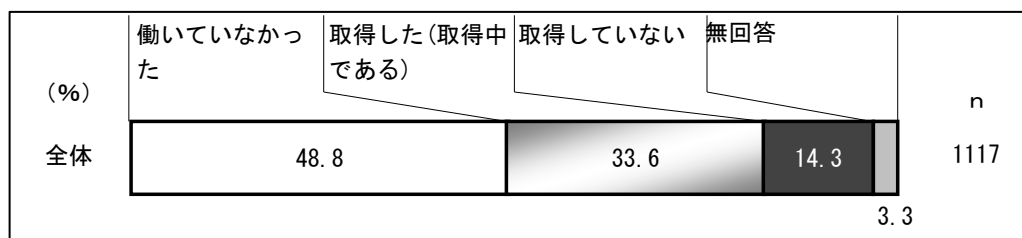
問 26 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(○は1つずつ) また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ○はいくつでも)

(1) 母親 育児休業の取得について



- 「働いていなかった」が5割弱を占める。

「働いていなかった」(48.8%)、「取得した(取得中である)」(33.6%)、「取得していない」(14.3%) となっている。



【前回調査との比較】

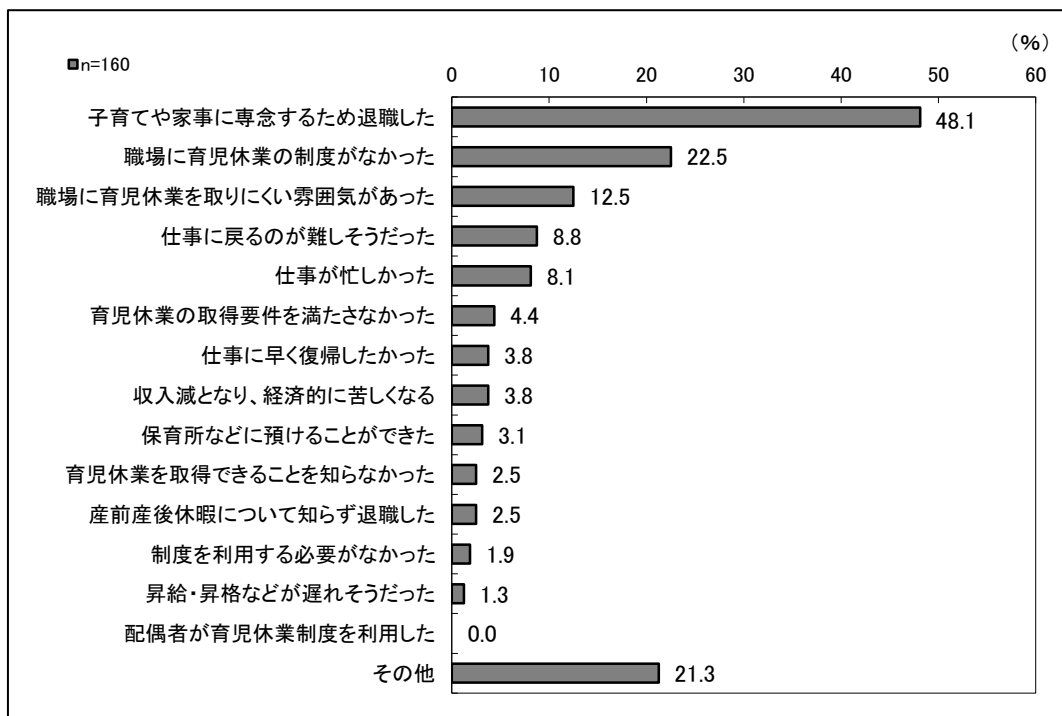
「働いていなかった」(57.5%) は9ポイント程度減少し、「取得した(取得中である)」(23.4%) は10ポイント程度高くなっている。

・ 育児休業を取得していない理由



- 「子育てや家事に専念するため退職した」が他を引き離して第1位。

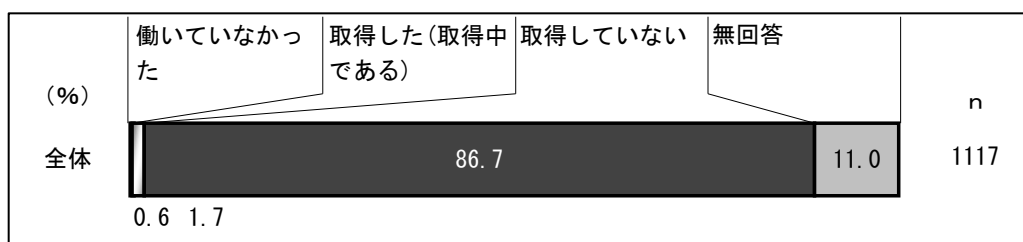
「子育てや家事に専念するため退職した」(48.1%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(22.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(12.5%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(8.8%)、「仕事が忙しかった」(8.1%)、「育児休業の取得要件を満たさなかった」(4.4%)、「仕事に早く復帰したかった」・「収入減となり、経済的に苦しくなる」(同率3.8%)、「保育所などに預けることができた」(3.1%)、「育児休業を取得できることを知らなかった」・「産前産後休暇について知らず退職した」(同率2.5%)、「制度を利用する必要がなかった」(1.9%)、「昇給・昇格などが遅れそうだった」(1.3%)となっている。



(2) 父親 育児休業の取得について

- 「取得していない」が9割弱を占める。

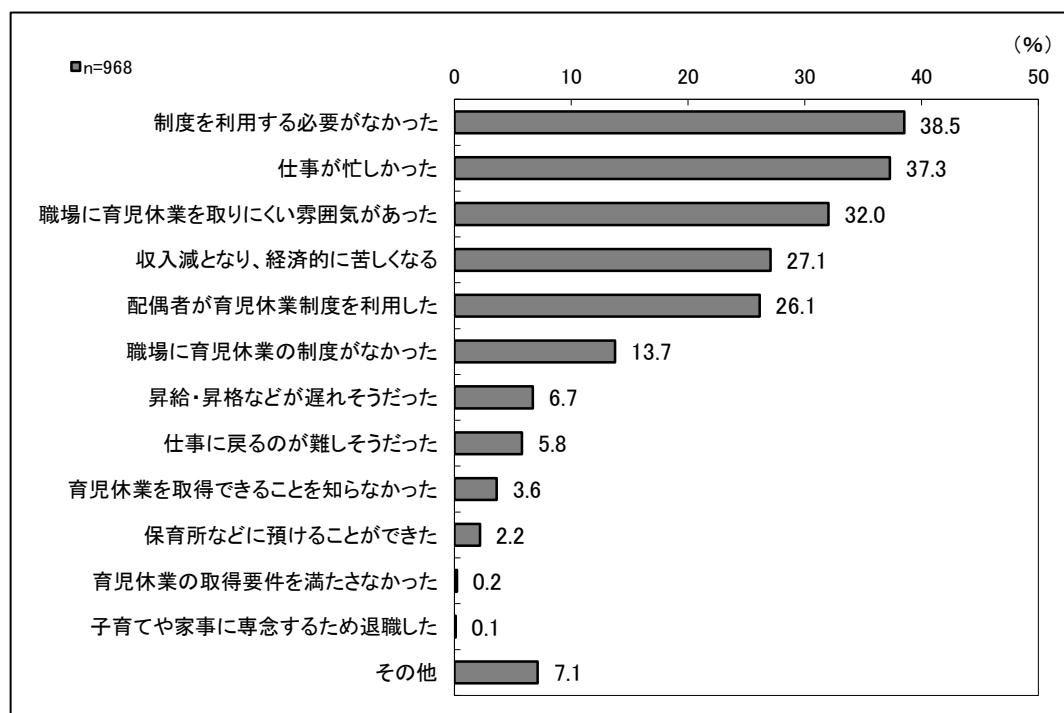
「取得していない」(86.7%)、「取得した(取得中である)」(1.7%)、「働いていなかった」(0.6%)となっている。



・育児休業を取得していない理由

- 「制度を利用する必要がなかった」が第1位、「仕事が忙しかった」が続く。

「制度を利用する必要がなかった」(38.5%)、「仕事が忙しかった」(37.3%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(32.0%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(27.1%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(26.1%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(13.7%)、「昇給・昇格などが遅れそうだった」(6.7%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(5.8%)、「育児休業を取得できることを知らなかった」(3.6%)、「保育所などに預けることができた」(2.2%)、「育児休業の取得要件を満たさなかった」(0.2%)、「子育てや家事に専念するため退職した」(0.1%)となっている。



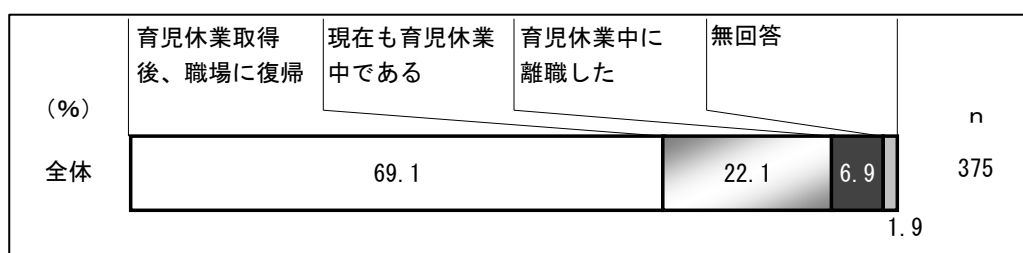
問 26－1 問 26 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つずつ）

（1）母親



- 「育児休業取得後、職場に復帰した」が約7割を占める。

「育児休業取得後、職場に復帰した」（69.1%）、「現在も育児休業中である」（22.1%）、「育児休業中に離職した」（6.9%）となっている。



【前回調査との比較】

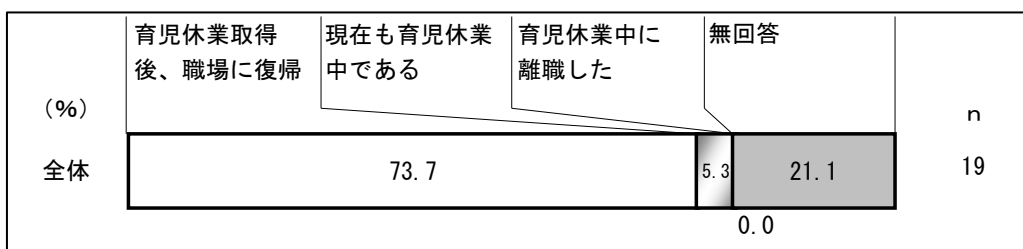
「育児休業取得後、職場に復帰した」は67.3%、「現在も育児休業中である」は19.7%となっており、今回と同様である。

（2）父親



- 「育児休業取得後、職場に復帰した」が7割強を占める。

「育児休業取得後、職場に復帰した」（73.7%）、「現在も育児休業中である」（5.3%）となっている。



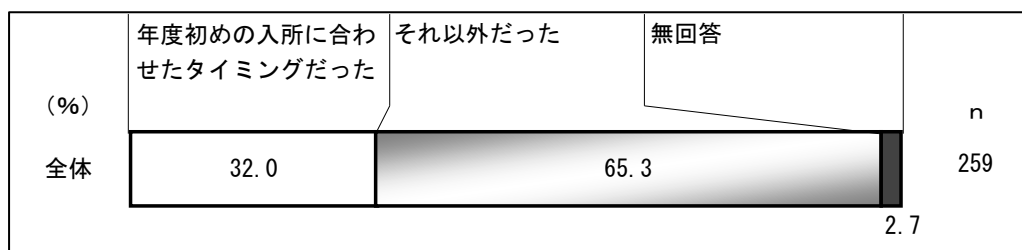
問 26-2 問 26-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つずつ）

（1）母親



- 「それ以外だった」が6割台半ばを占める。

「それ以外だった」（65.3%）、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」（32.0%）となっている。



（2）父親

「それ以外だった」（100.0%、14人）となっている。

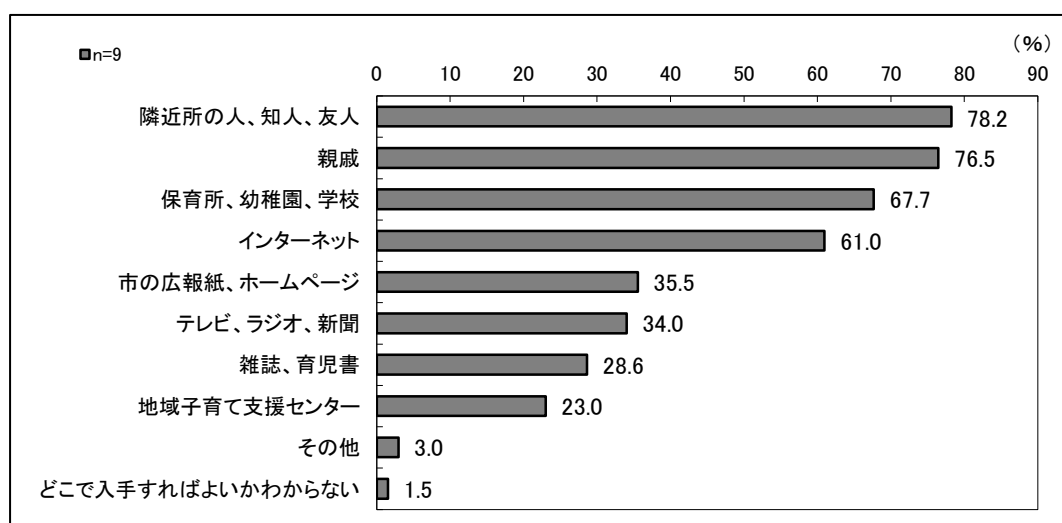
12. 子育て全般について

問 27 子育てに関する情報を誰から（どのように）入手していますか。（○はいくつでも）



- 「隣近所の人、知人、友人」が第1位、「親戚」が続く。

「隣近所の人、知人、友人」（78.2%）、「親戚」（76.5%）、「保育所、幼稚園、学校」（67.7%）、「インターネット」（61.0%）、「市の広報紙、ホームページ」（35.5%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（34.0%）、「雑誌、育児書」（28.6%）、「地域子育て支援センター」（23.0%）となっている。なお、「どこで入手すればよいかわからない」は1.5%であった。



【前回調査との比較】

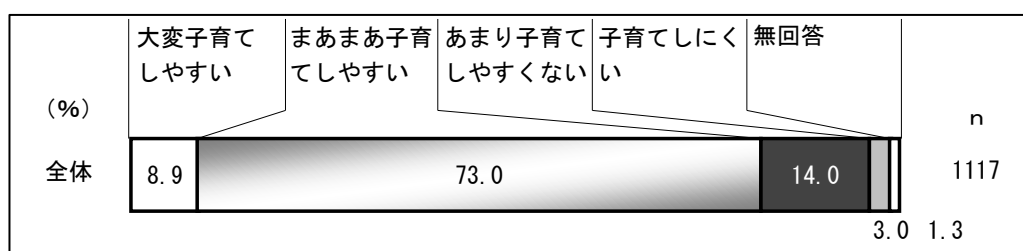
「隣近所の人、知人、友人」（75.2%）、「親戚」（65.2%）、「保育所、幼稚園、学校」（58.6%）となっており、上位項目は今回と同様である。

問 28 関市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



- “子育てしやすい”が8割強を占める。

「まあまあ子育てしやすい」（73.0%）、「あまり子育てしやすい」（14.0%）、「大変子育てしやすい」（8.9%）、「子育てしにくい」（3.0%）となっている。



【前回調査との比較】

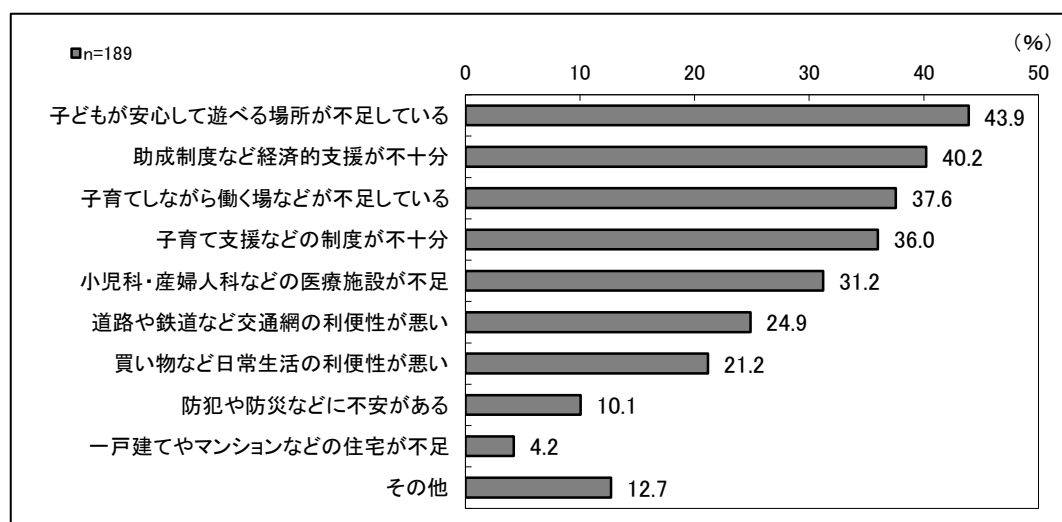
「大変子育てしやすい」は 7.7%、「まあまあ子育てしやすい」は 68.4%となっており、これらをあわせた“子育てしやすい”率は5ポイント程度高くなっている。

問 28－1 問 28 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。子育てしやすい、子育てしにくいと感じる理由は何ですか。（○は3つまで）



- 「子どもが安心して遊べる場所が不足している」が第1位、「助成制度など経済的支援が不十分」が続く。

「子どもが安心して遊べる場所が不足している」(43.9%)、「助成制度など経済的支援が不十分」(40.2%)、「子育てしながら働く場などが不足している」(37.6%)、「子育て支援などの制度が不十分」(36.0%)、「小児科・産婦人科などの医療施設が不足」(31.2%)、「道路や鉄道など交通網の利便性が悪い」(24.9%)、「買い物など日常生活の利便性が悪い」(21.2%)、「防犯や防災などに不安がある」(10.1%)、「一戸建てやマンションなどの住宅が不足」(4.2%)となっている。



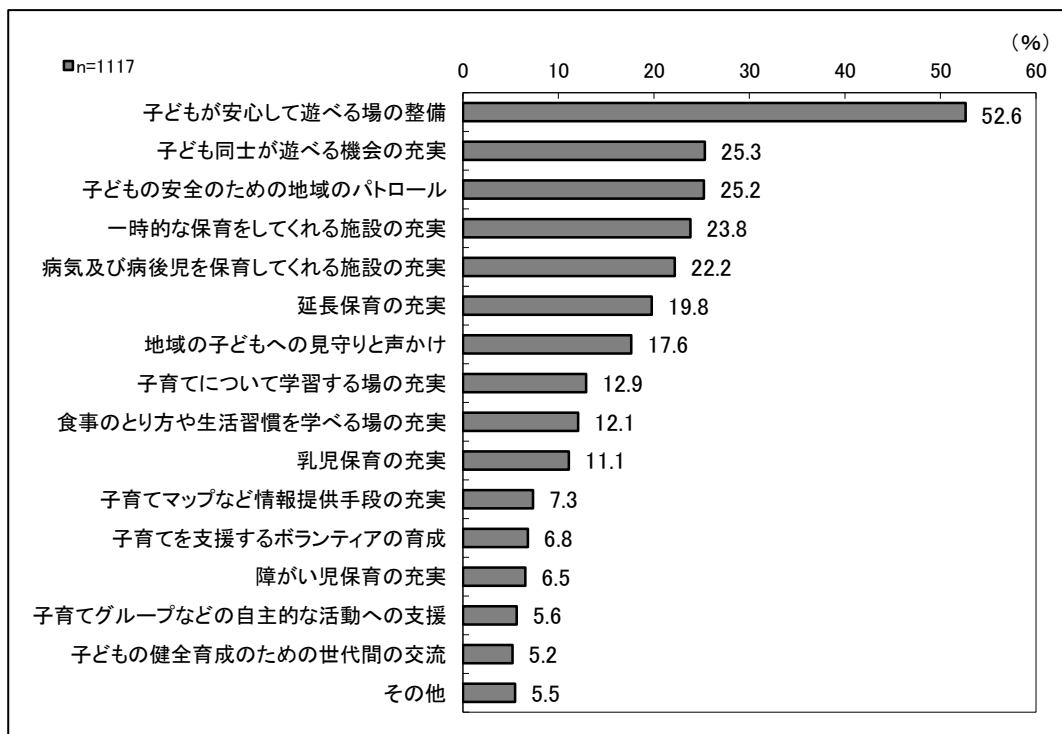
【前回調査との比較】

「子どもが安心して遊べる場所が不足している」(50.2%)、「子育てしながら働く場などが不足している」(46.1%)、「助成制度など経済的支援が不十分」(38.7%)となっており、順位に変動はあるものの、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 29 関市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。(〇は3つまで)

- 「子どもが安心して遊べる場の整備」が他を引き離して第1位。

「子どもが安心して遊べる場の整備」(52.6%)、「子ども同士が遊べる機会の充実」(25.3%)、「子どもの安全のための地域のパトロール」(25.2%)、「一時的な保育をしてくれる施設の充実」(23.8%)、「病気及び病後児を保育してくれる施設の充実」(22.2%)、「延長保育の充実」(19.8%)、「地域の子どもへの見守りと声かけ」(17.6%)、「子育てについて学習する場の充実」(12.9%)、「食事のとり方や生活習慣を学べる場の充実」(12.1%)、「乳児保育の充実」(11.1%)、「子育てマップなど情報提供手段の充実」(7.3%)、「子育てを支援するボランティアの育成」(6.8%)、「障がい児保育の充実」(6.5%)、「子育てグループなどの自主的な活動への支援」(5.6%)、「子どもの健全育成のための世代間の交流」(5.2%)となっている。



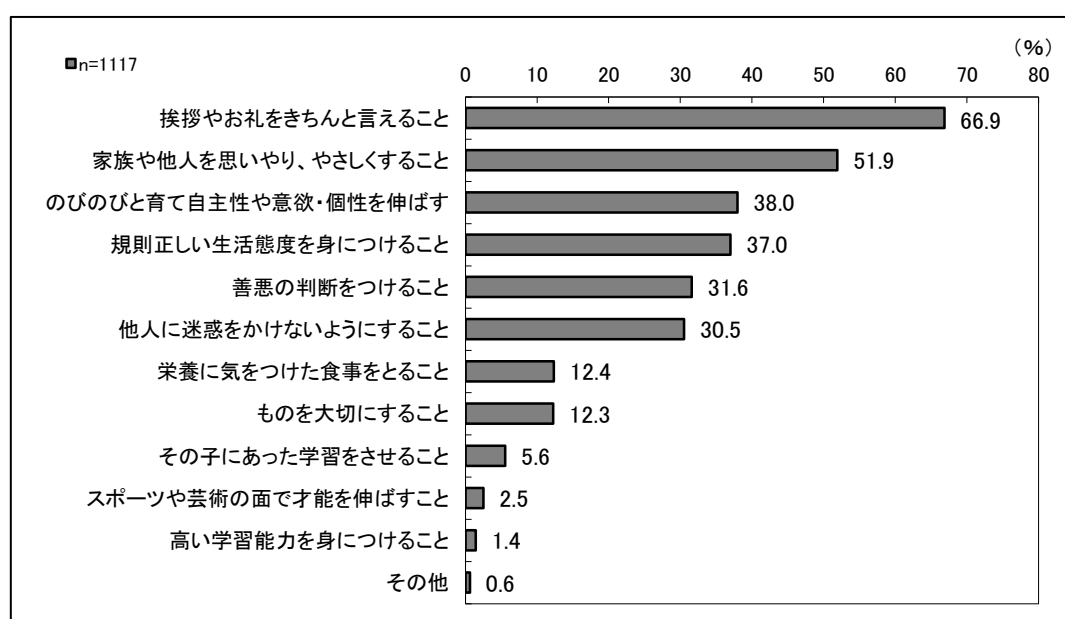
【前回調査との比較】

「子どもが安心して遊べる場の整備」(62.9%)、「子ども同士が遊べる機会の充実」(28.3%)、「子どもの安全のための地域のパトロール」(25.7%)となっており、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 30 子育てにおいて、大切にしていることは何ですか。(〇は3つまで)

- 「挨拶やお礼をきちんと言えること」が他を引き離して第1位、「家族や他人を思いやり、やさしくすること」が続く。

「挨拶やお礼をきちんと言えること」(66.9%)、「家族や他人を思いやり、やさしくすること」(51.9%)、「のびのびと育て自主性や意欲・個性を伸ばす」(38.0%)、「規則正しい生活態度を身につけること」(37.0%)、「善悪の判断をつけること」(31.6%)、「他人に迷惑をかけないようにすること」(30.5%)、「栄養に気をつけた食事をとること」(12.4%)、「ものを大切にすること」(12.3%)、「その子にあった学習をさせること」(5.6%)、「スポーツや芸術の面で才能を伸ばすこと」(2.5%)、「高い学習能力を身につけること」(1.4%)となっている。



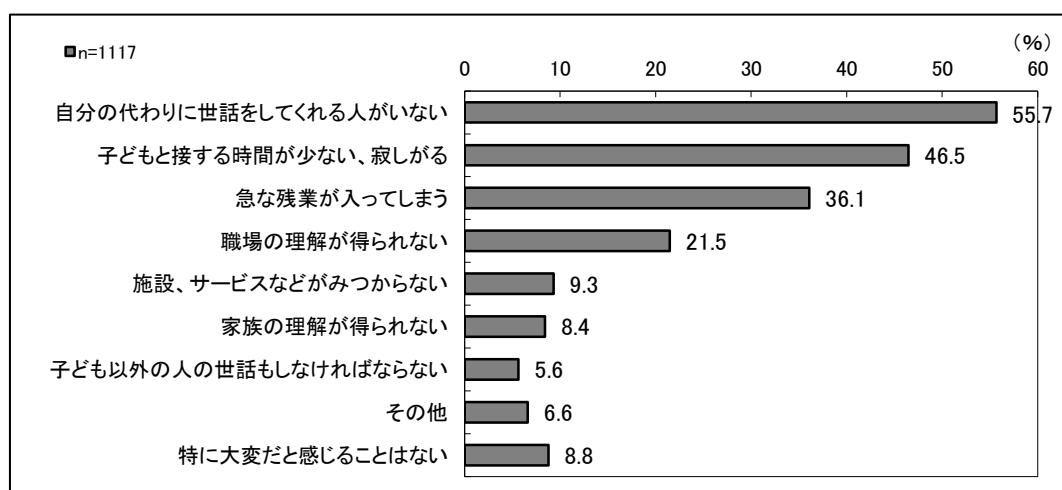
【前回調査との比較】

「挨拶やお礼をきちんと言えること」(72.1%)、「家族や他人を思いやり、やさしくすること」(54.1%)、「のびのびと育て自主性や意欲・個性を伸ばす」(43.2%)となっており、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 31 仕事と子育てを両立する上で大変だと考えられることは何ですか。(○はいくつでも)

- 「自分の代わりに世話をしてくれる人がいない」が第1位、「子どもと接する時間が少ない、寂しがる」が続く。

「自分の代わりに世話をしてくれる人がいない」(55.7%)、「子どもと接する時間が少ない、寂しがる」(46.5%)、「急な残業が入ってしまう」(36.1%)、「職場の理解が得られない」(21.5%)、「施設、サービスなどがみつからない」(9.3%)、「家族の理解が得られない」(8.4%)、「子ども以外の人の世話もしなければならない」(5.6%)となっている。なお、「特に大変だと感じることはない」は8.8%であった。



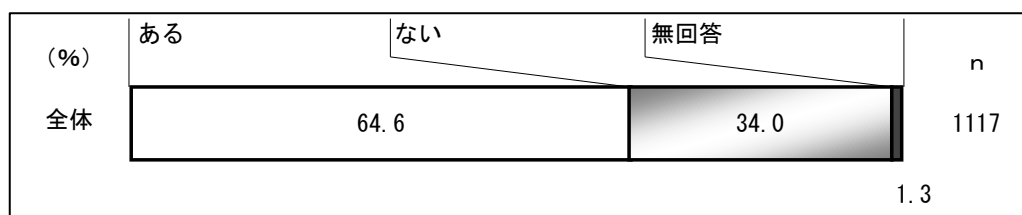
【前回調査との比較】

「自分の代わりに世話をしてくれる人がいない」(49.9%)、「子どもと接する時間が少ない、寂しがる」(46.9%)、「急な残業が入ってしまう」(38.5%)となっており、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 32 子育てに関して不安感や負担感を感じることがありますか。(○は1つ)

- 「ある」が6割台半ばを占める。

「ある」(64.6%)、「ない」(34.0%)となっている。

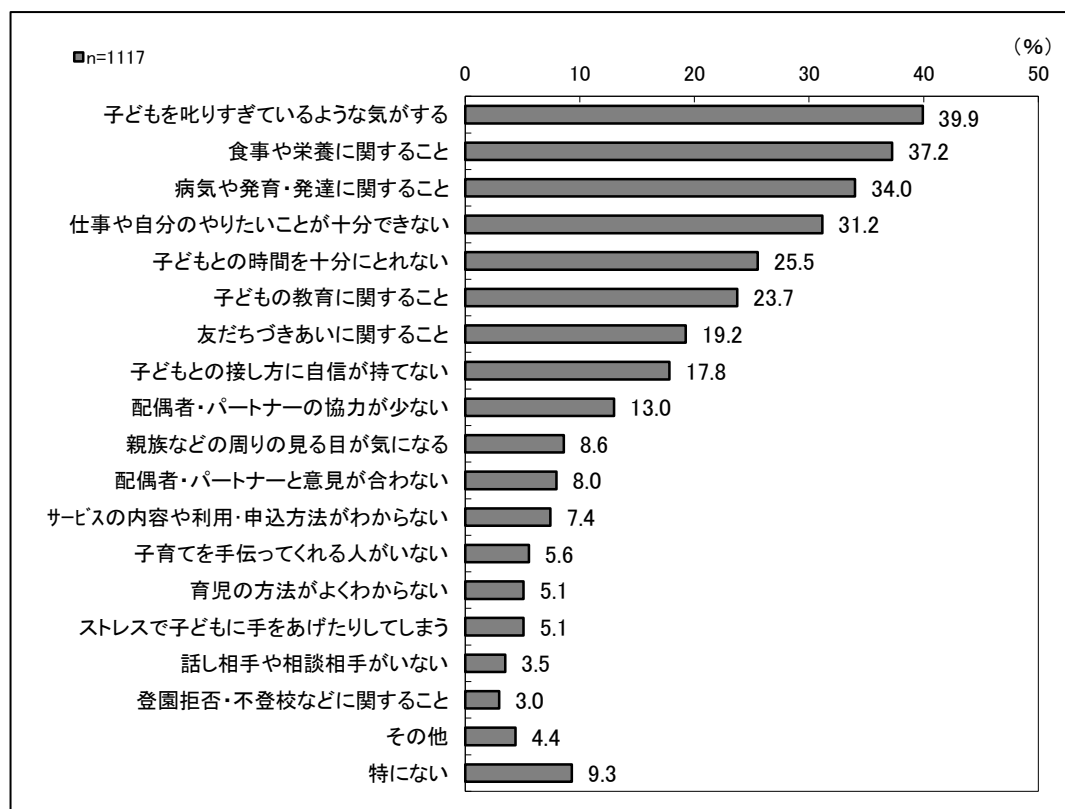


問 33 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



- 「子どもを叱りすぎているような気がする」が第1位、「食事や栄養に関すること」が続く。

「子どもを叱りすぎているような気がする」(39.9%)、「食事や栄養に関すること」(37.2%)、「病気や発育・発達に関すること」(34.0%)、「仕事や自分のやりたいことが十分できない」(31.2%)、「子どもとの時間を十分にとれない」(25.5%)、「子どもの教育に関すること」(23.7%)、「友だちづきあいに関すること」(19.2%)、「子どもとの接し方に自信が持てない」(17.8%)、「配偶者・パートナーの協力が少ない」(13.0%)、「親族などの周りの見目が気になる」(8.6%)、「配偶者・パートナーと意見が合わない」(8.0%)、「サービスの内容や利用・申込方法がわからない」(7.4%)、「子育てを手伝ってくれる人がいない」(5.6%)、「育児の方法がよくわからない」・「ストレスで子どもに手をあげたりしてしまう」(同率 5.1%)、「話し相手や相談相手がいない」(3.5%)、「登園拒否・不登校などに関すること」(3.0%) となっている。なお、「特にない」は 9.3%であった。



問 34 あなたのご家庭では、ご家族で過ごす（楽しい）時間にはどのようなことをされていますか。自由にご記入ください。

内容		件数
1 自然と触れる		21
例	公園に行ったり、山登りしたり自然に触れる時間を取るようになっている。	
	自然を感じられるような場所へ行き、子ども達を思いっきりのびのび遊ばせている。	
	なるべく自然に触れたり、公園に出かけて親子で一緒に体を動かして遊ぶようにする。	
2 運動する		34
例	ドッチボールやサッカーを一緒にやること。	
	外で鬼ごっこやキャッチボールをして遊ぶ。	
	外で体を動かして遊ぶ。	
	野球が好きなので、一緒にキャッチボールをしたり外で遊んでいる。	
	週末は毎週サッカーがあるので、休みの日は子どもがやりたいことを聞いて、やれることはする。	
3 外出		466
例	どこかに出かける。散歩へ行ったり一緒に遊ぶ。	
	散歩、温泉、買い物。	
	百年公園、岐阜ファミリーパークに行き、遊んでいる。	
	大きな公園に行くこと。遠出すること。	
	公園で遊ぶ。おいしいものを食べに行く。	
	公園やテーマパークなど子どもが楽しめる場所へ行く。	
4 ゲーム・室内遊び		108
例	家族みんなでテレビゲームをしたり、アニメやテレビを見たりしている。	
	一緒に絵をかいたり塗り絵、トランプ。	
	子どもとかるた、ボードゲーム等の遊び、絵をかいたり、本を読んだりなど。	
	UNO、オセロ、動物将棋、トランプなどの遊び。	
	一緒に同じテレビをみたり、かるたやゲームを一緒にする。	
5 食事		88
例	家族がそろった時にはみんなで食事をする。	
	休みの日の夕飯はホットプレート料理にてパーティー感を出している。	
	夕飯を一緒に食べることが楽しい。	
	美味しいものをみんなで食べて笑顔で話す。	
	祖父母も一緒に大人数で食事をする。	
6 団らん		47
例	今日はどんな1日だったか聞く。	
	対面で子どもと話すようになっている。	
	一緒におやつを食べながらいろいろお話しする。	
	たくさん話をしてコミュニケーションをとる。	

7 スキンシップ		56
例	全員でお風呂に入る。	
	スキンシップを意識して組体操。	
	なるべく目を合わせてスキンシップ（笑顔を見せる）。	
	こちょこちょ遊び。	
	スキンシップ(家族みんなでじゃれ合う)。	
8 歌や踊りなど		20
例	音楽に合わせて踊ったり、歌ったり。	
	DVDを見て一緒に歌ったり踊ったり手遊びをする。	
	音楽をかけて一緒に歌ったり踊ったりする。	
9 料理		17
例	簡単なパンなど食事作りを一緒にしてみんなで食べる。	
	休みの日は一緒にお菓子をつくったり、料理をする。	
	何も予定がない休日は餃子やクッキーをつくったりイベントとして楽しむ。	
10 その他		27
例	可能な限り、子どもの希望に合わせた時間の使い方をするようにしている。	
	母親だけでなく、両親の親や祖父母など友人などいろいろな人や物に触れさせている。	
	一緒に遊んだりお勉強したり、同じことを一緒に取り組むこと。	

問 35 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

内容		件数
1 保育所・保育園に関すること		
	保育園に入れる条件を緩和してほしい。	6
	保育園の質を向上してほしい。	4
	土曜日も終日、開所してほしい。	4
	保育料が高い。	4
	保育士をしっかり確保してほしい。	3
2 幼稚園に関すること		
	幼稚園に満足している。	3
	公立幼稚園がない。	3
	認定こども園をつくってほしい。	2
3 学童保育・留守家庭子ども教室に関すること		
	学童保育・留守家庭子ども教室を6年生まで使えるようにしてほしい。	5
	学童保育の開所時間を長くしてほしい。	3
	祖父母がいても入れるようにしてほしい。	2
	土曜日も開所してほしい。	2

4 病児・病後児保育に関すること		
	病児・病後児保育を充実してほしい。	17
	当日の急な病気にも対応してほしい。	5
	手続を簡単にしてほしい。	3
	病児・病後児保育を周知してほしい。	2
5 経済的支援について		
	経済的負担の軽減のための支援をしてほしい。	12
6 幼児教育の無償化について		
	保育・教育の無償化は大変ありがたい。	4
	早く無償化をしてほしい。	4
	制度の詳細を周知してほしい。	3
	未満児保育も無償化してほしい。	2
	無償化は慎重にすべき。	2
7 保健・医療に関すること		
	医療費を高校生まで無料にしてほしい。	6
	医療費無料は非常にありがたい。	3
	健診に時間がかかるので、効率化や、おもちゃを増やすなど子どもが飽きないようにしてほしい。	3
8 遊び場に関すること		
	子ども達が安心して遊べる公園を増やしてほしい。	42
	児童館など、屋内で遊べる施設を充実させてほしい。	14
	子どもの遊び場を充実してほしい。	7
9 学校・教育について		
	参観日など、小学校のイベントが多いので、簡略化してほしい。	3
	P T Aなど、保護者の負担が重い。	3
	小学校合併の話を周知してほしい。	2
10 仕事について		
	子育てと仕事を両立できる環境を整備してほしい。	3
11 障がい児対策について		
	障がい児が差別なく、安心して暮らせる環境をつくってほしい。	4
	保育園や小学校に、専門知識のある人を配置してほしい。	3
12 子育て支援全般について		
	関市は子育て世代に優しく、子育ての助成や制度が充実していると思う。	9
	子育て支援サービスや、イベントの情報を周知してほしい。	6
13 その他		
	警報による休園が多い。	6
	アンケートはネットでも回答できるようにしてほしい。	2

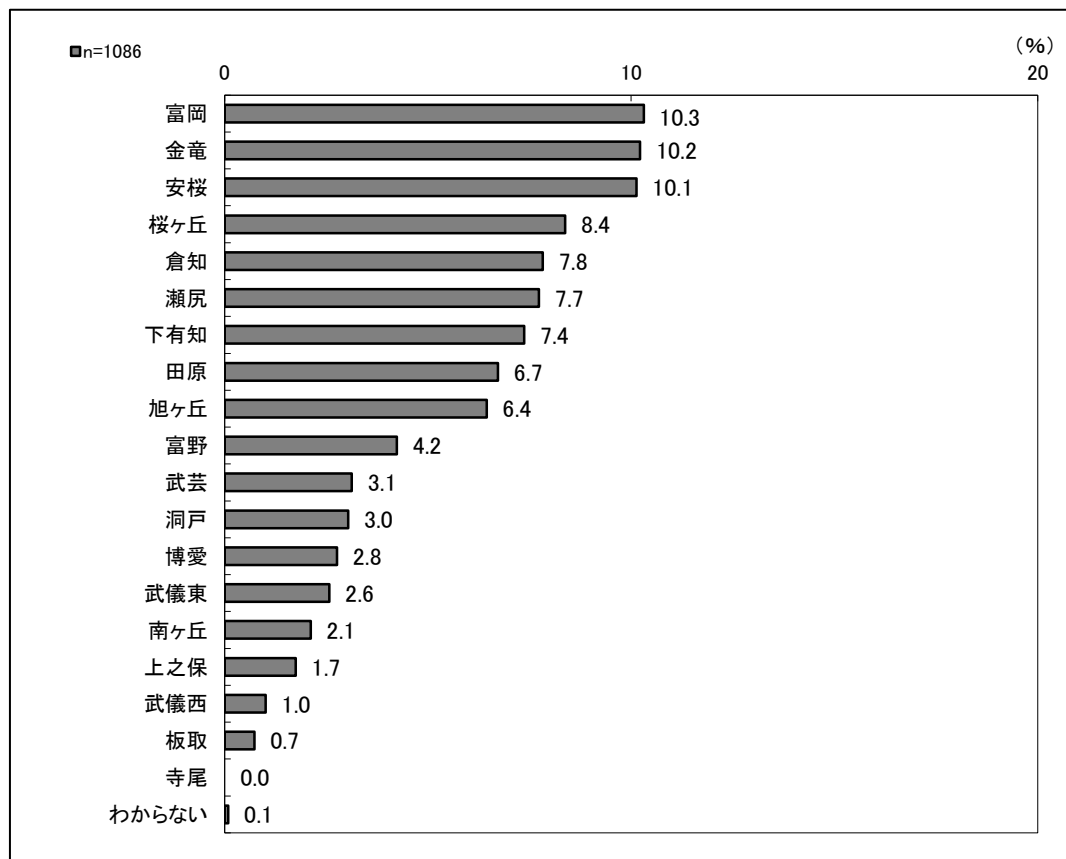
IV 小学生の調査結果

1. 居住地域について

問1 現在、どちらの小学校区にお住まいですか。(○は1つ)

「富岡」(10.3%)、「金竜」(10.2%)、「安桜」(10.1%)、「桜ヶ丘」(8.4%)、「倉知」(7.8%)、「瀬尻」(7.7%)、「下有知」(7.4%)、「田原」(6.7%)、「旭ヶ丘」(6.4%)、「富野」(4.2%)、「武芸」(3.1%)、「洞戸」(3.0%)、「博愛」(2.8%)、「武儀東」(2.6%)、「南ヶ丘」(2.1%)、「上之保」(1.7%)、「武儀西」(1.0%)、「板取」(0.7%)、「わからない」(0.1%) となっている。

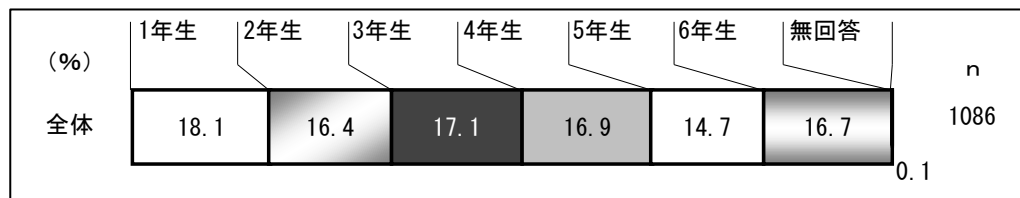
※、「寺尾」(0.0%)



2. 家族の状況について

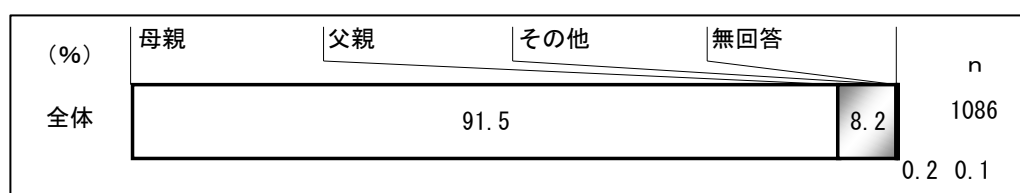
問2 あて名のお子さんは現在何年生ですか。(○は1つ)

「1年生」(18.1%)、「3年生」(17.1%)、「4年生」(16.9%)、「6年生」(16.7%)、「2年生」(16.4%)、「5年生」(14.7%) となっている。



問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

「母親」(91.5%)、「父親」(8.2%)、「その他」(0.2%) となっている。



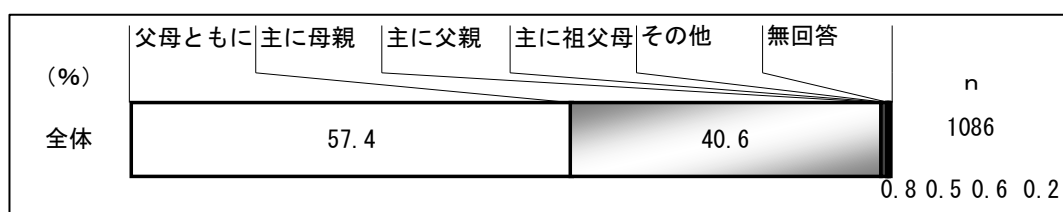
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

「配偶者がいる」(91.8%)、「配偶者がいない」(7.9%) となっている。



問5 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

「父母ともに」(57.4%)、「主に母親」(40.6%)、「主に父親」(0.8%)、「主に祖父母」(0.5%)、「その他」(0.6%) となっている。



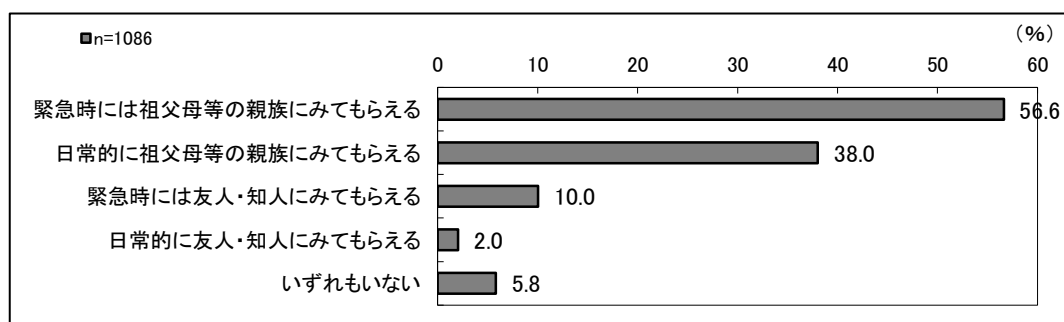
3. 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)



- 「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」が6割弱を占める。

「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」(56.6%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(38.0%)、「緊急時には友人・知人にみてもらえる」(10.0%)、「日常的に友人・知人にみてもらえる」(2.0%)となっている。なお、「いずれもない」は5.8%であった。

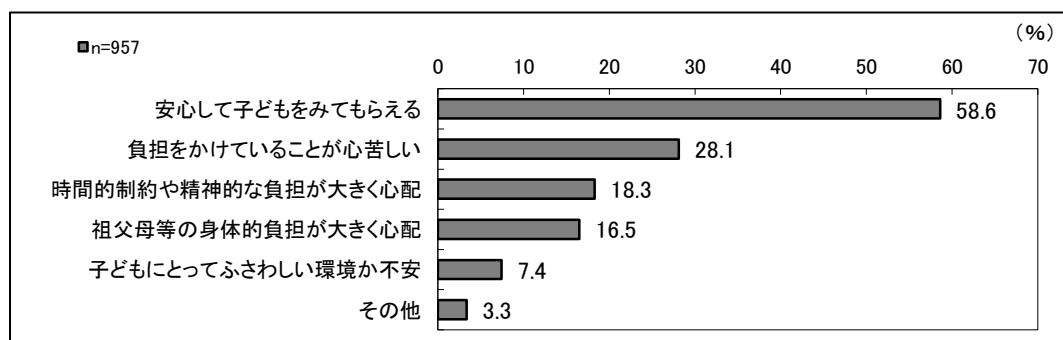


問6-1 問6で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)



- 「安心して子どもをみてもらえる」が6割弱を占める。

「安心して子どもをみてもらえる」(58.6%)、「負担をかけていることが心苦しい」(28.1%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」(18.3%)、「祖父母等の身体的負担が大きく心配」(16.5%)、「子どもにとってふさわしい環境か不安」(7.4%)となっている。

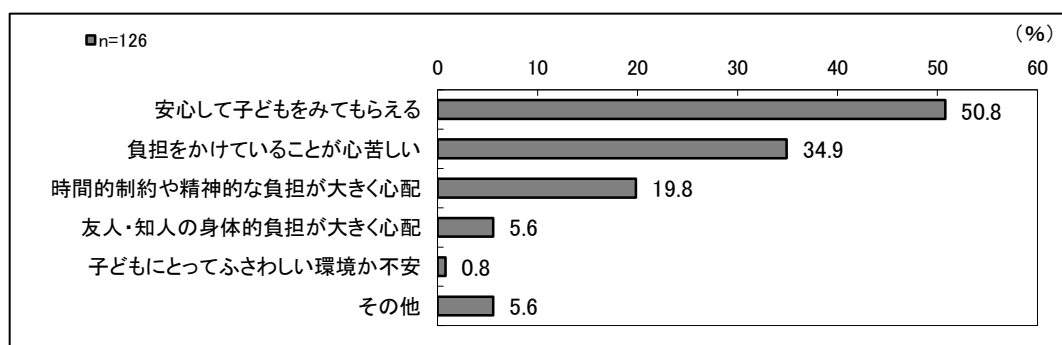


問6-2 問6で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(○はいくつでも)



- 「安心して子どもをみてもらえる」が約5割を占める。

「安心して子どもをみてもらえる」(50.8%)、「負担をかけていることが心苦しい」(34.9%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」(19.8%)、「友人・知人の身体的負担が大きく心配」(5.6%)、「子どもにとってふさわしい環境か不安」(0.8%)となっている。

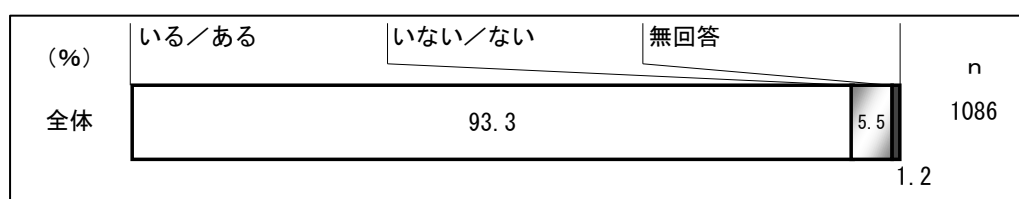


問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)



- 「いる／ある」が9割強を占める。

「いる／ある」(93.3%)、「いない／ない」(5.5%) となっている。

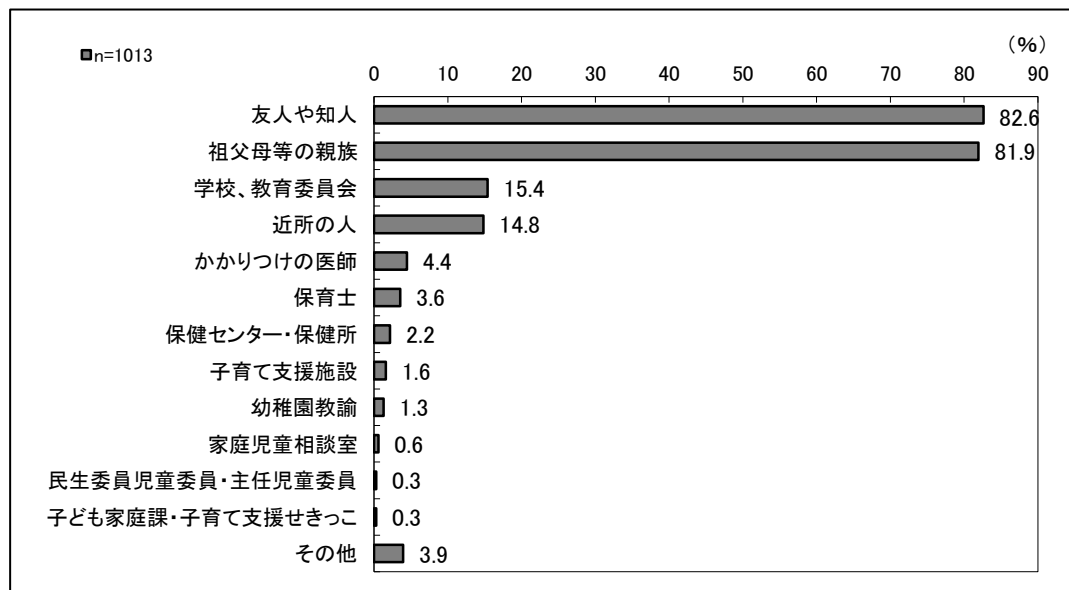


問7-1 問7で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）



- 「友人や知人」、「祖父母等の親族」が上位回答。

「友人や知人」（82.6%）、「祖父母等の親族」（81.9%）、「学校、教育委員会」（15.4%）、「近所の人」（14.8%）、「かかりつけの医師」（4.4%）、「保育士」（3.6%）、「保健センター・保健所」（2.2%）、「子育て支援施設」（1.6%）、「幼稚園教諭」（1.3%）、「家庭児童相談室」（0.6%）、「民生委員児童委員・主任児童委員」（0.3%）、「子ども家庭課・子育て支援せきっこ」（同率0.3%）となっている。



4. 就労状況について

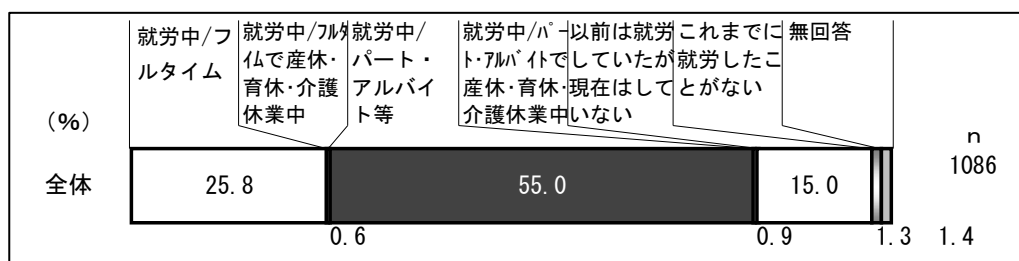
問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（１）母親、（２）父親それぞれについてお答えください。

（１）母親の就労状況



- 「就労中/パート・アルバイト等」が５割台半ばを占める。

「就労中/パート・アルバイト等」（55.0%）、「就労中/フルタイム」（25.8%）、「以前は就労していたが現在はしていない」（15.0%）、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」（0.9%）、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」（0.6%）、「これまでに就労したことがない」（1.3%）となっている。

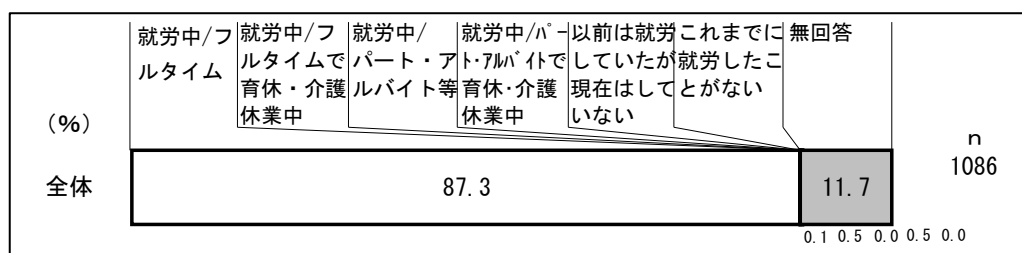


（２）父親の就労状況



- 「就労中/フルタイム」が９割弱を占める。

「就労中/フルタイム」（87.3%）、「就労中/パート・アルバイト等」・「以前は就労していたが現在はしていない」（同率0.5%）、「就労中/フルタイムで産休・介護休業中」（0.1%）となっている。



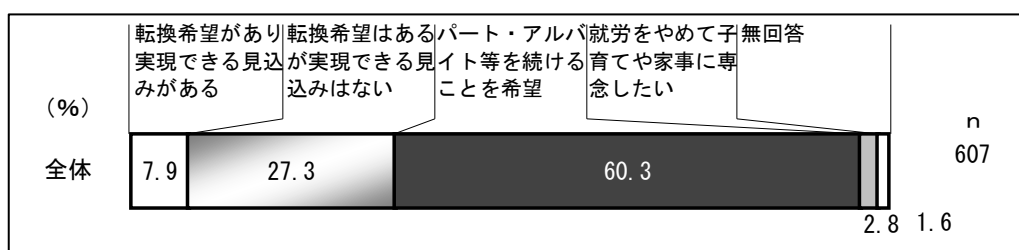
問8-1 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。(1) 母親、(2) 父親それぞれについてお答えください。

(1) 母親



- 「パート・アルバイト等続けることを希望」が約6割を占める。

「パート・アルバイト等続けることを希望」(60.3%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(27.3%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(7.9%)、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」(2.8%)となっている。



(2) 父親



- 「転換希望はあるが実現できる見込みはない」・「パート・アルバイト等続けることを希望」が1人。

「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(20.0%、1人)、「パート・アルバイト等続けることを希望」(20.0%、1人)となっている。

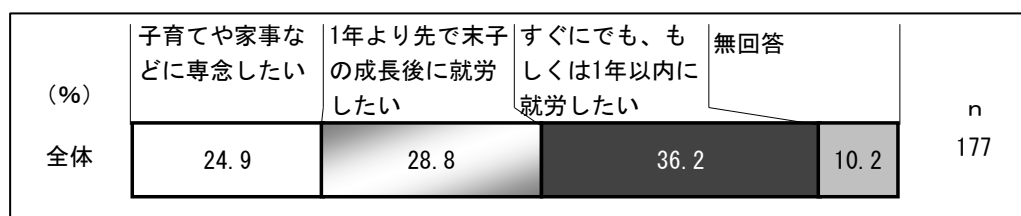
問8-2 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(1) 母親、(2) 父親それぞれについてお答えください。(○は1つずつ 該当する口内に数字で記入)

(1) 母親

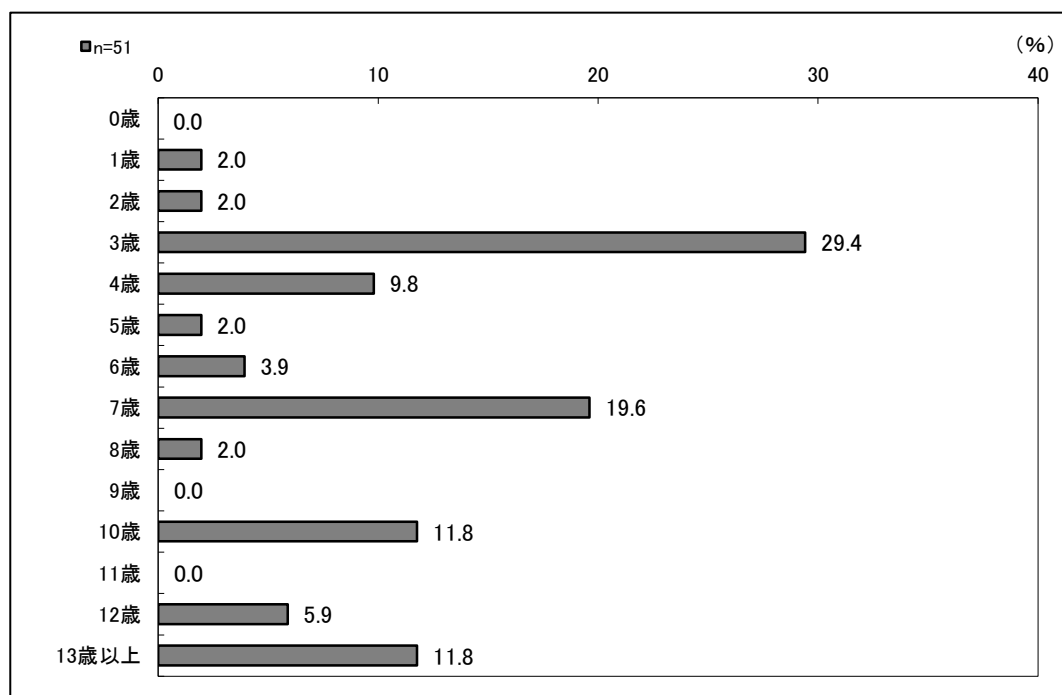


- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4割弱を占める。末子の年齢は「3歳」が約3割を占める。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(36.2%)、「1年より先で末子の成長後に就労したい」(28.8%)、「子育てや家事などに専念したい」(24.9%)となっている。



末子の年齢は「3歳」(29.4%)、「7歳」(19.6%)、「10歳」(11.8%)、「13歳以上」(11.8%)、「4歳」(9.8%)、「12歳」(5.9%)、「6歳」(3.9%)、「1歳」(2.0%)、「2歳」(2.0%)、「5歳」(2.0%)、「8歳」(2.0%) となっている。

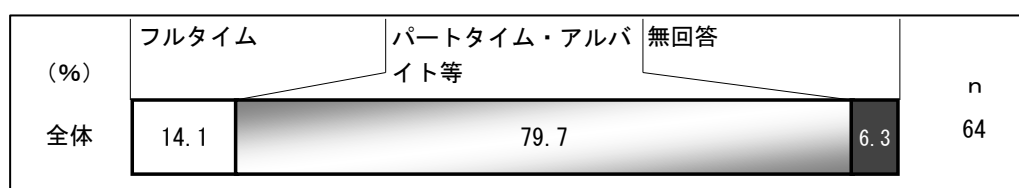


・就労希望の形態



- 「パートタイム・アルバイト等」が約8割を占める。

「パートタイム・アルバイト等」(79.7%)、「フルタイム」(14.1%) となっている。

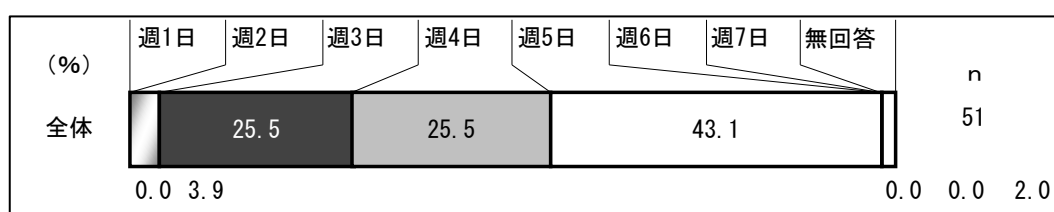


・就労希望日数



- 「週5日」が4割強を占める。

「週5日」(43.1%)、「週3日」(25.5%)、「週4日」(25.5%)、「週2日」(3.9%) となっている。

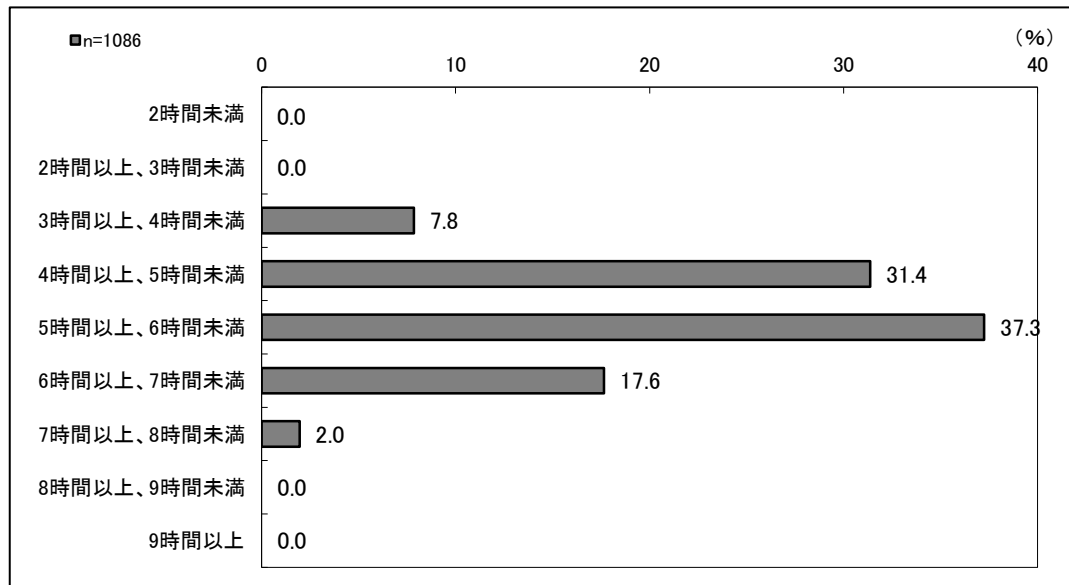


・就労希望時間



- 「5 時間以上、6 時間未満」が4 割弱を占める。

「5 時間以上、6 時間未満」(37.3%)、「4 時間以上、5 時間未満」(31.4%)、「6 時間以上、7 時間未満」(17.6%)、「3 時間以上、4 時間未満」(7.8%)、「7 時間以上、8 時間未満」(2.0%) となっている。



(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい」(20.0%、1 人)、「1 年より先で末子の成長後に就労したい」(20.0%、1 人)、「すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい」(20.0%、1 人) となっている。

・就労希望の形態

※回答なし

・就労希望日数

※回答なし

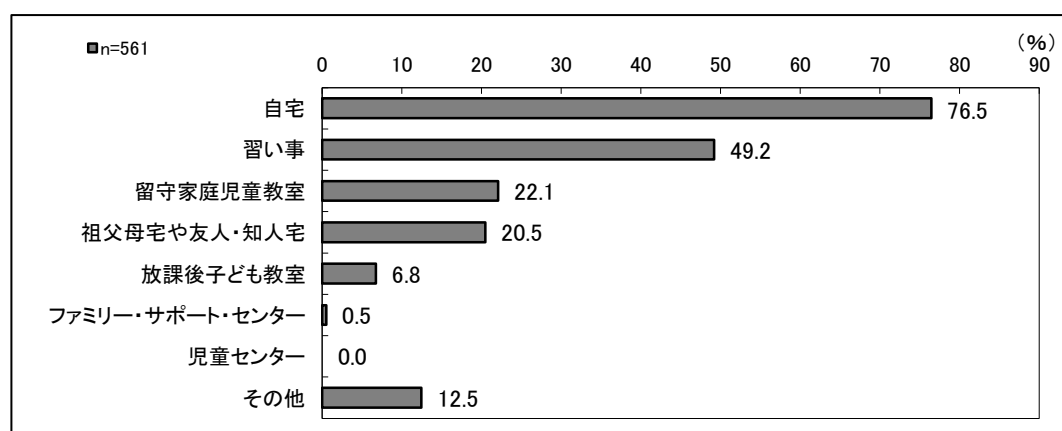
5. 放課後の過ごし方について

問9 小学1年生から3年生のお子さんについてうかがいます。あて名のおさんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。利用している場合は、利用日数もお答えください。



- 「自宅」が他を引き離し第1位。

「自宅」（76.5%）、「習い事」（49.2%）、「留守家庭児童教室」（22.1%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（20.5%）、「放課後子ども教室」（6.8%）、「ファミリー・サポート・センター」（0.5%）となっている。



【前回調査との比較】

「自宅」が60.6%で最も多かったが、ポイントは大きく低下している。一方、「習い事」が37.1%と10ポイント以上高くなっている。

日数については以下のとおりとなっている。

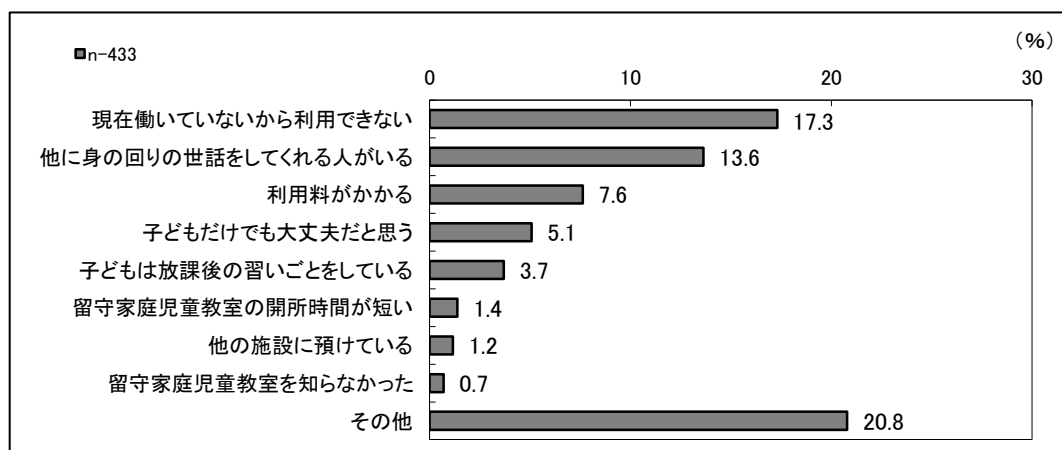
	全体 (人)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答
自宅	429	9.8	11.7	16.1	11.0	47.1	0.7	2.1	1.6
祖父母宅や友人・知人宅	115	38.3	28.7	13.9	4.3	13.0	0.0	0.0	1.7
習い事	276	35.1	42.0	14.1	6.9	1.8	0.0	0.0	0.0
児童センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後子ども教室	38	97.4	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留守家庭児童教室	124	1.6	0.0	8.1	27.4	62.9	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	70	31.4	30.0	17.1	8.6	11.4	0.0	0.0	1.4

問 10 問 9 で「6. 留守家庭児童教室」以外に○をつけた方にうかがいます。留守家庭児童教室を利用していない主な理由は何ですか。(○は1つ)



- 「現在働いていないから利用できない」が第1位。

「現在働いていないから利用できない」(17.3%)、「他に身の回りの世話をしてくれる人がいる」(13.6%)、「利用料がかかる」(7.6%)、「子どもだけでも大丈夫だと思う」(5.1%)、「子どもは放課後の習いごとをしている」(3.7%)、「留守家庭児童教室の開所時間が短い」(1.4%)、「他の施設に預けている」(1.2%)、「留守家庭児童教室を知らなかった」(0.7%)となっている。

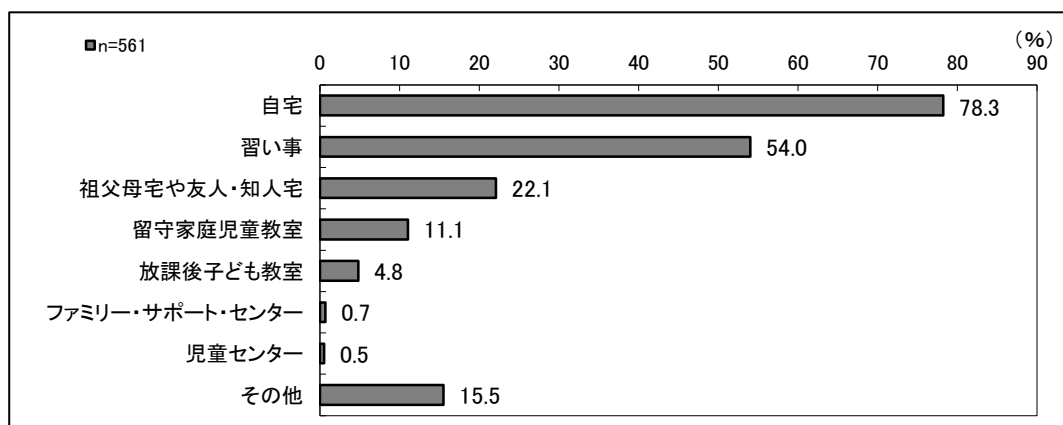


問 11 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。希望の日数もお答えください。(○はいくつでも 利用希望の日数を口内に数字で記入)



- 「自宅」が他を引き離して第1位。

「自宅」(78.3%)、「習い事」(54.0%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(22.1%)、「留守家庭児童教室」(11.1%)、「放課後子ども教室」(4.8%)、「ファミリー・サポート・センター」(0.7%)、「児童センター」(0.5%)となっている。



【前回調査との比較】

「自宅」が 57.1%で最も多く、「習い事」が 34.7%で続くが、それぞれ 20 ポイント程度高くなっている。

日数については以下のとおりとなっている。

(%)

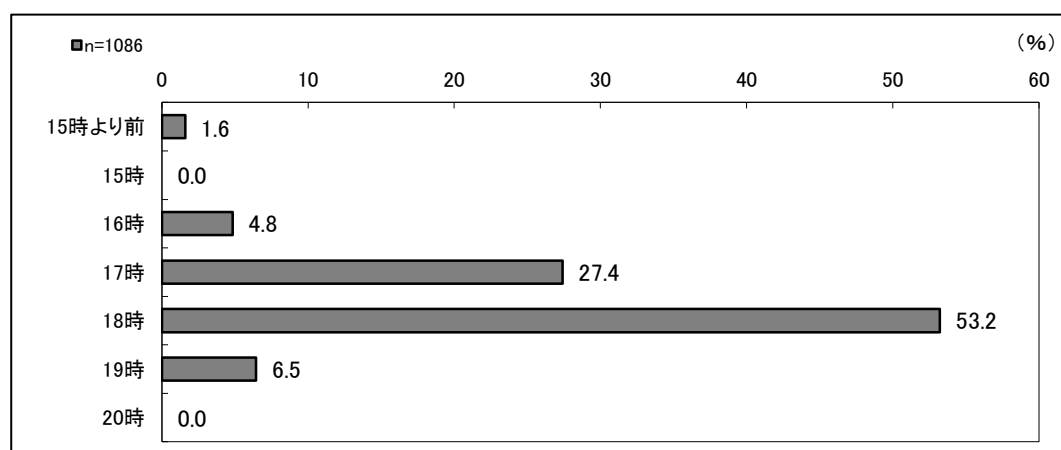
	全体 (人)	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無回答
自宅	439	9.6	12.8	18.9	10.3	42.8	0.7	1.4	3.6
祖父母宅や友人・知人宅	124	34.7	32.3	15.3	3.2	11.3	0.0	0.0	3.2
習い事	303	28.4	42.9	18.2	6.3	2.3	0.0	0.0	2.0
児童センター	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後子ども教室	27	51.9	18.5	11.1	3.7	11.1	0.0	0.0	3.7
留守家庭児童教室	62	0.0	6.5	11.3	9.7	69.4	0.0	0.0	3.2
ファミリー・サポート・センター	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	87	19.5	39.1	17.2	6.9	12.6	0.0	0.0	4.6

・留守家庭児童教室：終了時刻



- 「18 時」が 5 割強を占める。

時間については、「18 時」(53.2%)、「17 時」(27.4%)、「19 時」(6.5%)、「16 時」(4.8%)、「15 時より前」(1.6%)となっている。



問 12 放課後（平日の小学校終了後）に留守家庭児童教室の利用が、可能であれば利用したいですか。
（○は1つ 希望がある場合は口内に数字で記入）



- 「利用する必要はない」が6割弱を占める。

「6年生までは利用したい」（18.4%）、「低学年の間は利用したい」（11.5%）、「4年生までは利用したい」（8.5%）、「5年生までは利用したい」（1.4%）となっている。なお、「利用する必要はない」は56.9%であった。

(%)	低学年の間は利用したい	4年生までは利用したい	5年生までは利用したい	6年生までは利用したい	利用する必要はない	無回答	n
全体	11.5	8.5	18.4	1.4	56.9	3.3	1086



- 「週5日」が6割弱を占める。

日数については、「週5日」（56.9%）、「週3日」（12.3%）、「週4日」（8.1%）、「週2日」（7.2%）、「週1日」（0.9%）、「週6日」（0.7%）、「週7日」（0.2%）となっている。

(%)	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	n
全体	0.9	7.2	12.3	8.1	56.9	0.7	0.2	13.7	432

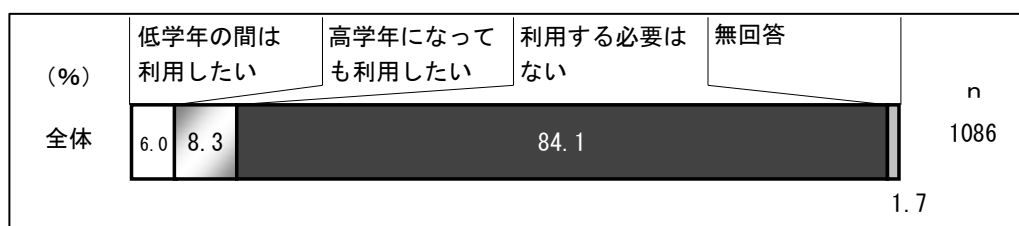
問 13 あて名のお子さんについて、現在利用している、していないに関わらず、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童教室の利用希望はありますか。(1)、(2) それぞれについてお答えください。
(○は1つずつ 利用したい時間帯を口内に数字で記入「(例)08時～18時」)

(1) 土曜日



- 「利用する必要はない」が8割台半ばを占める。

「高学年になっても利用したい」(8.3%)、「低学年の間は利用したい」(6.0%)、「利用する必要はない」(84.1%)となっている。

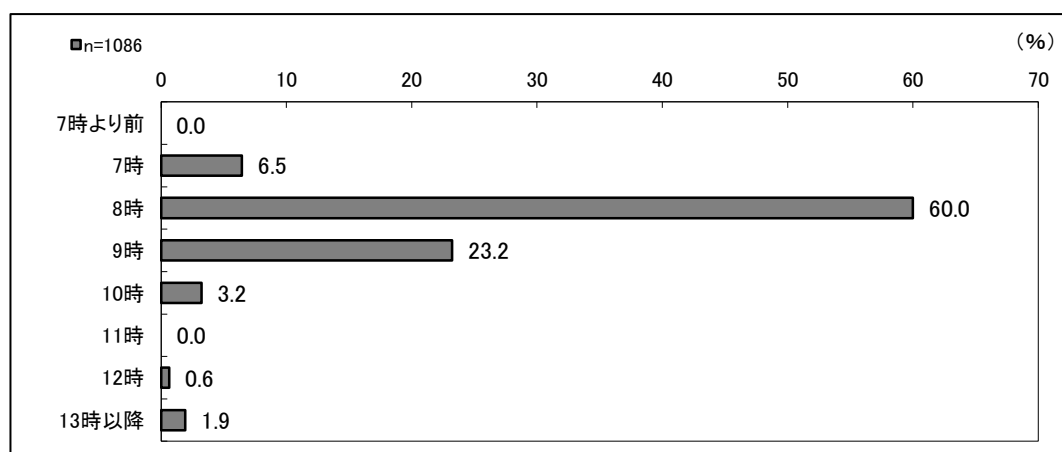


・ 開始時刻



- 「8時」が6割を占める。

「8時」(60.0%)、「9時」(23.2%)、「7時」(6.5%)、「10時」(3.2%)、「13時以降」(1.9%)、「12時」(0.6%)となっている。

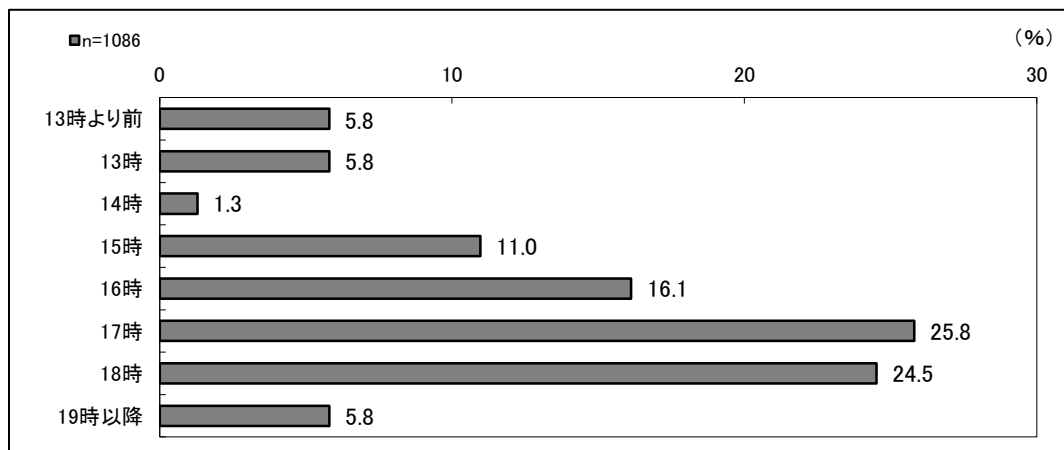


・ 終了時刻



- 「17 時」が2 割台半ばを占める。

「17 時」(25.8%)、「18 時」(24.5%)、「16 時」(16.1%)、「15 時」(11.0%)、「13 時より前」・「13 時」・「19 時以降」(同率 5.8%)、「14 時」(1.3%) となっている。

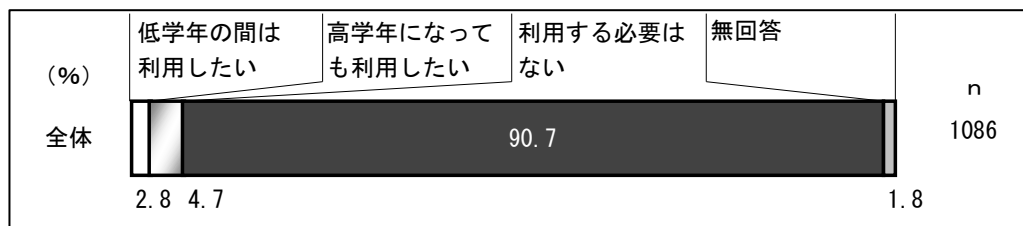


(2) 日曜・祝日



- 「利用する必要はない」が約9 割を占める。

「高学年になっても利用したい」(4.7%)、「低学年の間は利用したい」(2.8%)、「利用する必要はない」(90.7%) となっている。

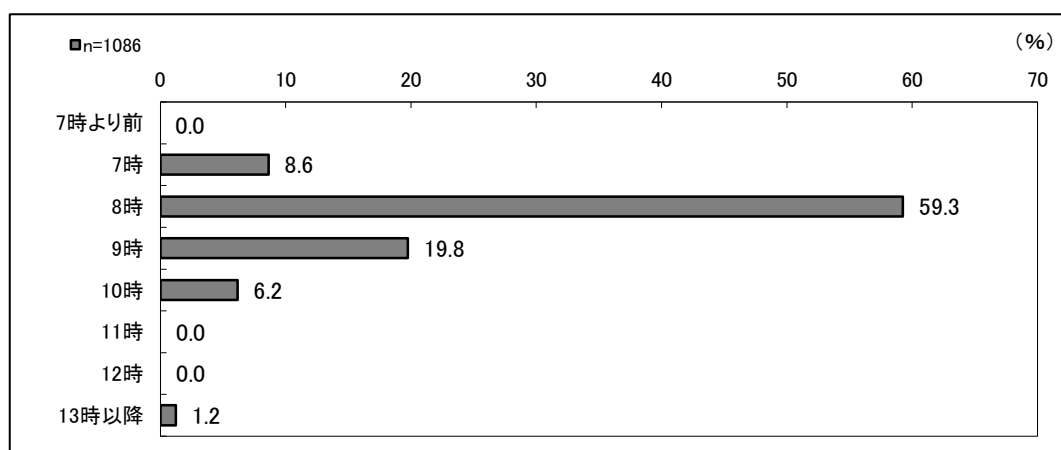


・ 開始時刻



- 「8 時」が約6割を占める。

「8 時」(59.3%)、「9 時」(19.8%)、「7 時」(8.6%)、「10 時」(6.2%)、「13 時以降」(1.2%)となっている。

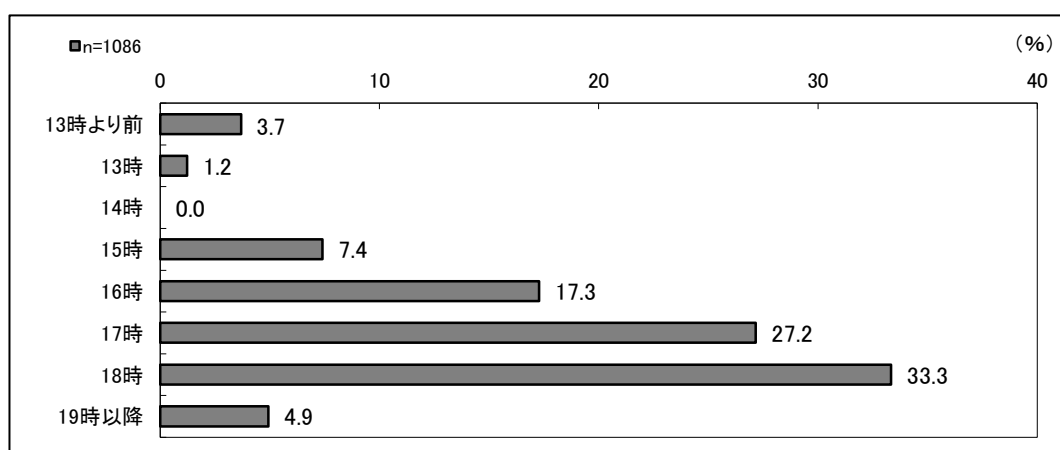


・ 終了時刻



- 「18 時」が3割強を占める。

「18 時」(33.3%)、「17 時」(27.2%)、「16 時」(17.3%)、「15 時」(7.4%)、「19 時以降」(4.9%)、「13 時より前」(3.7%)、「13 時」(1.2%) となっている。

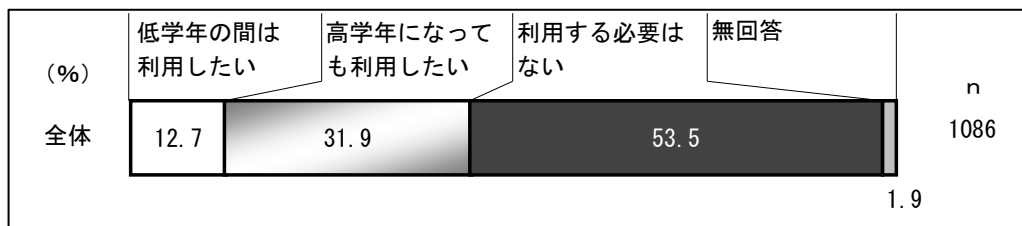


問 14 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童教室の利用希望はありますか。(○は1つ 利用したい時間帯についても口内に数字で記入
「(例)08時～18時」)



- 「利用する必要はない」が5割強を占める。

「高学年になっても利用したい」(31.9%)、「低学年の間は利用したい」(12.7%)、「利用する必要はない」(53.5%)となっている。



【前回調査との比較】

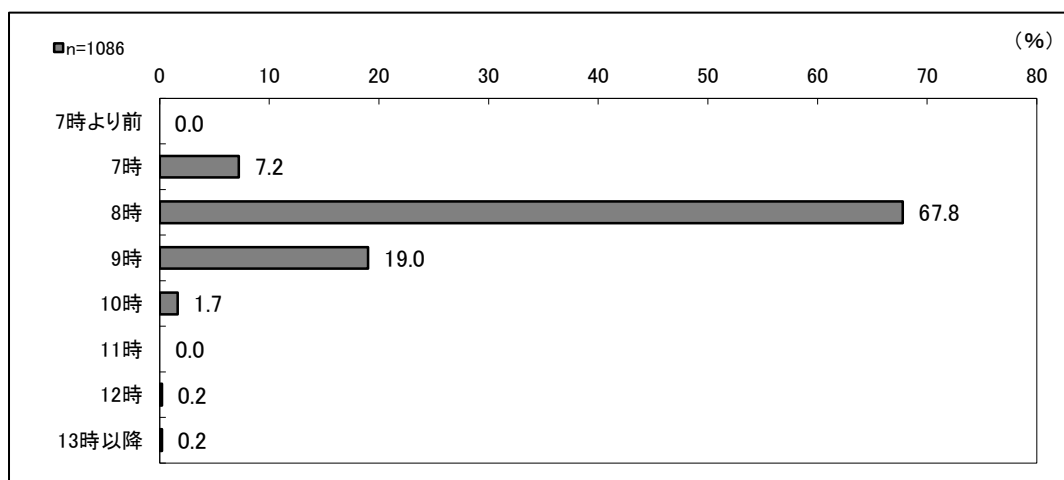
「高学年になっても利用したい」(31.0%)、「低学年の間は利用したい」(9.9%)、「利用する必要はない」(55.7%)となっており、今回と同様である。

・ 開始時刻



- 「8時」が7割強を占める。

「8時」(67.8%)、「9時」(19.0%)、「7時」(7.2%)、「10時」(1.7%)、「12時」・「13時以降」(同率0.2%)となっている。

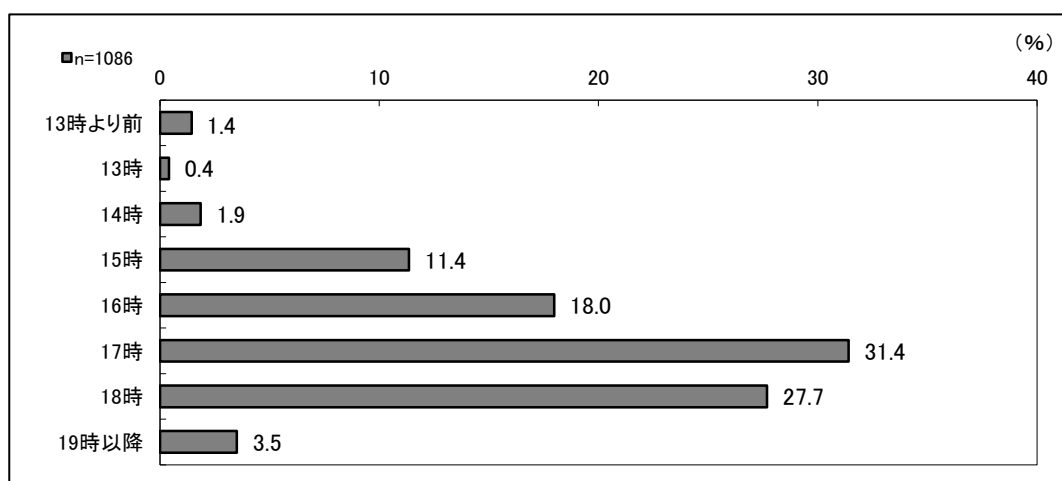


・ 終了時刻



- 「17時」が3割強を占める。

「17時」(31.4%)、「18時」(27.7%)、「16時」(18.0%)、「15時」(11.4%)、「19時以降」(3.5%)、「14時」(1.9%)、「13時より前」(1.4%)、「13時」(0.4%) となっている。



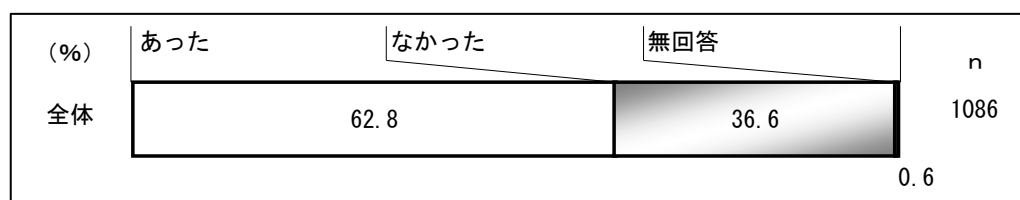
6. 病気の際の対応・不規則な一時預かり等について

問 15 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)



- 「あった」が6割強を占める。

「あった」(62.8%)、「なかった」(36.6%) となっている。



【前回調査との比較】

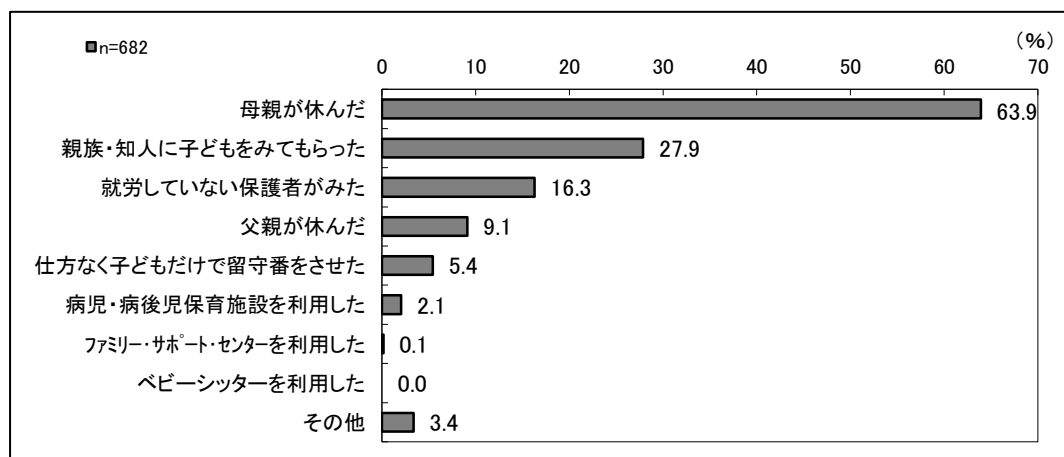
「あった」が59.9%、「なかった」が36.1%で、今回と同様である。

問 15-1 問 15 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなことですか。(○はいくつでも 日数を口内に数字で記入) 半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。



- 「母親が休んだ」が他を引き離して第1位。

「母親が休んだ」(63.9%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(27.9%)、「就労していない保護者がみた」(16.3%)、「父親が休んだ」(9.1%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(5.4%)、「病児・病後児保育施設を利用した」(2.1%)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」(0.1%)となっている。



【前回調査との比較】

「母親が休んだ」が 54.1%となっており、10 ポイント程度高くなっている。

日数については以下のとおりとなっている。

(%)

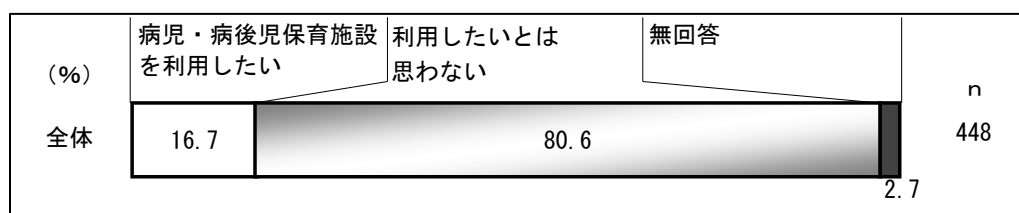
	全体 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日 以上	無回答
父親が休んだ	62	48.4	22.6	17.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	6.5
母親が休んだ	436	26.4	22.5	15.8	5.7	10.6	1.1	4.8	0.7	0.0	6.4	6.0
親族・知人に子どもを みてもらった	190	31.1	27.4	13.7	4.7	8.9	1.1	2.1	0.0	0.0	4.2	6.8
就労していない保護 者がみた	111	24.3	23.4	18.0	4.5	12.6	0.9	1.8	0.0	0.0	6.3	8.1
病児・病後児保育施設 を利用した	14	35.7	14.3	7.1	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	7.1
ベビーシッターを利用 した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを 利用した	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもだけ で留守番をさせた	37	54.1	18.9	13.5	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.1
その他	23	39.1	8.7	17.4	4.3	13.0	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	8.7

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思われましたか。(○は1つ 日数についても口内に数字で記入)

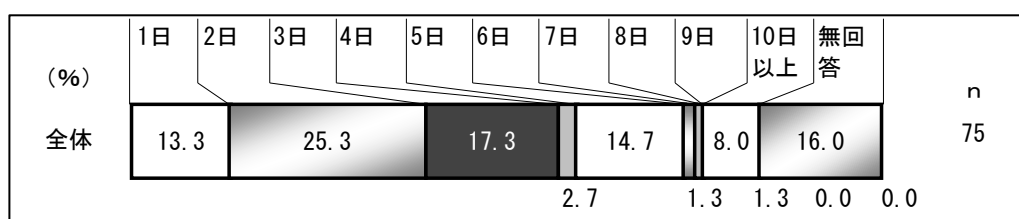


- 「利用したいとは思わない」が約8割を占める。

「利用したいとは思わない」(80.6%)、「病児・病後児保育施設を利用したい」(16.7%)となっている。



日数は、「2日」(25.3%)、「3日」(17.3%)、「5日」(14.7%)、「1日」(13.3%)、「10日以上」(8.0%)、「4日」(2.7%)、「6日」・「7日」(同率1.3%)となっている。

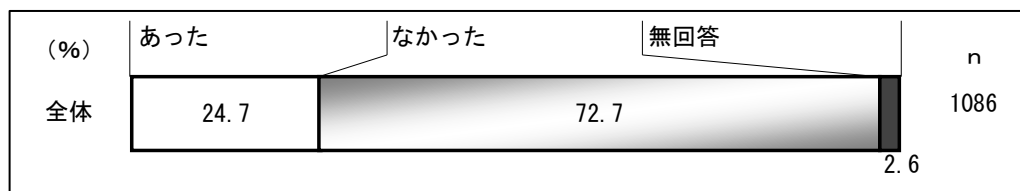


問 16 この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「一時的に」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見からなかった場合も含みます。）（○は１つ 日数についても数字で記入）

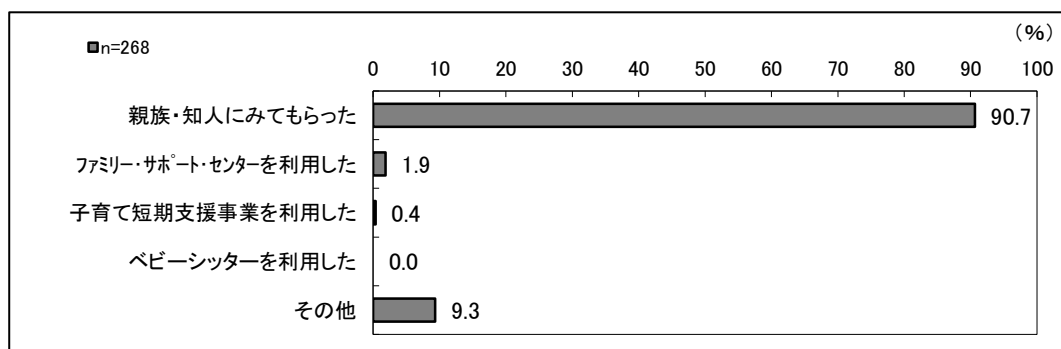


- 「なかった」が７割強を占める。対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が約９割を占める。

「なかった」(72.7%)、「あった」(24.7%) となっている。



１年間の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」(90.7%)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」(1.9%)、「子育て短期支援事業を利用した」(0.4%) となっている。



日数については以下のとおりとなっている。

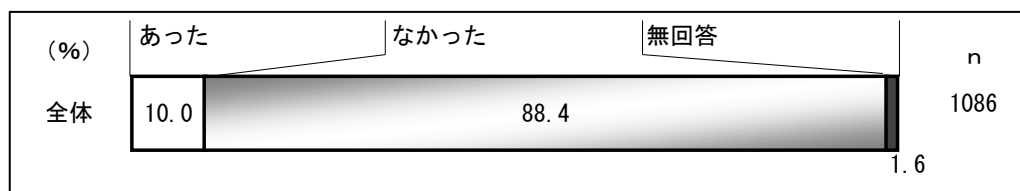
	全体 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無回答
親族・知人にみてもらった	243	16.5	17.3	13.2	4.1	16.9	2.1	4.5	0.8	0.0	20.6	4.1
ファミリー・サポート・センターを利用した	5	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
子育て短期支援事業を利用した	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	25	24.0	24.0	12.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	4.0

問 17 この１年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）（○は１つ 日数についても数字で記入）



- 「なかった」が９割弱を占める。対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が９割強を占める。

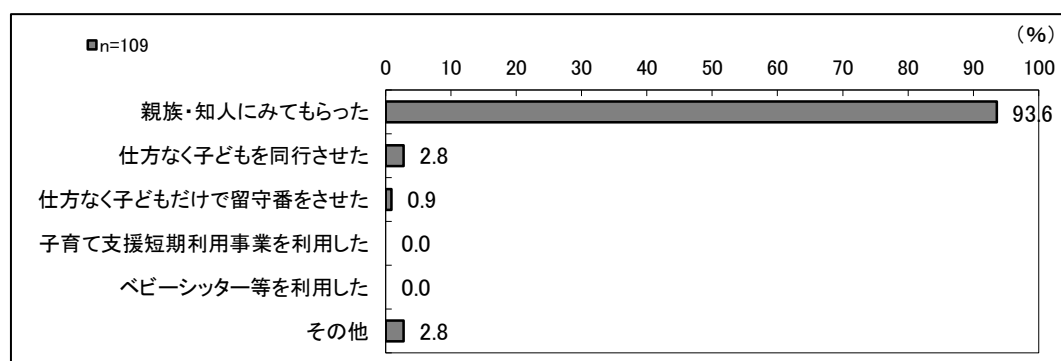
「なかった」(88.4%)、「あった」(10.0%) となっている。



【前回調査との比較】

「あった」が8.6%、「なかった」が87.1%で、今回と同様である。

１年間の対処方法については、「親族・知人にみてもらった」(93.6%)、「仕方なく子どもを同行させた」(2.8%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(0.9%) となっている。



泊数については以下のとおりとなっている。

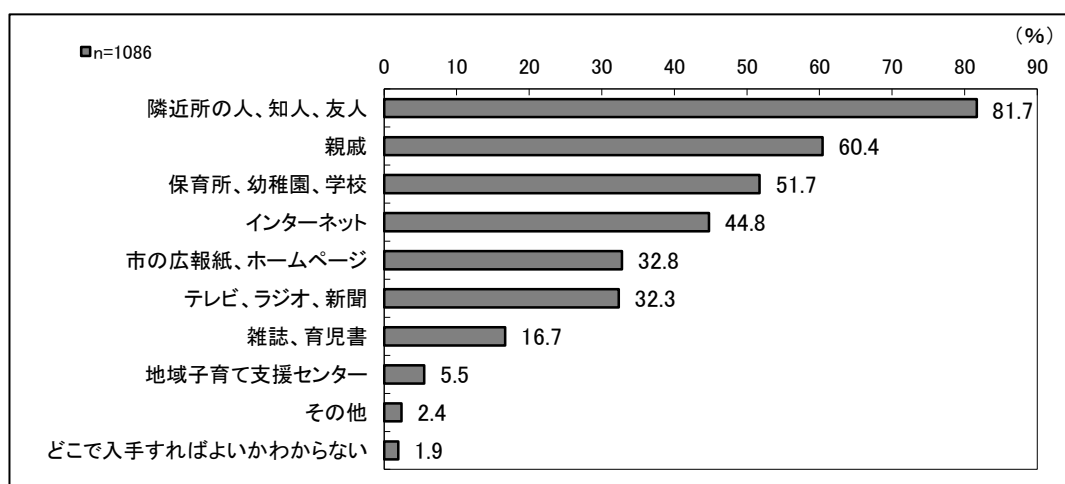
	全体 (人)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊 以上	無回答
親族・知人にみてもらった	102	27.5	20.6	18.6	4.9	6.9	1.0	2.0	0.0	2.0	11.8	4.9
子育て支援短期利用事業を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ベビーシッター等を利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
仕方なく子どもを同行させた	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

7. 子育て全般について

問 18 子育てに関する情報を誰から（どのように）入手していますか。（○はいくつでも）

- 「隣近所の人、知人、友人」が他を引き離して第1位。

「隣近所の人、知人、友人」（81.7%）、「親戚」（60.4%）、「保育所、幼稚園、学校」（51.7%）、「インターネット」（44.8%）、「市の広報紙、ホームページ」（32.8%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（32.3%）、「雑誌、育児書」（16.7%）、「地域子育て支援センター」（5.5%）となっている。なお、「どこで入手すればよいかわからない」は1.9%であった。



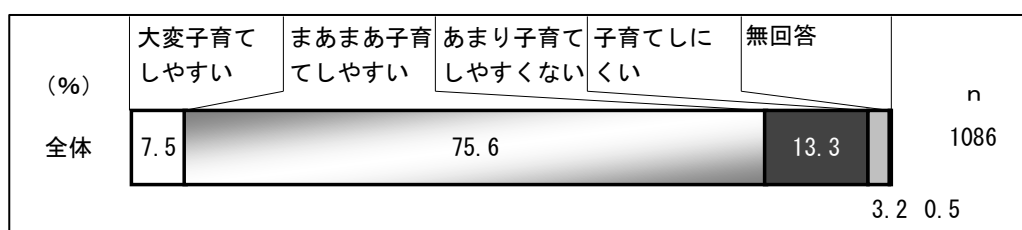
【前回調査との比較】

「隣近所の人、知人、友人」（77.1%）、「保育所、幼稚園、学校」（55.2%）、「親戚」（52.9%）となっており、順位に変動はあるものの、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 19 関市は子育てしやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

- “子育てしやすい”は8割強を占める。

「まあまあ子育てしやすい」（75.6%）、「あまり子育てしやすくない」（13.3%）、「大変子育てしやすい」（7.5%）、「子育てしにくい」（3.2%）となっている。



【前回調査との比較】

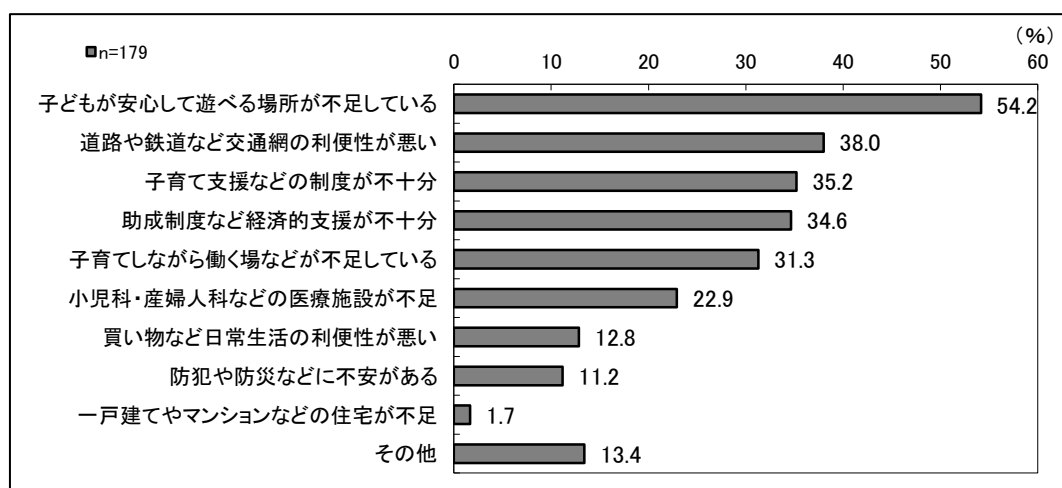
「大変子育てしやすい」は 5.4%、「まあまあ子育てしやすい」は 72.4%となっており、これらをあわせた“子育てしやすい”率は5ポイント程度高くなっている。

問 19-1 問 19 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 20 へお進みください。子育てしやすくない、子育てしにくいと感じる理由は何ですか。(○は3つまで)



- 「子どもが安心して遊べる場所が不足している」が他を引き離して第1位。

「子どもが安心して遊べる場所が不足している」(54.2%)、「道路や鉄道など交通網の利便性が悪い」(38.0%)、「子育て支援などの制度が不十分」(35.2%)、「助成制度など経済的支援が不十分」(34.6%)、「子育てしながら働く場などが不足している」(31.3%)、「小児科・産婦人科などの医療施設が不足」(22.9%)、「買い物など日常生活の利便性が悪い」(12.8%)、「防犯や防災などに不安がある」(11.2%)、「一戸建てやマンションなどの住宅が不足」(1.7%)となっている。



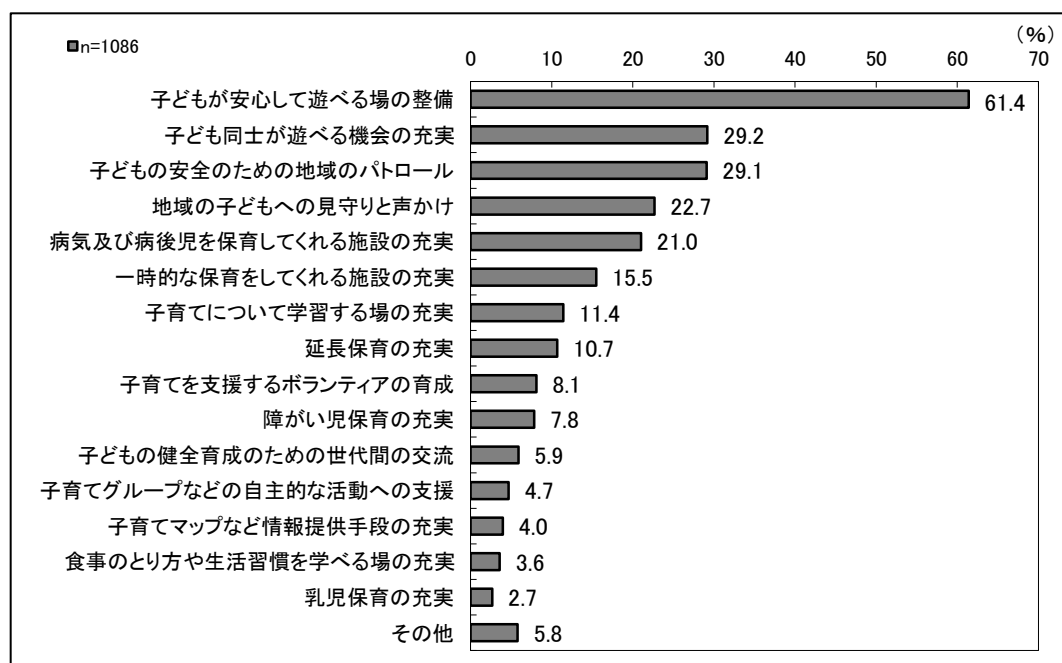
【前回調査との比較】

「子どもが安心して遊べる場所が不足している」(47.8%)、「子育てしながら働く場などが不足している」(45.4%)、「道路や鉄道など交通網の利便性が悪い」(37.6%)となっており、遊び場の不足を指摘する回答が増加している。

問 20 関市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。(〇は3つまで)

- 「子どもが安心して遊べる場の整備」が他を引き離して第1位。

「子どもが安心して遊べる場の整備」(61.4%)、「子ども同士が遊べる機会の充実」(29.2%)、「子どもの安全のための地域のパトロール」(29.1%)、「地域の子どもの見守りと声かけ」(22.7%)、「病気及び病後児を保育してくれる施設の充実」(21.0%)、「一時的な保育をしてくれる施設の充実」(15.5%)、「子育てについて学習する場の充実」(11.4%)、「延長保育の充実」(10.7%)、「子育てを支援するボランティアの育成」(8.1%)、「障がい児保育の充実」(7.8%)、「子どもの健全育成のための世代間の交流」(5.9%)、「子育てグループなどの自主的な活動への支援」(4.7%)、「子育てマップなど情報提供手段の充実」(4.0%)、「食事のとり方や生活習慣を学べる場の充実」(3.6%)、「乳児保育の充実」(2.7%) となっている。



【前回調査との比較】

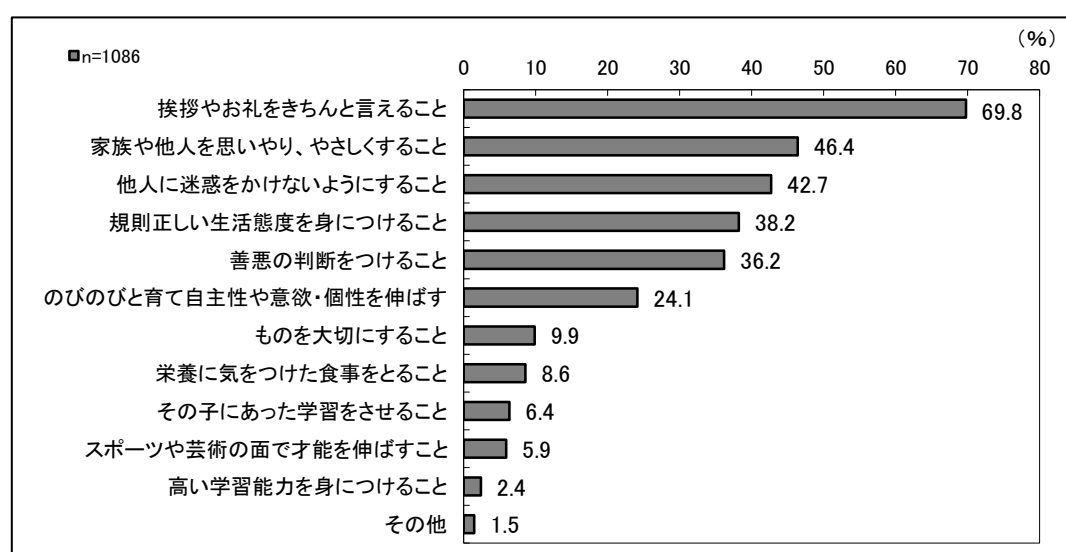
「子どもが安心して遊べる場の整備」(60.1%)、「子どもの安全のための地域のパトロール」(29.0%)、「子ども同士が遊べる機会の充実」(26.9%)、となっており、順位に変動はあるものの、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 21 子育てにおいて、大切にしていることは何ですか。(〇は3つまで)



- 「挨拶やお礼をきちんと言えること」が他を引き離して第1位。

「挨拶やお礼をきちんと言えること」(69.8%)、「家族や他人を思いやり、やさしくすること」(46.4%)、「他人に迷惑をかけないようにすること」(42.7%)、「規則正しい生活態度を身につけること」(38.2%)、「善悪の判断をつけること」(36.2%)、「のびのびと育て自主性や意欲・個性を伸ばす」(24.1%)、「ものを大切にすること」(9.9%)、「栄養に気をつけた食事をとること」(8.6%)、「その子にあった学習をさせること」(6.4%)、「スポーツや芸術の面で才能を伸ばすこと」(5.9%)、「高い学習能力を身につけること」(2.4%)となっている。



【前回調査との比較】

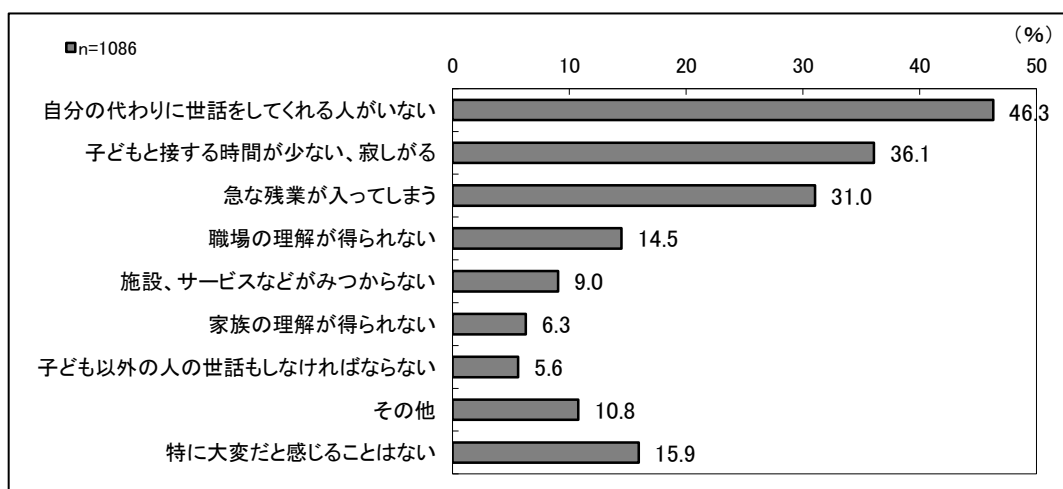
「挨拶やお礼をきちんと言えること」(69.4%)、「家族や他人を思いやり、やさしくすること」(47.3%)、「他人に迷惑をかけないようにすること」(44.2%)となっており、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 22 仕事と子育てを両立する上で大変だと考えられることは何ですか。(〇はいくつでも)



- 「自分の代わりに世話をしてくれる人がいない」が他を引き離して第1位。

「自分の代わりに世話をしてくれる人がいない」(46.3%)、「子どもと接する時間が少ない、寂しがる」(36.1%)、「急な残業が入ってしまう」(31.0%)、「職場の理解が得られない」(14.5%)、「施設、サービスなどがみつからない」(9.0%)、「家族の理解が得られない」(6.3%)、「子ども以外の人の世話もしなければならぬ」(5.6%)となっている。なお、「特に大変だと感じることはない」は15.9%であった。



【前回調査との比較】

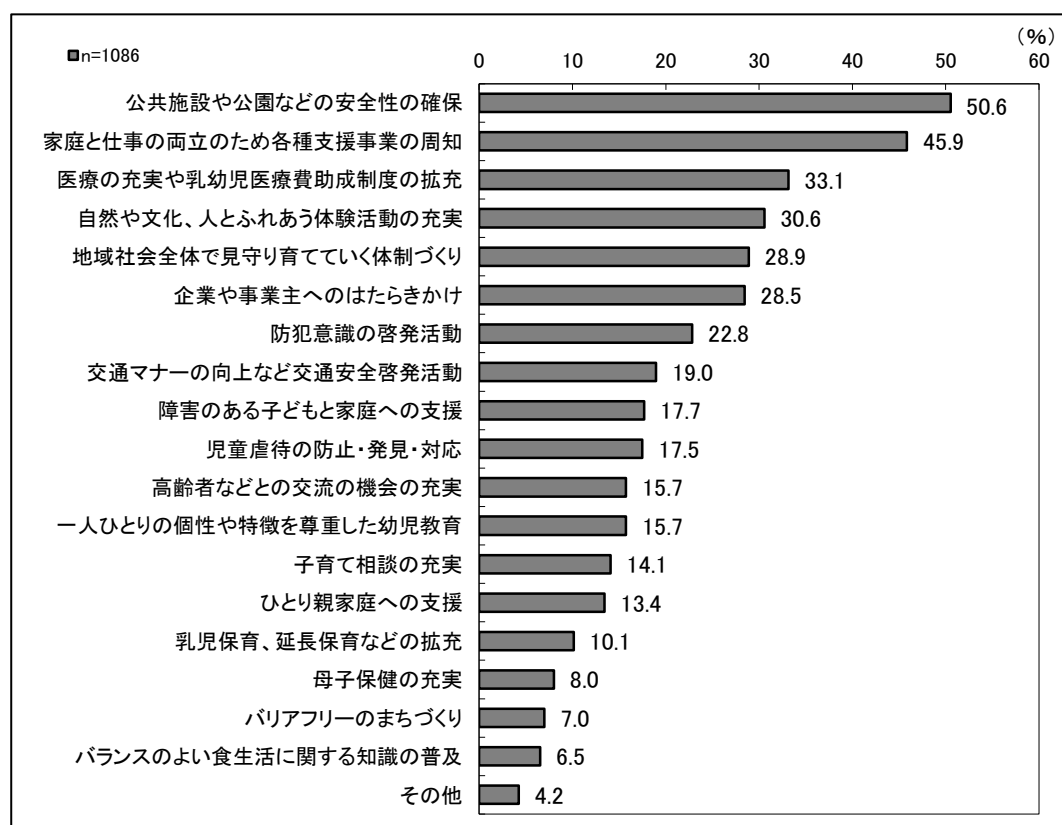
「自分の代わりに世話をしてくれる人がいない」(43.3%)、「子どもと接する時間が少ない、寂しがる」(37.1%)、「急な残業が入ってしまう」(35.0%)となっており、上位にあげられている項目は今回と同様である。

問 23 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取組として必要と思われること、充実を図ってほしいと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)



- 「公共施設や公園などの安全性の確保」が第1位、「家庭と仕事の両立のため各種支援事業の周知」が続く。

「公共施設や公園などの安全性の確保」(50.6%)、「家庭と仕事の両立のため各種支援事業の周知」(45.9%)、「医療の充実や乳幼児医療費助成制度の拡充」(33.1%)、「自然や文化、人とふれあう体験活動の充実」(30.6%)、「地域社会全体で見守り育てていく体制づくり」(28.9%)、「企業や事業主へのはたらきかけ」(28.5%)、「防犯意識の啓発活動」(22.8%)、「交通マナーの向上など交通安全啓発活動」(19.0%)、「障害のある子どもと家庭への支援」(17.7%)、「児童虐待の防止・発見・対応」(17.5%)、「高齢者などとの交流の機会の充実」(15.7%)、「一人ひとりの個性や特徴を尊重した幼児教育」(15.7%)、「子育て相談の充実」(14.1%)、「ひとり親家庭への支援」(13.4%)、「乳児保育、延長保育などの拡充」(10.1%)、「母子保健の充実」(8.0%)、「バランスのよい食生活に関する知識の普及」(6.5%)、「バリアフリーのまちづくり」(7.0%)となっている。



問 24 あなたのご家庭では、ご家族で過ごす（楽しい）時間にはどのようなことをされていますか。自由にご記入ください。

内容		件数
1 自然と触れる		16
例	登山、ハイキングなど。	
	山登り、キャンプ、スキー。	
	釣りやアウトドア、自然に触れ合う。	
	キャンプに行つてびのびと過ごす。	
2 運動する		78
例	バドミントンなど一緒に遊ぶ。	
	ドッジボールやキャッチボール。	
	スポーツを一緒にする。	
3 外出		250
例	公園やレジャー施設へ出かける。	
	お弁当を持って公園に出掛ける。	
	公園、温泉、買い物。	
	週末に家族でお出かけ。	
4 ゲーム・室内遊び		99
例	百人一首、トランプ、UNO、テレビ。	
	一緒にゲームやアクセサリーづくり。	
	カードゲームやボードゲームをみんなで行う。	
	テレビを観る、トランプをする、人生ゲームをする。	
5 食事		135
例	休みの日はたこ焼きパーティーをしたり、お鍋を囲んだり、みんなでご飯を楽しく食べるようにしている。	
	夕食を家族で食べて色々な会話をする。	
	ホットプレートで調理しながら食事。	
	庭でバーベキュー。	
6 団らん		107
例	ご飯、入浴時など会話をたくさんする。	
	食事のときなどみんながたくさん話す。	
	今日あった出来事についておしゃべりする。	
7 スキンシップ		13
例	子どもの精神の安定を図るため、風呂に入ったとき、寝るときには、子どもが望む形で遊んだり、ぎゅーと抱きしめたりしている。	
	ゴロゴロしている子どもの横でゴロゴロする。	
	一緒にお風呂に入る。	
8 料理		28
例	家族全員でお菓子をつくって食べる。	
	バーベキュー、鍋、たこ焼きづくり、お好み焼き、もんじゃづくりなど、家族で料理をしながら一緒に食べることをなるべく週末にしている。	
	親子で料理をつくって、楽しく食事をする時間を大切にしている。	

9	その他	31
例	ペットの犬と遊ぶ。	
	季節、年間行事を大切にする。	
	家族全員で過ごすことがない。	

問 25 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

内容		件数
1 学校について		
	大雨警報などによる急な休校や、迎えに行かなければならないことが大変。	7
	参観日が平日なので、仕事を休まなければならない。	5
	P T A活動などの負担が重い。	5
	土曜日も授業を行ってほしい。	4
	1 クラスの人数を減らしてほしい。	3
2 学童保育・留守家庭子ども教室に関すること		
	学童保育の対象年齢を引き上げてほしい。	10
	学童に入れる条件を緩和してほしい。	7
	長期休み中の預かり人数を増やしてほしい。	5
	5、6年生で親が家にいない子の居場所をつくってほしい。	5
3 授業外の教育について		
	無料で勉強をみてほしい。	5
	習い事に助成をしてほしい。	4
	学校の放課後に補習や、自主学習ができる場があるとよい。	2
4 病児・病後児保育に関すること		
	病児・病後児保育を、もっと利用しやすくしてほしい。	3
5 経済的支援について		
	児童手当を増やしてほしい。	6
	高校、大学まで支援してほしい。	4
	ひとり親家庭の手当を見直してほしい。	3
	学校給食を無料にしてほしい。	2
6 保健・医療に関すること		
	医療費の助成を高校生までにしてほしい。	6
7 遊び場に関すること		
	子ども達が安心して遊べる公園を増やしてほしい。	28
	児童館など、子どもだけで遊べる場を充実させてほしい。	10
8 いじめなどについて		
	いじめのない学校生活を送れるようにしてほしい。	4
9 仕事について		
	育児と仕事の両立がしにくい。	3

10 障がい児対策について		
	特別支援学級を充実してほしい。	5
	障害児が安心して暮らせるようにしてほしい。	4
	特別支援学級の先生の人材を充実してほしい。	3
	児童発達支援事業（親子教室）がとても良かった。	3
11 子育て支援サービスの利用について		
	子育て支援センターを利用しやすくしてほしい。	4
12 子育て支援全般について		
	通学路を整備し、登下校時の安全を確保してほしい。	7
	高校生になったときに、スクールバスがないと困る。	3
	子ども会や、地域の交流イベントを充実させてほしい。	2
13 その他		
	街灯を増やして、道路を明るくしてほしい。	5
	安全な歩道を整備してほしい。	3

1. 未就学児

未就學兒

関市子ども・子育てに関するアンケート調査
調査の趣旨とご協力をお願い

関市は、子どもにとってよい環境、子育てしやすいまちをめざします。
そのための調査にご協力ください。

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関する要望・ご意見などを把握するべく、「関市子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この理由によって、子育て期間中の保護者の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する利用の機会や希望を把握し、必要とされる支援を計画に盛り込んでいきたいと考えておりますので、ご協力を願います。

平成30年11月

尾関市長 尾関 健治

ご記入にあたってのお願い

ご回答いただいた内容は、関市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。

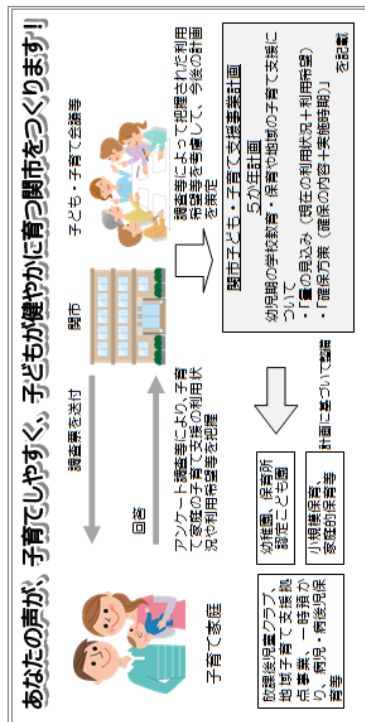
- 1 保険者の方が記入してください。
- 2 封筒のあて名のお子さんについてお答えください。
- 3 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- 4 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入ください。
- 5 時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：午後 1 時→13 時）で記入してください。
- 6 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいたく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや失印に従ってお進みください。
- 7 回答が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- 8 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともお書きにならないで結構です。

12月10日（月）までにご返送ください。（切手は不要です。）

・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 関市 健康福祉部 子ども家庭課 電話：23-7738 FAX：23-7748

メールアドレス: kodomokatei@city.seki.lg.jp



子ども・子育て支援を充実させます！！

子ども子育て制度の目的

- 一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現
- 一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることができる環境の整備
- 親と子どもの成長を支え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援

【用語の定義】この調査票では、①～⑤の用語について以下のように定義しています。

児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。(児童福祉法第39条)

※関市内には、公立10園、法人9園の計19園があります。

【公立】神戶保健看護國、田原保健看護國、豐野保健看護國、南ヶ丘保健國、志留保健看護國、洞戸保健看護國、板取めばえ保健國、むげがわ保健國、武藏やまゆり保健國、上之保健看護國

【法人】安桜保育園、倉知保育園、小金田保育園、松溪保育園、下有知保育園、
関保育園、瀬尻保育園、中瀬保育園、堂心保育園

学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。(学校教育法第22条)

※関市内には、法人幼稚園が7園あります。

幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設です。（就学前の子どもに關する教育施設）

幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設と9。(就学前の子こに關する教育、
保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)

国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの

【法人】中興キッズ保育園

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響するとと思われる環境は何だと感じますか。（Oはいくつでも）

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園	4. 保育所	5. 認定こども園
6. その他（ ）				

問8 日語、あて名のお子さんだみでももらえる親族・知人はいいますか。（Oはいくつでも）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてももらえる	⇒ 問8-1へ	
2. 緊急時もしくは用事の場には祖父母等の親族にみてももらえる		
3. 日常的に子どもをみてももらえる友人・知人がいる		⇒ 問8-2へ
4. 緊急時もしくは用事の場には子どもをみてももらえる友人・知人がいる		
5. いずれもない	⇒ 問9へ	

問8-1 問8で「1.」または「2.」にOをつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんだみでももらっている状況についてお答えください。（Oはいくつでも）

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問8-2 問8で「3.」または「4.」にOをつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんだみでももらっている状況についてお答えください。（Oはいくつでも）

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてももらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。（Oは1つ）

1. いる／ある	⇒ 問9-1へ	2. いない／ない	⇒ 問10へ
----------	---------	-----------	--------



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 現在、どちらの小学校区にお住まいですか。（Oは1つ）
わからない場合は、「20. わからない」にOをつけてください。（ ）内に町字名をご記入ください。

1. 安桜	2. 旭ヶ丘	3. 瀬沢	4. 倉知	5. 番岡	6. 金竜
7. 田原	8. 下有知	9. 雲野	10. 桜ヶ丘	11. 南ヶ丘	12. 洞戸
13. 板取	14. 武芸	15. 寺尾	16. 博愛	17. 武蔵西	18. 武蔵東
19. 上之保	20. わからない（町字名）				

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月日をご記入ください。（□内に数字で記入）
平成 □□年 □□月 生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。（Oは1つ）
※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。（Oは1つ）

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問5 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にやっているのはどなたですか。（Oは1つ）
※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他（ ）	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（Oはいくつでも）
※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 幼稚園	6. 保育所
7. その他（ ）					

問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。○はいくつでも

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（倉知保育園「ははこぐさ」、むげがわ子育て支援センター・児童センター（わかぐさ・むげがわ・安桜）
5. 保健センター・保健所
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員児童委員・主任児童委員
9. かかりつけの医師
10. 学校、教育委員会
11. 子ども家庭課・子育て支援センター
12. 家庭児童相談室
13. その他（〔例〕ベビージッター）

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族就労を含む）をうかがいます。
〔1〕母親、〔2〕父親それぞれについてお答えください

（1）母親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

（1）-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの就労日数、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字で記入ください。数字は一律に一字）。

1週当たり	日	1日当たり	時間



（2）父親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

（2）-1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（口内に数字で記入ください。数字は一律に一字）。

1週当たり	日	1日当たり	時間

問10-1 問10の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。〔1〕母親、〔2〕父親それぞれについてお答えください

（1）母親（当てはまる番号1つに○をつけてください）

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親（当てはまる番号1つに○をつけてください）

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい



問 10-2 問 10 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
就労したいという希望はありますか。(1) 母親、(2) 父親それぞれについてお答えください。(○は1つずつ 該当する□内に数字で記入)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい

3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望する就労形態

① フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
② パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)
→1 週当たり 日 1 日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)

2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい

3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望する就労形態

① フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
② パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)
→1 週当たり 日 1 日当たり 時間

あて名のお子さんの平日の定期的な幼稚園・保育所等の利用状況についてうかがいます。

※ ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 11-1 に示した事業が含まれます。

問 11 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(○は1つ)

1. 利用している → 問 11-1~3へ 2. 利用していない → 問 12へ



問 11-1~問 11-3は、問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 あて名のお子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設やサービスをお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)

2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)

3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)

4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね 6~19 人のもの)

6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)

7. 勤務先の保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)

8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育 (ベビーマッサージ・センターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)

11. ファミリー・サポート・センター (会員制による子どもの一時預かりを中心とした相互援助活動)

12. その他 ()

問 11-2 平日に定期的に利用している施設やサービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを□内に数字で記入 (例 08 時~18 時))

(1) 現在

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時~ 時)

(2) 希望

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時~ 時)

問 11-3 教育・保育にかかると負担が無償 (または上限ありの補助) となった場合、現在利用しているものから利用変更したいと思うものはありますか。変更したい、新たに利用したい施設やサービスをお答えください。(○はいくつでも)

※バス代などの通園送迎費や給食費、行事参加費用等は原則として無償化の対象外。

1. 幼稚園

2. 幼稚園の預かり保育

3. 認可保育所

4. 認定こども園

5. 小規模な保育施設

6. 家庭的保育

7. 勤務先の保育施設

8. 自治体の認証・認定保育施設

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育

11. ファミリー・サポート・センター

12. その他 ()

問 12 すべての方にかかいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんが平日に、「定期的に」利用したいと考える幼稚園・保育所の施設やサービスをお答えください。(Oは1つでも)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に合わせた保育料が設定されています。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育
3. 認可保育所
4. 認定こども園
5. 小規模な保育施設
6. 家庭的保育
7. 勤務先の保育施設
8. 自治体の認証・認定保育施設
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育
11. ファミリー・サポート・センター
12. その他 ()

問 12-1 問 12 で「1. 幼稚園 (運営の就園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に O をつけ、かつ 3~12 にも O をつけた方にかかれます。

特に幼稚園 (幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む) の利用を強く希望しますか。(Oは1つ)

1. はい
2. いいえ



あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

※ 「地域子育て支援センター事業」とは、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を分けたりする場で、園市には告知保育園内の「ははこぐさ」と、むげがわ保育園内に「むげがわ子育て支援センター」があります。

問 13 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援センター事業を利用していますか。(Oは1つでも) また、おおよその利用回数 (頻度) を口内に数字で記入

1. 地域子育て支援センター事業 (親子が集まって過ごしたり、相談ができる場)
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 か月当たり ☐ 回程度
2. その他園市で実施している類似の事業 (子育てサロン (旧ヶ丘、武蔵、洞戸))
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 か月当たり ☐ 回程度
3. 利用していない

問 14 問 13 のような地域子育て支援センター事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。(Oは1つ また、おおよその利用回数 (頻度) を口内に数字で記入)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり ☐ 回 もしくは 1 か月当たり ☐ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
1 週当たり 更に ☐ 回 もしくは 1 か月当たり 更に ☐ 回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない



問 15 下記の事業で利用しているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑩の事業ごとに、A～CのそれぞれについてOは1つ)
※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい	
	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
①乳幼児相談、電話相談、家庭訪問（保健センター）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
②乳幼児期家庭訪問（生涯学習課）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
③初めての子育て教室（保健センター）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
④おはなし会（図書館）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑤ブックスタート（図書館・保健センター）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑥保育園の園庭開放（土曜、日曜、祝日など）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑦子育てサークル：わかくさプラザや各地区ふれあいセンターなどを活動拠点とした自主的なサークル	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑧地域子育て支援センター（香取保育園内「はこぐさ」・むげがわ保育園内）：身近な地域における姉妹や隣同士の交流の場	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑨児童センター（わかくさ・むげがわ・安佐）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑩子育てサロン（畑ヶ丘・武蔵・瀬戸）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑪せきこひろば：ふれあいセンターの児童室で開いている未就園児とその親が交流し集える場（田原・香取）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑫ファミリー・サポート・センター（お島利）による子ども一時預かりを中心とした相互援助活動	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑬子育て支援スタッフ派遣事業（家庭内に育児や家事に精通した経験豊富なスタッフを派遣して、子育てを支援します。）	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑭育児・前後関係事業（病気の時や夜間、お昼寝などで赤ちゃんを保育できないときに、託児ルーム「あゆみ」で一時の預かりをします。）：わかくさ・プラザ稲台福祉会館1階	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑮託児サービス（保護者の仕事の都合や冠婚葬祭などでお子さんを保育できないときに、託児ルーム「あゆみ」で一時の預かりをします。）：わかくさ・プラザ稲台福祉会館1階	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ
⑯家庭児童相談室（子育て総合相談窓口）：保健センター	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ	1はい	2いいえ



あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園・保育所等の利用希望についてうかがいます。

問 16 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育所等の利用を希望しますか。(1) (2) それぞれについてお答えください。(Oは1つずつ 希望がある場合は、利用したい時間帯についてOに数字で記入 「例」 08時～18時)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※ここでは、休日などの定期的な利用についてお答えください。(一時的な利用については別の箇所でお答えしているため、ここには含みません。) また、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日	(2) 日曜日・祝日
1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯 ☐ 〇時から ☐ 〇時まで	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい 利用したい時間帯 ☐ 〇時から ☐ 〇時まで

問 17 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。
あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇 期間中の幼稚園・保育所等の利用を希望しますか。(Oは1つ 希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入 「例」 08時～18時)

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に2、3日利用したい 利用したい時間帯 ☐ 〇時から ☐ 〇時まで

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の幼稚園・保育所等を利用する方のみ)

問 18 平日、定期的に幼稚園・保育所等を利用していると考えた保護者の方(問11で「1. 利用している」にOをつけた方)にうかがいます。該当しない方は、問19へお進みください。
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育所等が利用できなかったことはありますか。(Oは1つ)

1. あった ⇒ 問18-1へ 2. なかった ⇒ 問19へ



問 18-1 問 18 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんが病气やけがで普段利用している幼稚園・保育所等が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法はどのようなことですか。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。(○はいくつでも 日数を口内に数字で記入)

1年間の対応方法	日数
1. 父親が休んだ	□□日
2. 母親が休んだ	□□日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日
5. 病児・病後児保育施設を利用した	□□日
6. ベビーシッターを利用した	□□日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日
9. その他 ()	□□日

問 18-1 で「1.」、「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 18-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思われましたか。(○はいくつでも 日数について口内に数字で記入)

※病児・病後児保育施設の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい → □□日 ⇒ 問 19へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 18-3へ

問 18-3 問 18-2 で「2. 利用したい」と思わないに○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病児・病後児を他人に育ててもらうのは不安

2. 地域の事業の質に不安がある

3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよいくない

4. 利用料がかかると高い

5. 利用方法がわからない

6. 親が仕事を休んで対応する

4. その他 ()



お子さんの保育所・幼稚園等の不定期な利用や、宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 19 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○はいくつでも 1年間の利用日数について口内に数字で記入)

利用している事業	日数 (年間)
1. 一時的保育事業 (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□□日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長する事業のうち 不定期に利用する場合のみ)	□□日
3. ファミリー・サポート・センター (会員制による子どもの一時預かりを中心とした相互援助活動)	□□日
4. 子育て支援短期事業 (ショートステイ) (児童養護施設等で、子どもを一時的に保育する事業)	□□日
5. ベビーシッター	□□日
6. その他 ()	□□日
7. 利用していない	

問 20 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があるかと思いませんか。(○はいくつでも 日数について口内に数字で記入) ※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい

計 □□日

(1) 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、リフレッシュ目的

□□日

(2) 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通院等

□□日

(3) 不定期の就労

□□日

(4) その他 ()

□□日

2. 利用する必要はない



問 21 この1年間に、保護者の相手（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。(Qは1つ 日数についてでも口内に記入)

	1年間の対応方法	日数
1. あった	(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	☐ ☐ 泊
	(2) 子育て支援短期利用事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	☐ ☐ 泊
	(3) ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	☐ ☐ 泊
	(4) 仕方なく子どもを同行させた	☐ ☐ 泊
	(5) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ ☐ 泊
	(6) その他（ ）	☐ ☐ 泊
2. なかった		

問 21-1 問 21 で「1. あった(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」にOをつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(Qは1つ)

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------



あて名のお子さんから5歳以上である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

※⇒ 5歳未満の方は、問 28へ

問 22 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと想いますか。(Oはいくつでも 週の利用日数及び「留守家庭児童教室」の場合には利用希望時間を口内に記入（例 18 時）)

※ 留守家庭児童教室：地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労先により児童家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※ 放課後子ども教室（学びクラブ）：地域の方々の協力を得て、週1回程度放課後に小学校で学習や読書などをとする取組です。保護者の就労の有無に関わらず、小学生が利用できます。（開設していない校区もあります。）

※ ファミリー・サポート・センター：会員制による子どもの一時預かりを中心とした相互援助活動です。

1. 自宅	週 ☐ 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 ☐ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 ☐ 日くらい
4. 児童センター（わかぐさ・むげがわ・安世）	週 ☐ 日くらい
5. 放課後子ども教室（学びクラブ）	週 ☐ 日くらい
6. 留守家庭児童教室	週 ☐ 日くらい →下校時から ☐ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 ☐ 日くらい
8. その他（ふれあいセンター、公園など）	週 ☐ 日くらい



1. 自宅	☐ 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	☐ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学語塾など）	☐ 日くらい
4. 児童センター（わかくさ・むさがわ・安桜）	☐ 日くらい
5. 放課後子ども教室（学びクラブ）	☐ 日くらい
6. 留守家庭児童教室	☐ 日くらい → 下校時から ☐ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	☐ 日くらい
8. その他（ふれあいセンター、公園など）	☐ 日くらい

(1) 土曜日

- 利用したい時間帯
- ☐☐時から☐☐時まで
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない

利用したい時間帯

→ □□時から□□時まで

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい

2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい

3. 利用する必要はない

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない
- 利用したい時間帯 → □□時から□□時まで

すべての方に、育児休業など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 26 あて名のお子さんが生まれた時、父のいずちもしくは双方が有体外業を取得しましたが、
(○は1つずつ) また、取得していない方はその理由をお答えください。(それぞれ10点以下で
ち)

(1) 母親 (いずれかにO)	(2) 父親 (いずれかにO)
1. 働いていなかった ⇒問 27へ 2. 取得した (取得中である) ⇒問 26-1へ 3. 取得していない →	1. 働いていなかった ⇒問 27へ 2. 取得した (取得中である) ⇒問 26-1へ 3. 取得していない →
取得していない理由 (Oはいくつでも) 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に昇格などが遅れそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所 (園) などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できなかった 15. その他()	取得していない理由 (Oはいくつでも) 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. 仕事に昇格などが遅れそうだった 4. 昇給・昇格などが遅れそうだった 5. 収入減となり、経済的に苦しくなる 6. 保育所 (園) などに預けることができた 7. 配偶者が育児休業制度を利用した 8. 配偶者が無職、祖父父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 9. 子育てや家事に専念するため退職した 10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) 11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 12. 育児休業を取得できることを知らなかった 13. その他()

問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
問 26-1 問 26 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○は1つずつ）

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問 26-2へ
2. 現在も育児休業中である] ⇒問 27へ
3. 育児休業中に転職した]

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問 26-2へ
2. 現在も育児休業中である] ⇒問 27へ
3. 育児休業中に転職した]

問 26-2 問 26-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つずつ）

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃に復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

すべての方に、子育て全般についてうかがいます。

問 27 子育てに関する情報を誰から（どのよう）入手していますか。（○はいくつでも）

1. 親戚（親、兄弟・姉妹など）
2. 隣近所の人、知人、友人
3. 保育所、幼稚園、学校
4. 地域子育て支援センター
5. 市の広報紙、ホームページ
6. テレビ、ラジオ、新聞
7. インターネット
8. 雑誌、育児書
9. その他（
10. どこで入手すればよいかわからない

問 28 園市は子育てしやすいと思いますか。（○は1つ）

1. 大変子育てしやすい] ⇒問 29へ
2. まあまあ子育てしやすい]
3. あまり子育てしやすい] ⇒問 28-1へ
4. 子育てにくい

問 28-1 問 28 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。子育てしやすい、子育てにくいと感じる理由は何ですか。（○は3つまで）

1. 子育てしながら働く場などが不足しているから
2. 助成制度など経済的支援が不十分だから
3. 子育て支援などの制度が不十分だから
4. 防犯や防災などに不安があるから
5. 道路や鉄道など交通網の利便性が悪いから
6. 一戸建てやマンションなどの住宅が不足しているから
7. 買い物など日常生活の利便性が悪いから
8. 小児科・産婦人科などの医療施設が不足しているから
9. 子どもが安心して遊ぶことのできる場所が不足しているから
10. その他（

問 29 園市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。（○は3つまで）

1. 子育てグループなどの自主的な活動への支援
2. 子育てについて学習する場の充実
3. 乳幼児期に必要な食事のとり方や年齢に応じた生活習慣を学べる場の充実
4. 子育てを支援するボランティアの育成
5. 病後及び病後回復期の子ども（病後児）を医療機関と連携して保育してくれる施設の充実
6. 子育てをしている親がリフレッシュするために一時的な保育をしてくれる施設の充実
7. 乳児保育の充実
8. 延長保育の充実
9. 障がい児保育の充実
10. 地域の子どもの見守りと声かけ
11. 子どもの安全のための地域のパトロール
12. 子ども同士が遊べる機会の充実
13. 子どもが安心して遊べる場の整備
14. 子どもの健全育成のための世代間の交流
15. 子育てマップなど情報提供手段の充実
16. その他（



2. 小学生

小学生

関市子ども・子育てに関するアンケート調査
調査の趣旨とご協力をお願い

関市は、子どもにとってよい環境、子育てしやすいまちをめざします。
そのための調査にご協力ください。

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、平成31年度に第2期の「関市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見などを把握するべく、「関市子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この調査によって、子育てに関わる保護者の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する利用状況や希望を把握し、必要とされる支援を計画に盛り込んでいきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

平成30年11月

尾関市長 尾関 健治

二記入にあたってのお願い

ご回答いただいた内容は、関市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。

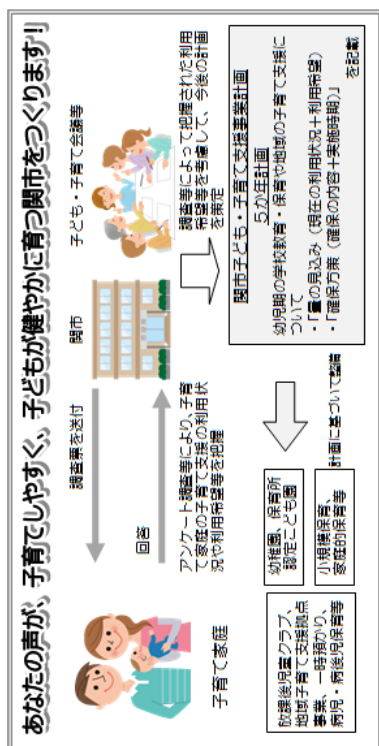
- 1 保護者の方が記入してください。
 - 2 封筒のあて名のお子さんについてお書きください。
 - 3 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
 - 4 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
 - 5 時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：午後 1 時→13 時）で記入してください。
 - 6 質問は順番どおりに回答していただきますが、途中、回答の内容により次に進んでいたく質問が異なる場合がありますので、質問の注意書きや矢印に従ってお進みください。
 - 7 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともお書きにならなくて結構です。

12月10日(月)までにご返送ください。(切手は不要です。)

調査内容について不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 関市 健康福祉部 子ども家庭課 電話：23-7738 FAX：23-7748

メールアドレス: kodomokatei@city.seki.lg.jp



子ども・子育て支援を充実させます!!

子ども子育て制度の目的

- 一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現
- 一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められることも
- 一人ひとりが肯定感を持って育ちながら成長することができる環境の整備
- 親としての成長を支え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることでできるような支援

求住まいの地域についてうかがいます。

問1 現在、どちらの小学校区にお住まいですか。(Qは12)

わからない場合は、「20. わからない」に〇をつけていただき、（ ）内に町字名をご記入ください。

1. 安城 2. 旭ヶ丘 3. 瀬戸 4. 倉知 5. 富阿 6. 金薙
7. 田原 8. 下倉知 9. 富野 10. 桜ヶ丘 11. 南ヶ丘 12. 洞戸
13. 板取 14. 武芸 15. 寺屋 16. 博愛 17. 武蔵西 18. 武蔵東
19. 上之保 20. わからない(御字名)



封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のおさんは現在何年生ですか。(Oは1つ)

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(Oは1つ)

※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(Oは1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 あて名のおさんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。(Oは1つ)

※あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、あて名のおさんをおみでもらえる親族・知人はいいますか。(Oはいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族にみでもらえる } ⇒ 問6-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみでもらえる }
3. 日常的に子どもをおみでもらえる友人・知人がいる } ⇒ 問6-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおみでもらえる友人・知人がいる }
5. いずれもない ⇒ 問7へ

問6-1 問6で「1.」または「2.」EOをつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをおみでもらっている状況についてお答えください。(Oはいくつでも)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみでもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問6-2 問6で「3.」または「4.」EOをつけた方にうかがいます。友人・知人におさんをおみでもらっている状況についてお答えください。(Oはいくつでも)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみでもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問7 あて名のおさんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。(Oは1つ)

1. いる/ある ⇒ 問7-1へ 2. いない/ない ⇒ 問8へ

問7-1 問7で「1.」いる/ある/EOをつけた方にうかがいます。おさんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。(Oはいくつでも)

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(告知保育園「ははこくさ」、むげがわ子育て支援センター・児童センター(わかくさ・むげがわ・安坂))
5. 保健センター・保健所
6. 保育士
7. 幼稚園教諭
8. 民生委員児童委員・主任児童委員
9. かかりつけの医師
10. 学校、教育委員会
11. 子ども家庭課・子育て支援せきこ
12. 家庭児童相談室
13. その他 (【例】ベビーシッター)



あて名のお子さんの保護者の就業状況についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親、（2）父親それぞれについてお答えください。

（1）母親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒ 問8-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就業)で就労しており、産 休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就業)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

⇒ (2)へ

（2）父親 【母子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	⇒ 問8-1へ
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就業)で就労しており、産 休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就業)で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

⇒ 問8-2へ

問8-1 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○を
つけた方がうかがいます。

フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就業)への転換希望はありますか。(1).

母親、(2)父親それぞれについてお答えください

(1) 母親 (当てはまる番号1つに○をつけてください)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親 (当てはまる番号1つに○をつけてください)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問8-2 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」また
は「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方がうかがいます。

就労したいという希望はありますか。(1) 母親、(2) 父親それぞれについてお答えく
ださい。(○は1つずつ 該当する口内に数字で記入)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就業形態

① フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就業)
② パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就業形態

① フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就業)
② パートタイム、アルバイト等 (「①」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間



あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問9～問11は、小学1年生～3年生のお子さんについてうかがいます。

問9 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所でご過ごしていますか。利用している場合は、利用日数もお答えください。（〇はいくつでも 利用日数を〇内に数字で記入）

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※留守家庭児童教室：地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※放課後子ども教室（学びクラブ）：地域の方々の協力を得て、週1回程度放課後に小学校で学習や読書などをとする取組です。保護者の就労の有無に関わらず、小学生が利用できます。（開設していない校区もあります。）

※ファミリー・サポート・センター：会員制による子どもの一時預かりを中心とした相互援助活動です。

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童センター（わかぐさ・むげがわ・安桜）	週 日くらい
5. 放課後子ども教室（学びクラブ）	週 日くらい
6. 留守家庭児童教室	週 日くらい →下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. その他（ふれあいセンター、公園など）	週 日くらい

問10 問9で「6. 留守家庭児童教室」以外に〇をつけた方にうかがいます。留守家庭児童教室を利用していない主な理由は何ですか。（〇は1つ）

お子さんの身の回りの世話を主としている方が
1. 現在働いていないから利用できない
2. 働いているが、留守家庭児童教室を知らなかったから
3. 働いているが、留守家庭児童教室の開所時間が短いから
4. 働いているが、利用料がかかるから
5. 働いているが、子どもは放課後の習いごとををしているから
6. 働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
7. 働いているが、他に身の回りの世話をしてくれる人がいるから
8. 働いているが、他の施設に預けているから
9. その他（ ）

問11 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所でご過ごされたいと思いますか。希望の日数もお答えください。（〇はいくつでも 利用希望の日数を〇内に数字で記入）

1. 自宅	週 日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 日くらい
4. 児童センター（わかぐさ・むげがわ・安桜）	週 日くらい
5. 放課後子ども教室（学びクラブ）	週 日くらい
6. 留守家庭児童教室	週 日くらい →下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい
8. その他（ふれあいセンター、公園など）	週 日くらい

ここからは、すべての方にうかがいます。

問12 放課後（平日の小学校終了後）に留守家庭児童教室の利用が、可能であれば利用したいですか。（〇は1つ 希望がある場合は〇内に数字で記入）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	→ 週 日
2. 4年生までは利用したい	
3. 5年生までは利用したい	
4. 6年生までは利用したい	
5. 利用する必要はない	



問 13 あて名のお子さんについて、現在利用している、していないに問わず、土曜日と日曜日・祝日に、留守家庭児童教室の利用希望はありますか。(1)、(2) それぞれについてお答えください
(○は1つずつ 利用したい時間帯を□内に数字で記入「例08時～18時」)
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	→ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜・祝日

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	→ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 14 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休学期間の留守家庭児童教室の利用希望はありますか。(○は1つ 利用したい時間帯について□内に数字で記入「例08時～18時」)
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい	→ □ □ 時から □ □ 時まで
2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

あて名のお子さんの病気の療養の対応や、不定期な一時預かりについてうかがいます

問 15 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問 15-1へ	2. なかった ⇒ 問 16へ
------------------	-----------------



問 15-1 問 15で「1. あった」に○をつけた方にかかいます。あて名のお子さんが病気やケガで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に何回行ったかお答えください。○は1つずつでも 日数を□内に数字で記入 半日程度の対応の場合は1日とカウントしてください

1年間の対応方法	日数
1. 父親が休んだ	□ □ 日
2. 母親が休んだ	□ □ 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日
5. 病児・病後児保育施設を利用した	□ □ 日
6. ベビーシッターを利用した	□ □ 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日
9. その他 ()	□ □ 日

問 15-1で「1.」、「2.」のいずれかに回答した方にかかいます。
該当しない方は問 16へお進みください。

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と思われましたか。(○は1つ 日数についても□内に数字で記入)
※病児・病後児保育施設の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい → □ □ 日
2. 利用したいとは思わない

問 16 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「一時的に」家族以外にみてもらえないといけないことはありましたか。(預け先が見えなかった場合も含みます。)(○は1つ 日数についても数字で記入)

(○は1つ)	1年間の対応方法 (○はいくつでも)	日数 (年間)
1. あった	(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	□ □ 日
	(2) ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □ 日
	(3) 子育て短期支援事業 (ショートステイ) (児童養護施設等で子どもを一時的に養育するもの)	□ □ 日
	(4) ベビーシッターを利用した	□ □ 日
	(5) その他 ()	□ □ 日
2. なかった		

問19-1 問19で「3」または「4」に○をつけた方にかかります。該当しない方は、問20へお進みください。子育てしやすい、子育てにくいと感じる理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 子育てしながら働くなど不足しているから
2. 助成制度など経済的支援が不十分だから
3. 子育て支援などの制度が不十分だから
4. 防犯や防災などに不安があるから
5. 道路や鉄道など交通網の利便性が悪いから
6. 戸建てやマンションなどの住宅が不足しているから
7. 買い物など日常生活の利便性が悪いから
8. 小児科・産婦人科などの医療施設が不足しているから
9. 子どもが安心して遊ぶことのできる場所が不足しているから
10. その他()

問 20 関市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。(〇は3つまで)

1. 子育てグループなどの自主的な活動への支援
2. 子育てについて学習する場の充実
3. 乳幼児期に必要な食事のとり方や年齢に合った生活習慣を学べる場の充実
4. 子育てを支援するボランティアの育成
5. 病気及び病気回復期の子ども（病後児）を医療機関と連携して保育してくれる施設の充実
6. 子育てをしている親がリフレッシュするために一時的な保育をしてくれる施設の充実
7. 乳児保育の充実
8. 延長保育の充実
9. 障がい児保育の充実
10. 地域の子どもへの見守りと声かけ
11. 子どもの安全のための地域のパトロール
12. 子ども同士が遊べる機会の充実
13. 子どもが安心して遊べる場の整備
14. 子どもの健全育成のための世代間の交流
15. 子育てで難关など情報提供手段の充実
6. その他（ ）



問 17 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「おりのけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありませんが、預け先が見つからなかった場合も含みます。(0は1つ 日数についても数字で記入)

(Oは1つ)	1年間の対応方法 (Oはいくつでも)	日数 (年間)
1. あった	(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	☐ ☐ 泊
	(2) 子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で、子どもを一時的に養育するもの)	☐ ☐ 泊
	(3) (2)以外の事業(ベビシッター等)を利用した	☐ ☐ 泊
	(4) 仕方なく子どもを同行させた	☐ ☐ 泊
	(5) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ ☐ 泊
	(6) その他()	☐ ☐ 泊
2. なかった		

すべての方に、子育て全般についてうかがいます。

問 18 子育てに関する情報を誰から（どのように）入手していますか。（Qはいくつでも）

1. 親戚（親、兄弟・姉妹など）
2. 隣近所の人、知人、友人
3. 保育所、幼稚園、学校
4. 地頭子育て交遊センター
5. 市の広報紙、ホームページ
6. テレビ、ラジオ、新聞
7. インターネット
8. 雑誌、育児書
9. その他（ ）
10. どこで入手すればいいかわからない

問 19 関市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

- ⇒問20へ
- ⇒問19-1へ



関市
子ども・子育てに関するアンケート調査結果報告書
発行：関市
編集：関市 健康福祉部 子ども家庭課
住所：〒501-3894
岐阜県関市若草通 3 丁目 1 番地
T E L : 0575-23-7738
F A X : 0575-23-7748
